

藤沢市運動施設等指定管理者の指定について

1 選定経過

- (1)第1回審査選定委員会 令和6年7月30日
ア 募集要項（案）、管理運営の基準（案）及び審査方法等について
イ 今後の選定スケジュールについて
- (2)申請書の受付期間
令和6年8月5日から9月27日まで
- (3)第2回審査選定委員会 令和6年10月16日
ア 専門委員からの候補者運営能力に関する報告
イ 候補者によるプレゼンテーション
ウ 候補者に対する質疑
エ 委員による採点
オ 結果報告及び候補者の選定

(4)選定結果

申請書類及びプレゼンテーションによる審査・採点を実施した結果、事業計画や収支予算などについて各委員平均200点満点中150点の評価となり、最低基準点の140点を上まわり、かつ、各項目における各委員の評価の平均が2点を下回るものが無いことから、審査選定委員会は、公益財団法人藤沢市みらい創造財団を指定管理者の最適な候補者として選定した。

2 審査基準


- (1)指定管理者であるための基本的理解
ア 指定管理者制度の理解
イ 管理運営の基本方針
- (2)管理運営能力
ア 団体の適性
イ 財務面の健全性・安定性
ウ 安全管理への取組
- (3)法令遵守
ア 法令遵守の取組

- (4)施設の効用の発揮
 - ア 施設利用の促進
 - イ サービスの向上
 - ウ 平等な利用の確保
 - エ 利用者意見等の把握
- (5)施設の管理
 - ア 施設・設備の維持管理
- (6)危機管理体制
 - ア 防犯・防災対策
 - イ 緊急時の対応
- (7)人員体制・経費
 - ア 人員体制
 - イ 収支予算書
 - ウ 効率的な運営
- (8)市の施策への理解
 - ア 情報の管理体制
 - イ SDGs への理解及び緑の基本計画や環境への配慮
 - ウ 障がい者への配慮及び人権施策への理解
 - エ DX の推進
 - オ 暴力団排除への対応
- (9)特記項目
 - ア 地域住民との協働・連携
 - イ 関係団体との協働・連携
 - ウ スポーツ推進の提案
 - エ スポーツ推進の実績
- (10)提案の整合性
 - ア 業務要求水準との適合性
 - イ 特色ある提案
 - ウ 提案の実現性
- (11)市内経済活性化への配慮
 - ア 市内業者の活用

3 事業計画書

別添のとおり

以 上



藤沢市運動施設等 指定管理者

[事業計画書]

目次



I	団体の基本的要件	・・・	1
	1 指定管理者であるための基本的理解	・・・	1
	(1) 指定管理者制度の理解	・・・	2
	(2) 管理運営の基本方針	・・・	3
	2 管理運営能力	・・・	4
	(1) 団体の適性	・・・	4
	(2) 財務面の健全性・安定性	・・・	8
	(3) 安全管理への取組	・・・	9
	3 法令遵守	・・・	13
	(1) 法令遵守の取組	・・・	13
II	事業計画書	・・・	16
	1 施設の効用の発揮	・・・	16
	(1) 施設利用の促進	・・・	16
	(2) サービスの向上	・・・	21
	(3) 平等な利用の確保	・・・	23
	(4) 利用者意見等の把握	・・・	27
	2 施設の管理	・・・	30
	(1) 施設・設備の維持管理	・・・	30
	3 危機管理体制	・・・	32
	(1) 防犯・防災対策	・・・	32
	(2) 緊急時の対応	・・・	33



目次

4	人員体制・経費	・・・	35
	(1) 人員体制	・・・	35
	(2) 収支予算書	・・・	36
	(3) 効率的な運営	・・・	42
5	市の施策への理解	・・・	43
	(1) 情報の管理体制	・・・	43
	(2) SDGs への理解及び緑の基本計画や環境への配慮	・・・	44
	(3) 障がい者への配慮及び人権施策への理解	・・・	45
	(4) DXの推進	・・・	46
	(5) 暴力団排除への対応	・・・	46
6	特記項目	・・・	47
	(1) 地域住民との協働・連携	・・・	47
	(2) 関係団体との協働・連携	・・・	49
	(3) スポーツ推進の提案	・・・	51
	(4) スポーツ推進の実績	・・・	62
Ⅲ	その他	・・・	68
	1 提案の整合性	・・・	68
	(1) 特色ある提案	・・・	68
	2 市内経済活性化への配慮	・・・	70
	(1) 市内業者の活用	・・・	70





夢、希望、感動にあふれる 明るい未来をみんなで創る

本財団は、未来を担う青少年の健全育成の推進、市民のスポーツ・レクリエーション活動及び芸術文化活動の普及振興を通じ、全ての市民の心豊かで生き生きとした健康な生活を形成するため、「夢、希望、感動に溢れる明るい未来をみんなで創る」を経営の基本理念としています。

スポーツ事業については、「藤沢市スポーツ都市宣言」及び「藤沢市スポーツ推進計画2029」の理念や施策に基づき、多種多様なスポーツ事業や運営に取り組み、こどもから高齢者まで、そして、障がいの有無にかかわらず、全ての市民が「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」気軽にスポーツに親しめる環境づくりに努めます。また、藤沢市が取り組んでいる「中学校部活動地域移行」や「校外水泳授業実施」などの課題についても積極的にかかわり、藤沢市のスポーツ行政の一翼を担います。

4つの柱

基本方針

人材育成

利用者満足度の高いサービスを提供できる職員の人材育成

財務運営

安定的、継続的な運営に向けた財務基盤の確立

事業運営

多様化する市民ニーズに対して意見や要望の把握・反映に努める事業運営

組織運営

企業倫理に基づき行動・実践し、いきがいを持って働くことができる組織づくり



財団設立10周年記念時に公募し、選ばれたイメージポスターです。

長期的な目標

本財団は、5年間の指定管理期間の先も見据え、スポーツ関係団体や市民などと連携・協力を図り、指定管理施設を拠点としたスポーツ推進に取り組みます。そして、今後も藤沢市と協働し、「藤沢市スポーツ推進計画2029」の目標の実現に努めます。

新型コロナウイルスの影響で激減した利用者数は、令和5年度では平成29年度の約80%まで回復しています。この指定管理期間の5年間では、利用者を増やすための様々な事業を計画的に実施することで、毎年3~5%ずつの増加をめざし、令和9年度では約114万人、期間最終の令和11年度では、約125万人の延べ利用者数をめざします。



上:ふれあいスポーツ交流会
中:水泳大会
下:スポーツチャレンジフェスティバル
(オリジナルスポーツ種目を競う大会)



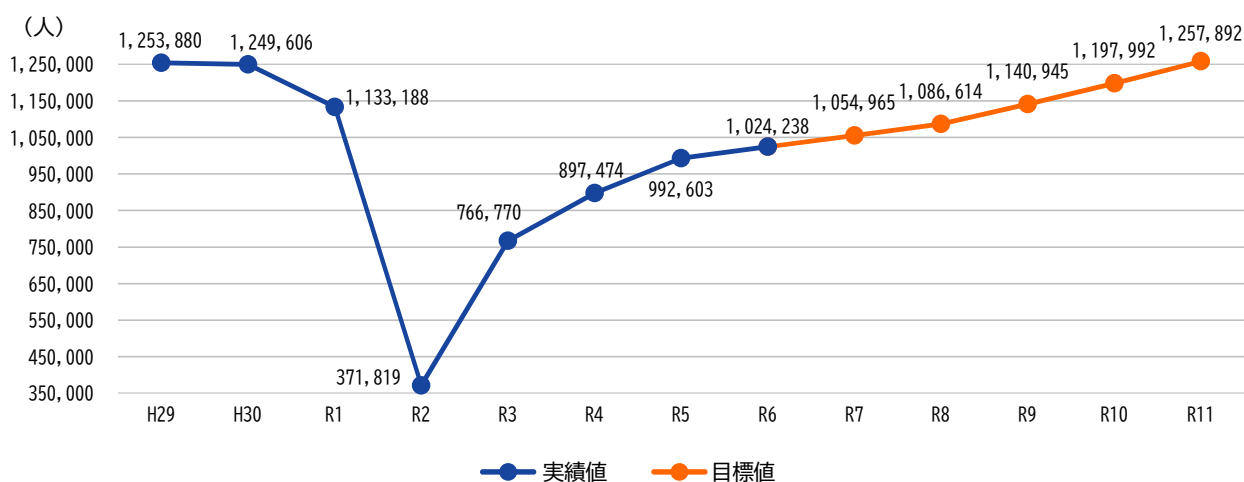
I 団体の基本的要件 1 指定管理者であるための基本的理解

(1)指定管理者制度の理解

藤沢市が策定した「藤沢市指定管理者制度導入及び運用の基本方針」に基づき、公の施設の管理において、民間事業等の有するノウハウを活用することにより、**市民サービスの質の向上などを図ること**、そして、この制度が公の施設の設置目的を**より効果的に達成するための制度であることを十分に理解し**、藤沢市運動施設等の指定管理者の責務として、市民スポーツの拠点施設にふさわしい管理運営を行います。

また、本財団が掲げる「人材育成・財務運営・事業運営・組織運営」の4つの基本方針からなる財団運営方針に沿って策定した中期経営計画に取り組み、公共サービスの一翼を担う法人として「市民サービスの質の向上」、「管理経費の縮減」の役割を果たします。

①施設の利用を促進し、市民のスポーツライフの充実を図る。(利用者数の実績値と目標値)



この5年間指定管理期間では、利用者数が過去最高値であった平成29年度を目標値に設定し、利用者の増加をめざします。

さらに、利用者の増加に向けて、以下の事業の実施を計画します。

	R7	R8	R9	R10	R11
サブスクリプションサービスの導入	[実施]				
開館日の拡大(年末開館)	[実施]				
乳幼児のプール利用拡大をはじめとする利用者の拡大	[実施]				
軽スポーツ広場の供用開始など施設利用方法の見直し	[実施]				
財団事業部門間の横断的事業の実施	[実施]				
駐車場24時間利用、キャッシュレス決済の導入	[実施]				
Free Wi-Fiの設置	[実施]				



I 団体の基本的要件 1 指定管理者であるための基本的理解

(2)管理運営の基本方針

①藤沢市運動施設等の管理運営基本方針

本財団は、国の「スポーツ基本法」や「スポーツ基本計画」、「藤沢市スポーツ都市宣言」、「藤沢市スポーツ推進計画2029」を十分に理解した事業展開と施設の管理運営に努めます。

また、公園施設についても「藤沢市緑の基本計画」の趣旨を理解し、緑の将来像を実現するための緑の保全や創造など、基本理念に配慮した業務を遂行します。

今後も引き続き、長年培ってきた安全で快適な藤沢市運動施設等の管理運営と、市民の声（意見、提案）を取り入れた新たな事業やサービスを創造・提供することにより、多種多様なスポーツ事業や運営に取り組み、こどもから高齢者まで、そして、障がいの有無にかかわらず、全ての市民が「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」気軽にスポーツに親しめる環境づくりに努めます。

そして「指定管理者が行う業務」を理解し、各施設において公平で平等なサービスを提供することで、指定管理者としての責務を果たすとともに、藤沢市地域防災計画などで定められた施設の役割についても十分理解し、施設の適正な管理運営に努めます。

また、市民のスポーツ推進と健康増進を担う公益財団法人として、藤沢市はもとより、藤沢市スポーツ連盟、藤沢市スポーツ関係団体、藤沢市医師会、藤沢市保健医療財団などと連携を強め、藤沢市がめざす「健康で豊かな長寿社会をつくる」に寄与します。

②公の施設管理者として

本財団は、指定管理者として藤沢市運動施設等の管理運営を行うほか、藤沢青少年会館などの青少年施設についても、4指定管理（26施設）の管理運営を行っています。長年にわたり公の施設の管理運営を行ってきた経験と実績を生かし、今後も利用者が安心して快適に利用できるよう配慮します。

特に、以下の10項目を主な心構えとして掲げ、職員一同、実行します。

《公の施設の管理者としての心構え》

- 1 「藤沢市運動施設等指定管理者管理運営の基準」に従い、施設の管理運営を行うとともに藤沢市と密接な連携を図り、藤沢市の施策に沿った運営を行います。
- 2 市民が公平に施設利用及び事業参加できるよう公平性、透明性のある運営を行います。
- 3 利用者の安全管理、衛生管理を徹底し、市民が安心して利用できる施設づくりを行います。
- 4 「藤沢市スポーツ推進計画2029」に基づき、事業展開、施設運営を行います。
- 5 「藤沢市緑の基本計画」に基づき、公園施設として緑の保全・創造・普及に努めます。
- 6 「藤沢市地球温暖化対策実行計画」に基づき、環境への負荷の低減が図られる資材を利用するなど、環境に配慮した施設運営を行います。
- 7 「藤沢市人権施策推進指針」並びに「藤沢市における障がいを理由とする差別の解消の推進に関する対策要領」に従い、誰もが公平に施設利用や事業参加ができるよう配慮した施設運営を行います。
- 8 処分権限を有する指定管理者であることを十分に認識し、実施機関として、「藤沢市個人情報の保護に関する法律の施行等に関する条例」及び「藤沢市情報公開条例」並びに「藤沢市暴力団排除条例」はもとより、本財団において整備した同様の規程を遵守し、藤沢市に準じた施設運営を行います。
- 9 施設に関する条例に定められた事項、その他関連法令などを遵守し、施設運営を行います。
- 10 公の施設の適正な管理運営において、SDGs（持続可能な開発目標）のもと「誰ひとり取り残さない」多様性と包摂性のある社会の実現をめざします。



経験豊富な指定管理者として、最適で安定感のある施設管理を実現します。

- 公益財団法人の高い信頼性に基づき、公共スポーツ施設の適正な管理運営体制を整えています。
- 十分な経営資力により、計画的・安定的な施設管理を行っています。
- 利用者の安全管理と職員の労働安全管理に取り組んでいます。

(1)団体の適性

①法人の概要

2024年 9月 1日現在

名称	公益財団法人 藤沢市みらい創造財団																
所在地	〒251-0054 神奈川県藤沢市朝日町1番地の1 藤沢市役所分庁舎2階	電話番号	0466-21-7861（事務局総務課）														
代表者	理事長 宮治 正志																
沿革	<p>1995年(平成7年) 4月 1日 財団法人藤沢市青少年協会が設立（財団法人藤沢市みらい創造財団の前身）</p> <p>2000年(平成12年) 12月 1日 財団法人藤沢市スポーツ振興財団が設立</p> <p>2010年(平成22年) 4月 1日 財団法人藤沢市青少年協会・財団法人藤沢市スポーツ振興財団・財団法人藤沢市芸術文化振興財団の3財団が統合し「財団法人藤沢市みらい創造財団」として事業を開始</p> <p>2012年(平成24年) 4月 1日 公益財団法人移行認定を受けて、「公益財団法人藤沢市みらい創造財団」に名称変更</p>																
事業内容	<p>■公益目的事業</p> <p>(1) 青少年の健全な育成を目的とする事業</p> <p>(2) 市民の生涯スポーツの推進と健康づくりを目的とする事業</p> <p>(3) 芸術文化の振興を目的とする事業</p> <p>■収益事業等</p> <p>(1) 収益事業 物品販売事業及び駐車場管理運営業務</p> <p>(2) その他事業 藤沢市からの受託事業など</p>																
理事会 評議員会	<p>■理事会構成</p> <table border="1"> <tr><td>理事長</td><td>1人</td></tr> <tr><td>副理事長</td><td>3人</td></tr> <tr><td>専務理事</td><td>1人</td></tr> <tr><td>常務理事</td><td>1人</td></tr> <tr><td>理事</td><td>15人</td></tr> <tr><td>監事</td><td>2人</td></tr> </table> <p>■評議員会構成</p> <table border="1"> <tr><td>評議員</td><td>17人</td></tr> </table>	理事長	1人	副理事長	3人	専務理事	1人	常務理事	1人	理事	15人	監事	2人	評議員	17人	<p>【理事・評議員選出団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市体育協会 ・藤沢市スポーツ推進委員協議会 ・藤沢市地区社会体育振興協議会連合会 ・藤沢市スポーツ少年団本部 ・藤沢市レクリエーション協会 ・藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会 ・学識経験者 ・藤沢商工会議所 ・藤沢市青少年育成協議会 ・藤沢市子ども会連絡協議会 ・藤沢市ボーイスカウト連絡会 ・藤沢市合唱連盟 ・藤沢市民交響楽団 ・藤沢市文化団体連合会 ・公益社団法人藤沢市医師会 ・藤沢エフエム放送株式会社 ・藤沢市立小学校長会 ・藤沢市立中学校長会 ・藤沢市子ども青少年部 ・東京地方税理士会藤沢支部 ・藤沢市会計課 ・児童クラブ運営委員長会議 ・地域子どもの家運営委員長会議 ・藤沢SL少年団 ・藤沢地区保護司会 ・藤沢市生涯学習部 	
理事長	1人																
副理事長	3人																
専務理事	1人																
常務理事	1人																
理事	15人																
監事	2人																
評議員	17人																



②法人の種別

神奈川県知事から公益財団法人として認定を受けています。これからも公益財団法人としての役割を果たし、効率的かつ効果的な事業運営と利用者サービスの質の向上に努めます。

③基本理念

未来を担う青少年の健全育成の推進、市民のスポーツ・レクリエーション活動及び芸術文化活動の普及振興を通じ、全ての市民の心豊かで生き活きた健康な生活を形成するため「夢、希望、感動に溢れる明るい未来をみんなで創る」を経営の基本理念としています。

④経営方針

本財団が掲げる4つの基本方針「人材育成・財務運営・事業運営・組織運営」を運営方針に定め、中期経営計画に基づき、将来に向けて持続的な運営をめざすとともに、今後も、多様化する市民ニーズに的確に対応した安全で質の高い市民サービスの提供に取り組みます。

⑤スポーツ事業の運営方針

スポーツ活動に対するニーズも多様化し、施設の管理や事業などの様々な場面において、さらなる充実が求められています。今後も「藤沢市スポーツ推進計画2029」の実現を図るとともに、持続的な社会の実現を目指すSDGsの目標達成に向けた実践を積極的に推進し、次に掲げる運営方針をもとに「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」一人ひとりのライフステージに則したスポーツ活動を楽しむことのできる環境づくりに努めます。

《スポーツ事業の運営方針》

- 1 誰もが、気軽に施設を利用していただけるよう、公平・平等の視点に立った施設運営を行います。
- 2 節電、節水などのエネルギー節減をはじめ、全ての管理運営において、SDGsの「持続可能な開発目標」の実現に積極的に努めます。
- 3 「藤沢市スポーツ都市宣言」や「藤沢市スポーツ推進計画2029」の理念や施策に基づき、新たな生活様式やニーズにマッチした様々な事業・運営に取り組み、全ての世代の健康・体力づくりと生涯スポーツの推進に努めます。
- 4 地域に根差したスポーツ振興を推進するため、各種スポーツ団体や市内に拠点を置くプロスポーツチームと連携を図り、多種多様なスポーツ体験会の開催や「みる」スポーツを提供し、市民のスポーツライフの充実を図ります。
- 5 スポーツボランティアの育成を図るなど、誰もが分け隔てなくスポーツを楽しめるよう、共生社会の推進をめざしたインクルーシブスポーツ推進に努めます。
- 6 藤沢市の地域特性を生かしたビーチスポーツ事業や継続したスポーツ活動への目標となる湘南藤沢市民マラソンなどに事務局として運営に携わり、スポーツへの参加機会の拡大を図るとともに、市内経済の活性化や藤沢市の魅力発信に努めます。
- 7 中学校部活動地域移行や学校プール集約化に伴う校外水泳授業実施について、藤沢市と協力し、持続発展的に取り組みます。
- 8 藤沢市から藤沢市スポーツ関係団体の事務局業務を引継ぎ、団体との連携を深め、藤沢市のスポーツ振興を推進します。
- 9 スポーツ事業だけにとどまることなく、青少年事業部門や芸術文化事業部門との共同事業の企画など、事業部門相互の効果的な連携を図ります。



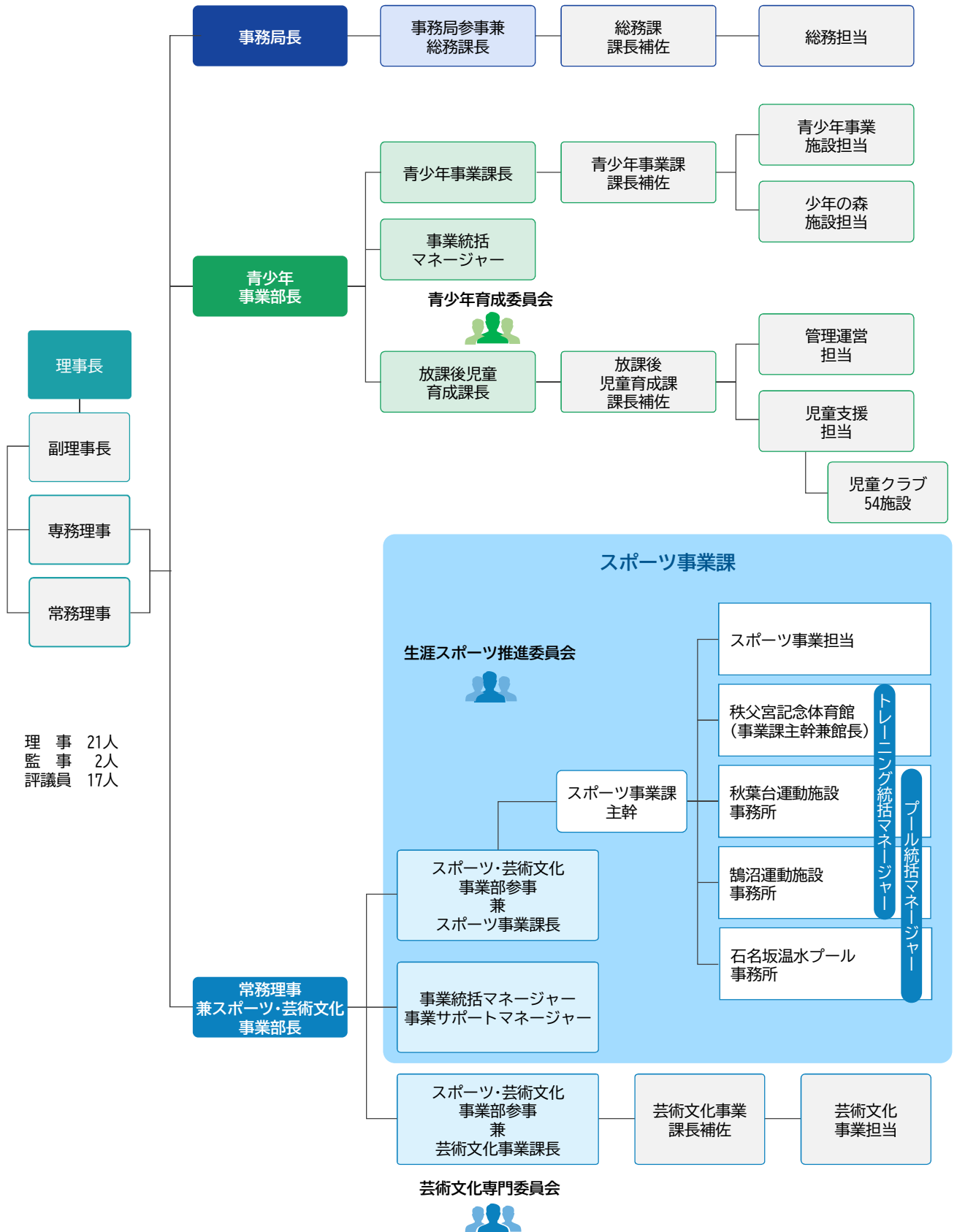
I 団体の基本的要件 2 管理運営能力

⑥組織図・体制

公益財団法人として専門的な知識を有する方々で構成する理事会及び評議員会を定期的を開催しています。さらに専門的分野に関しては、各事業部門に専門委員会（青少年育成委員会、生涯スポーツ推進委員会、芸術文化専門委員会）を設置し、事業運営の方向性や課題などについて協議・検討し、事業の円滑な推進を図っています。

組織図

2024年 9月 1日現在





⑦スポーツ事業課の実施体制

藤沢市（スポーツ推進課・公園課）と迅速で正確な連絡指示体制を整え、連絡・報告を密に行っています。今後も、藤沢市の方針・施策を尊重し、公の施設としての機能・役割を果たします。



実施体制図



(2)財務面の健全性・安定性

本財団の財務状況は、財務諸表に基づく一般的な財務分析から示される数値により、公益財団法人として適正であり、当該指定管理施設の管理運営を計画的かつ安定的に行える経営資力を有しています。

①過去3か年の財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1 資産の部			
流動資産	435,262	481,722	604,594
固定資産	1,456,283	1,397,448	1,441,243
資産合計	1,891,545	1,879,170	2,045,837
2 負債の部			
流動負債	343,068	420,988	395,730
固定負債	636,185	602,121	626,026
負債合計	979,253	1,023,109	1,021,756
3 正味財産の部			
一般正味財産	499,887	448,618	581,521
指定正味財産	412,405	407,443	442,560
正味財産合計	912,292	856,061	1,024,081
負債及び正味財産合計	1,891,545	1,879,170	2,045,837

正味財産増減計算書

(単位：千円)

科目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1 収益	3,017,668	3,133,830	3,321,272
2 費用	3,036,901	3,189,991	3,148,362
3 法人税・住民税及び事業税	2,985	70	4,890
【当期正味財産増減額】	△ 22,218	△ 56,231	168,020
【正味財産期首残高】	934,510	912,292	856,061
【正味財産期末残高】	912,292	856,061	1,024,081

②財務分析表(安全性分析)

財務分析表

財務指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度
流動比率	126.9%	114.4%	152.8%
負債比率	107.3%	119.5%	99.8%
固定長期適合率	94.0%	95.8%	87.3%
自己資本比率	48.2%	45.6%	50.1%

■流動比率【(流動資産÷流動負債)×100%】

短期的な支払い能力を示す。この数字が高いほど財務の短期安全性が高く、一般的には100%以上が望ましい。

■負債比率【(負債÷正味財産)×100%】

正味財産に対する負債の割合を示す。この数字が低いほど財務の中長期的安全性が高く、一般的には100%~150%が望ましい。

■固定長期適合率【固定資産÷(正味財産+固定負債)×100%】

正味財産と固定負債の合計額に対する固定資産の割合を示す。この数字が低いほど財務の長期的安全性が高く、100%未満が望ましい。

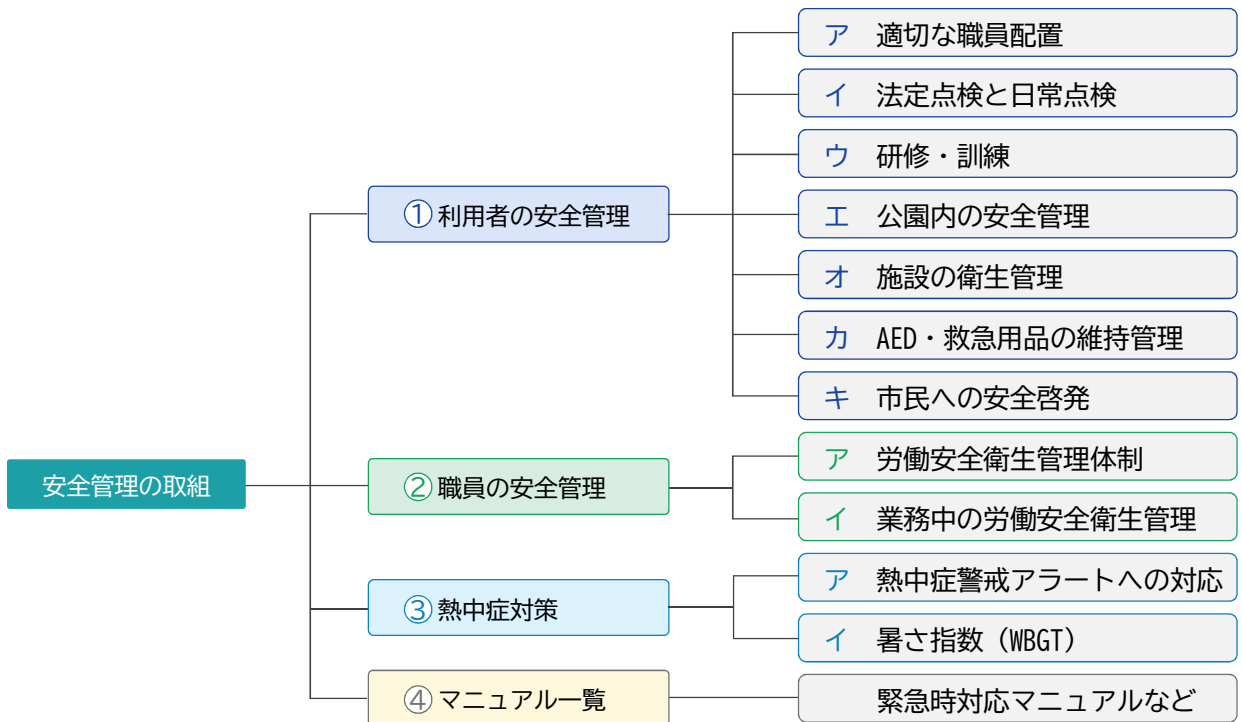
■自己資本比率【(正味財産÷総資産)×100%】

総資産に占める正味財産の割合を示す。この数字が高いほど財務の中長期的安全性が高く、一般的に30%以上が望ましい。



(3)安全管理への取組

- ・利用者の安全、安心を第一に考え、プール監視業務マニュアルをはじめ、トレーニングルーム業務マニュアルなど、各施設に安全管理マニュアルを備えます。
 - ・全体研修や定例会議などを行い、安全対策に組織として取り組むことで管理運営施設の安全水準を確保します。
 - ・労働安全衛生法に基づいた管理体制（労働安全衛生委員会）を組織し、徹底した安全管理に努めます。
- ※そのほか感染症対策についても、引き続き藤沢市と情報を共有し、必要に応じた対応を迅速かつ適切に行います。



安全管理の取組一覧

①利用者の安全管理

▶ア 適切な職員配置

- ・藤沢市から提示された取扱要領などに定められた**職員数を適正に配置**し、利用者の安全確保と衛生面の維持向上に取り組めます。
- ・トレーニング部門とプール部門には、それぞれに**統括マネージャー**と高度かつ専門的な能力を有する**専任職**を配置し、施設運営や教室の企画・運営などにおいて**横断的に連携**することにより、施設間で差異のない利用者サービスと安全管理の向上を図ります。

▶イ 法定点検と日常点検

- ・委託業者による法定点検や定期点検のほか、消防設備などの自主点検を毎日実施します。
- ・プールやトレーニングルームなどでは、定期点検とは別に、施設や器具ごとに安全管理点検項目を定め、プール排水口のネジの緩みなど、細目の安全確認を供用時間前に毎日実施します。
- ・点検により異常を発見した際には、直ちに藤沢市へ報告し、修繕又は利用停止などの対応を図り、事故を未然に防止します。



排水口点検



I 団体の基本的要件 2 管理運営能力

▶ ウ 研修・訓練

- ・利用者の安全管理のため、**本財団が独自に作成した各種マニュアル**に基づいた研修を実施します。
教室事業を安全に実施するとともに、技術や指導力の向上を図るため、必要に応じて、水泳やトレーニング、トランポリンなど、専門知識を有する職員が中心となって研修を行います。
- ・**職員育成計画**に基づき、外部の資格取得講習会などを受講することにより、職員のさらなる資質の向上を図ります。
- ・不測の事態に備え、原則として**全職員が消防の普通救命講習を受講**します。
- ・プールの安全管理などの専門的知識が求められる職員は、日本赤十字社水上安全法や救急法、藤沢市消防局が主催する応急手当普及員講習を受講するとともに、日常的な訓練を欠かさず実施し、利用者の安全確保に努めます。



職員の普通救命講習受講

▶ エ 公園内の安全管理

- ・公園内の安全管理については、マナー啓発の掲示や放送などによる案内に加え、防犯カメラや職員巡回などで常に注意を払い、危険行為や迷惑行為が確認された場合には職員が直接対応することで迅速に対処します。

害虫対応

- ・利用者に危害を加える恐れのある害虫については、日常の施設巡回に加え、植栽管理業者と連携し、その発生や巣づくりなどに注意を払い、駆除や除去など迅速に対処することにより、利用者への被害を未然に防ぎます。

遊具点検

- ・インクルーシブ遊具を含むすべての遊具は、日常の目視点検を実施するとともに、専門業者による法定点検を実施し、遊具の安全な利用を図ります。
- ・遊具に不具合を発見した場合は、対処が完了するまでの期間について、利用を制限するなどの措置を講じます。



ハチの巣



点検対象遊具

▶ オ 施設の衛生管理

- ・施設の室内環境、特にプール水の水質については、利用者の安全管理の観点からも最重要であると捉え、衛生管理の維持向上に努めます。
- ・プールや浴室などについては「神奈川県海水浴場等に関する条例」、「公衆浴場法」に沿った衛生管理が必要となるため、プール衛生管理者などの**有資格者を常駐**させ、安全管理に努めます。

水質管理

- ・プール水については、営業時間中の一定時間ごとに**遊離残留塩素濃度 (mg/l)** や**水素イオン濃度 (pH)** の数値を測定するとともに、休憩時間を利用して目視確認し、必要に応じて設備管理業者と連携し水質保持に努めます。
- ・冷却塔を使用するシーズン中には月1回の化学的洗浄を行い、年1回レジオネラ属菌の検査を実施します。また、浴槽水は毎日、水の入れ替えを行い、年2回のレジオネラ属菌の検査も併せて実施します。
- ・飲料水検査は、年2回の水質検査を実施するとともに、ウォータークーラー水の残留塩素の適否測定確認を毎日実施します。
- ・排水についても、負荷の高い排水槽や湧水槽・汚水槽については、毎年の清掃を実施し、衛生管理の維持向上に努めます。



遊離残留塩素濃度測定



▶ カ AED・救急用品の維持管理

- ・職員が毎日目視点検によりAEDバッテリーの確認を行うほか、「藤沢市救急セーフティステーション」の交付を受けている施設であることを利用者に周知します。
- ・各施設の特性に合わせた救急用品を備え、いつでも使用できるよう日常点検及び使用方法の研修を行うほか、応急手当に有用な氷などは常時切らさぬよう管理します。



プール救急用品の日常点検

▶ キ 市民への安全啓発

- ・市民に救急法の理解や水の事故防止への意識啓発を図るため、近隣の児童館に来館することもたちを対象にした救急法指導をはじめ、各施設の救急イベントにおいて、**AEDを用いた心肺蘇生法や着衣泳の体験会**を実施します。
- ・体育関係団体や地域団体の活動（大会・イベント開催など）支援の一環として、**AEDを貸出**します。



安全啓発の救急イベント

②職員の安全管理

▶ ア 労働安全衛生管理体制

- ・労働安全衛生法に基づき、職員数が50人以上の施設には**労働安全衛生委員会**を設置し、また10人以上50人未満の施設には**労働安全衛生に関する懇談会**を定期的に開催し、職員の健康の維持と快適な職場環境の形成を促進します。
- ・本財団全体の労働安全衛生に関する事項を総括的に捉えるため、専務理事が委員長を務め、各事業所代表者及び衛生推進者等で構成される**総括管理委員会**を設置しています。
- ・勤務日には**日常健康チェック票**で健康状態を確認し、未然に労働災害を防ぐよう取り組んでいます。
- ・産業医や職員の意見を反映させ、さらなる職場の労働安全衛生を確立し、職場環境の改善を図ります。

▶ イ 業務中の労働安全衛生管理

- ・労働安全衛生コンサルタントによる研修などを通じて、職員が行う**日常作業のリスクアセスメント**を実施し、その結果に基づき各作業をマニュアル化しています。
- ・労働安全衛生委員会による労働災害やヒヤリハット事例の共有、KYT（危険予知トレーニング）などの取組を通じて、非日常作業も含めた業務中の事故防止への意識を啓発します。
- ・施設事務所内の照度や室温を適切に管理し、職場の労働安全衛生と職員の健康維持を図ります。

③熱中症対策

▶ ア 熱中症警戒アラートへの対応

熱中症の危険性が極めて高いと予想される日の前日の夕刻若しくは当日早朝に発表されている警戒アラートの情報を一斉放送や館内掲示するなど、即時に全ての利用者に提供し、屋外の運動や不要不急の外出を控えることなどを注意喚起します。

▶ イ 暑さ指数(WBGT)

- ・暑さ指数(WBGT)を判断基準として、28℃を超える「**嚴重警戒**」の場合には激しい運動を避け、31℃を超える「**危険**」の場合には原則として運動を中止とするなどの案内に努めます。
- ・屋外施設及び冷房設備のない屋内施設での事業実施時には暑さ指数を測定し、本財団で定めた「**自主事業開催時における熱中症対策指針**」に基づき、運動強度の変更や事業の中止などを検討することで利用者が安心してスポーツを楽しむことができる環境づくりに努めます。



④マニュアル一覧

- ・安全管理に関する主なマニュアルを右記のとおり整備しています。
- ・基本的な対応マニュアルに限らず、細かな日常作業についても労働災害発生の危険性を踏まえてマニュアルを整備しており、今後も必要に応じてマニュアルを改訂、追加しながら、安全管理の維持向上に努めます。

- ・緊急時対応マニュアル
- ・避難誘導マニュアル
- ・自然災害対応マニュアル
- ・プール監視業務マニュアル
- ・プール清掃ロボ取扱いマニュアル
- ・トレーニングルーム業務マニュアル
- ・トレーニング器具の配置換えに関するマニュアル
- ・救助訓練危険防止マニュアル など

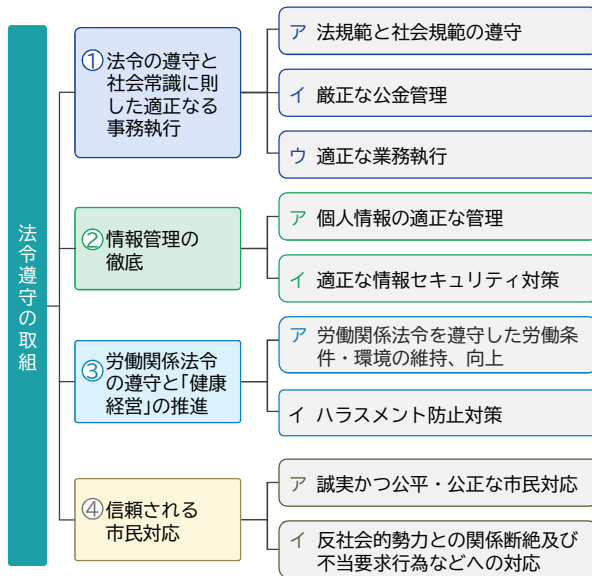


コンプライアンスの意識を高め、市民から信頼される管理運営を行っています。

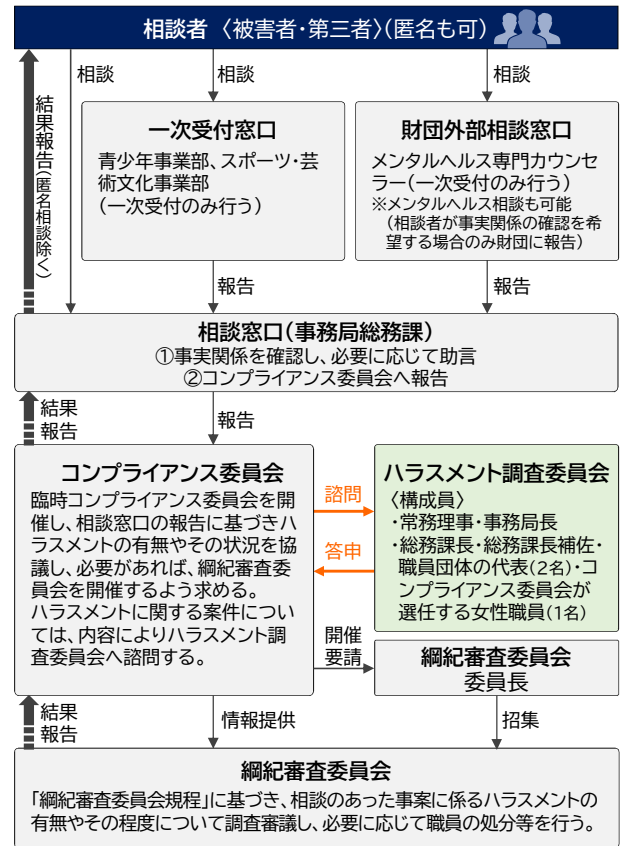
- 全職員が社会的ルールとマナーを遵守しています。
- コンプライアンス規程と行動指針を定め、相談窓口と委員会の組織体制を整備しています。
- 職員が心身ともに健やかに安全に働ける職場環境づくりに努めています。

(1)法令遵守の取組

法令や社会的規範、企業倫理などを遵守することは、藤沢市が出資する公益財団法人の基盤となる重要事項と理解し、社会的信頼性と業務運営の公正性の確保を目的とした「コンプライアンス規程」と「コンプライアンス行動指針」を定めています。全ての職員が共通の認識と高い意識をもって行動します。



法令遵守の取組



本財団におけるコンプライアンス行動実践のための組織体制

①法令の遵守と社会常識に則した適正なる事務執行

▶ア 法規範と社会規範の遵守

- ・ 事務の執行にあたっては、指定管理者管理運営の基準に示された法令及び藤沢市の例規を遵守し、その内容を十分理解し、適切に対応します。
- ・ 職場において、法令などの違反行為や違反の可能性がある行為を認識したときは、隠ぺいなどを含め見過ごすことのないよう「公益通報者保護規程」に基づいて適切に対応します。

▶イ 厳正な公金管理

- ・ 施設利用料や教室受講料などの現金（公金）の取り扱いに関しては「現金等収納及び取扱いマニュアル」に基づき、2人以上による確認作業を徹底し、金庫内の現金と現金在高表と照合の上、適正に管理します。
- ・ 自動券売機や事業運営システムのキャッシュレス決済を促進し、現金収納管理のリスクを低減するとともに、事務の効率化を図ります。

▶ウ 適正な業務執行

コンプライアンスについては、職員のみならず、再委託業者にもそれぞれの業務に求められる法令について仕様書に記載し、関係法令の遵守を徹底します。



②情報管理の徹底

▶ア 個人情報の適正な管理

公益財団法人として、職員一人ひとりが高い意識を持ち「藤沢市個人情報の保護に関する法律の施行等に関する条例」及び本財団の「個人情報の保護に関する規程」に基づき、個人情報管理責任者にスポーツ事業課長、個人情報管理補助者に各施設長を配置し、適正に運用管理します。

情報管理

- ・ 個人情報を管理しているパソコンへのアクセスはパスワードで管理しており、アクセス権限のある職員が操作を行います。パスワードは定期的に変更して情報管理を徹底しています。

情報の収集及び利用

- ・ 業務を適切かつ円滑に遂行するため、個人情報を適正な手段により収集・利用します。収集する場合は、本人にあらかじめ知らせるとともに、目的達成に必要な最小限の情報を収集します。

第三者への提供

- ・ 法令に定められている場合や本財団理事会で情報提供することが適当であると承認された場合を除き、本人の同意を得ることなく、個人情報を第三者に提供しません。

開示・訂正

- ・ 個人情報の開示・訂正などを求められた場合は、法令・本財団の規程に基づき、適切に対応します。

▶イ 適正な情報セキュリティ対策

- ・ 重要な情報資源としての電子データは、本財団独自のデータサーバーに保存していますが、クラウドサーバー化など、より安全なデータ保存方法と情報管理の強化にも取り組みます。
- ・ 情報セキュリティ対策の重要性を職員一人ひとりが認識する研修を行い、適正に情報を取り扱い、管理する意識と行動を徹底します。
- ・ 「個人情報取扱事業者保険」に加入し、万が一、本財団が管理する個人情報が不正アクセスなどにより、漏洩した場合に生じる賠償責任や各種対応費用の負担に備えます。

③労働関係法令の遵守と「健康経営」の推進

▶ア 労働関係法令を遵守した労働条件・環境の維持、向上

- ・ 「労働基準法」をはじめ、「労働安全衛生法」や「育児・介護休業法」、「男女雇用機会均等法」などの労働関係法令を遵守した就業規程と、その他関係規程を整備しています。今後も職員誰もが安心して働くことができる労働条件と労働環境の維持、向上に努めます。
- ・ 職員一人ひとりが、心身ともに健やかに働くことができる職場環境をめざし、協会けんぽ神奈川支部より認定される「かながわ健康企業宣言」の「健康づくり取組み企業」認定において、本財団は現在3つ星を取得しています。
- ・ 指定管理期間において、最高位の5つ星認定証の取得に向けて、引き続き職員の健康づくりに取り組みます。



かながわ健康企業宣言認定証

▶イ ハラスメント防止対策

- ・ セクシュアルハラスメントやパワーハラスメントなどをはじめとする各種ハラスメントは、職員の勤労意欲を低下させるとともに、職場環境の悪化を招き、円滑な職務の遂行を阻害する行為であることから、本財団「コンプライアンス委員会」を中心とした意識啓発・防止対策の取組を進めます。
- ・ 継続した悪質なクレームは、職員に過度なストレスを与えるとともに、通常業務に支障を生じさせる懸念があるため、カスタマーハラスメント防止対策の取組を進めます。



④信頼される市民対応

▶ア 誠実かつ公平・公正な市民対応

市民と接するときには、自らの対応が本財団だけではなく藤沢市全体への評価となることを常に意識し、誠実かつ公平・公正な対応を行うとともに、市民からの意見や相談、苦情などについては、プライオリティを高め、常に市民の立場に立ち、親切丁寧な対応を心がけます。

▶イ 反社会的勢力との関係断絶及び不当要求行為などへの対応

- ・反社会的勢力には毅然とした態度で対応し、一切の関係を持ちません。また、本財団への要望や苦情などが、暴力や脅迫を伴う不当な手段によって職務を強要するなどの不当要求行為等に該当する場合には「不当行為等の対策に関する要綱」に基づき、毅然とした態度で対応します。
- ・新たな施設長が着任した際には「不当要求防止責任者講習」を受講し、不当要求などに屈することがないように、徹底した対応に努めます。



不当要求防止責任者事務所



地域に愛され期待される施設、期待に応える居場所をめざします。

- 何度も足を運んでもらえるよう施設の居心地の良さを追求します。
- 継続するサービスは、アップグレードし、利用者の拡大と利用の促進を図ります。
- 平等・公平性を重視し、透明性の高い施設運営をめざします。

(1)施設利用の促進

①利用者ニーズに沿った事業運営による新規利用者の獲得

▶ア 利用制限緩和による新たな利用機会の提供

- ・夏期屋外プールでは、おむつ着用の乳幼児に関して「水遊びパンツ」の利用エリアを設けて、**乳幼児がプールに親しめる機会を提供**します。利用制限の緩和においては、利用者が安心して過ごせるように、日本赤十字社の資格を有する職員を配置し「事故を未然に防ぐ監視体制」を構築するとともに、徹底した水質管理の維持に努めます。



秋葉台公園せせらぎプール

▶イ 駐車場を24時間・365日利用へ拡大

- ・民間事業者の駐車場管理システムの導入や運営ノウハウの活用により、**24時間・365日、駐車場を利用可能とし**、公園の早朝利用をはじめ、施設利用時間外である夜間の駐車場利用など施設の有効活用にも努めます。
- ・車での利用者のために、**web上にリアルタイムで満空情報を配信**し、利便性の向上を図ります。
- ・**カメラで車両ナンバーを認識**することにより、**駐車券を廃止**し、ペーパーレス化を推進することで、駐車券紛失・詰まりのトラブルを無くします。
- ・**車両ナンバー入力の事前精算機とキャッシュレス決済を導入**し、スムーズな駐車料金の支払いと出庫を促進し、出庫待ち渋滞の解消を図ります。
- ・市内公共施設で導入が進む**カーシェアリング事業**について、各施設の駐車場にも**導入を検討**し、公共施設一体となったサービス提供をめざします。



▶ウ 既存施設の充実

- ・市民の新たなスポーツ活動の場として、**秋葉台公園軽スポーツ広場を供用開始**します。
- ・ボールが使用できる広場が減っていることから、**軟式ボールでのキャッチボールやサッカーボールでのパス練習などの利用も可能**とします。

【軽スポーツ広場】面積約1,500㎡（横約24m×縦約70m）

4～9月： 8:30 - 18:00（7/20～8/31 19:00まで）

10～3月： 8:30 - 16:30 ※12～2月は芝の養生のため閉鎖



秋葉台公園軽スポーツ広場

▶エ ユニバーサルスポーツゾーンの整備

市民からの寄付金を財源とした本財団の特定資産を活用し、秩父宮記念体育館と秋葉台公園において誰でも気軽に利用できるパタンクやモルック、ポッチャの**ユニバーサルスポーツゾーン**を整備し、用具の貸出しも行います。



モルック



▶ オ 若者にとって魅力のある運動公園へ

- ・日頃から若者が多く集うバスケットボールコートや卓球台、スケートボード広場などについて、**若者のニーズや声に応えた魅力ある運営**を図ります。
- ・特にスケートボードは、パリ五輪での日本代表選手の活躍や「鶴沼海浜公園HUG-RIDE PARK」のオープンにより、今後は**秋葉台公園スケートボード広場の利用者増も期待**されるため、**利用日や利用時間を拡大し**、施設としての充実を図ります。（**年末開館日・夏期利用時間の拡大**など）

▶ カ 横断的なイベント実施による新たな利用者の獲得

本財団のスケールメリットを最大限に生かし、青少年部門・芸術文化部門・スポーツ部門の各事業を横断的に紹介する「**みらい横断ウルトラスタンプラリー**」を実施します。これにより、異なる分野に興味を広げてもらうとともに、**小・中学生や親子世代の利用・参加を促進**し、新規利用者獲得につなげます。



▶ キ ロビーなどを活用した芸術文化事業の展開

- ・**体育館ロビー等を活用した芸術作品の展示や演奏会**など、本財団の芸術文化事業部門と連携し、活用の幅を広げます。
- ・令和8年度から藤沢市民会館の再整備が予定されているため、**芸術文化活動の場として秩父宮記念体育館武道室での合唱練習**などの受け入れも検討し、その活動の場を提供します。



芸術文化事業部門との連携の演奏会

▶ ク 施設供用日の拡大

- ・石名坂温水プール、八部公園テニスコートの12月28日から30日までの開館日拡大に加え、**秩父宮記念体育館と秋葉台文化体育館においても年末の開館日を拡大**します。
- ・これまで秩父宮記念体育館と秋葉台文化体育館、秋葉台公園球技場の休館（休場）日を月2回から月1回に変更してきましたが、今後は秩父宮記念体育館と秋葉台文化体育館のトレーニングルームの休室日も**月1回**とし、**開館日を拡大**します。
- ・プール利用者が多く見込まれる繁忙期の祝日の翌日は開館日を拡大します。

▶ ケ 教室受講者へのサービスチケットの配付

参加費3,000円以上の教室の受講者には、オープン教室又は個人使用が1回無料になる**サービスチケット**を配付し、今まで利用したことのない施設での「お試し利用」にも活用いただくことにより、新規利用者の獲得につなげます。



個人利用サービスチケット

▶ コ 映画・ドラマの撮影協力

近年、映画やドラマの視聴者がロケ地を訪れ物語の世界にひたる「聖地巡礼」といったロケツーリズムが注目されていることから、指定管理施設での撮影については、湘南フィルムコミッションに全面的に協力し、観光資源豊かな藤沢市の魅力発信に寄与します。

【撮影協力実績例】

- ・そこ曲がったら、櫻坂（テレビ東京）
- ・日向坂46「見たことない魔物」（MV）
- ・レトロの美（毎日新聞日曜版10/8号）
- ・おはスタ「フミダッシュ！With探求楽習 走り編」（テレビ東京） など



日向坂46MV撮影風景



②利用者の満足度向上と新規利用者獲得のための取組

▶アトレーニング機器の更新

- ・秩父宮記念体育館、秋葉台文化体育館、八部公園の3施設のトレーニングルームの機器については、老朽による更新だけでなく、施設利用者の日頃の声や顧客満足度調査に基づいた更新も行い、**利用者意見を施設運営に反映**させることにより、顧客定着率の向上をめざします。
- ・機器の更新にあたっては、各施設の担当者が機器の展示会に出向くなど情報を広く収集し、最適な機器を選定することで、より安全に、効果的・快適にご利用いただけるよう努めます。



新規トレーニング機器の一例

▶イ 利用者意見などを取り入れた利用者満足度を高める取組

各スポーツ施設では、設備や備品も含め、建築から30年以上が経過しているため、現在の利用者ニーズやスポーツ実施環境などにそぐわない状況が増えてきています。今後も、藤沢市と連携を図り、計画的な更新や修繕などを行い、**利用者の満足度と利用率の向上**に努めます。

※新規設置や修繕の費用には、本財団が**効率的な運営により捻出した剰余金の一部も活用**します。

【主な取組】

全施設の和式トイレの洋式化及び温水洗浄便座の設置、秋葉台文化体育館第3体育室に新たに空調設備を設置、石名坂温水プールへのハロゲンヒーター設置、秋葉台文化体育館武道室の畳の更新 など



洋式化・温水洗浄便座の設置



冷暖房設備の設置

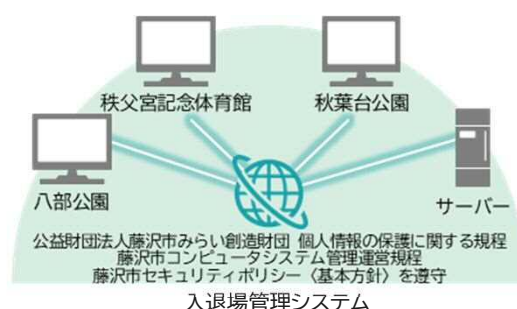
▶ウ 利用ポイントサービスを活用した施設利用の促進と利用者とのコミュニケーション

- ・個人利用1回ごとにポイントを加算し、規定数に達した方への1回無料のサービスを提供します。
- ・施設ごとにポイント2倍Dayを設定するなどの施設利用の意欲を高めるサービスを提供します。
- ・施設の継続利用や施設間の相互利用の促進を図るとともに、窓口での**利用者とのコミュニケーションツール**としても活用します。
- ・施設運営では様々なDX推進の取組を進めますが、このサービスでは紙のカードを用いて、職員が利用者とのコミュニケーションに努め、施設運営に対する意見や要望などの聴取を図ります。



▶エ ICTを活用したトレーニングルームの管理システムの活用

- ・秩父宮記念体育館、秋葉台文化体育館、八部公園の3トレーニングルームの**利用者情報を一括管理するシステム**を設置しているため、利用者は1枚の登録カードで3施設利用できます。
- ・利用履歴や過去の運動メニューを3施設で共有できるため、どこの施設でも**その利用者に合わせて運動メニューが提供**できます。利用者はその時々気分や生活環境の変化に合わせて、3施設のトレーニングルームを気軽に選択してご利用いただけます。





▶ オールプール・トレーニングルーム・サウナ浴室のサブスクリプションサービスの導入

- ・プール、トレーニングルーム、サウナ浴室の個人使用にサブスクリプションサービスを導入し、通年、特に11月～2月の利用閑散期の利用率向上をめざします。
- ・1か月間や3か月間など一定期間を設定し、施設利用料をその期間に応じた割引価格で提供します。



▶ カ SNSを活用したタイムリーな情報発信・提供

利用者が求める適切な情報をタイムリーに提供するため、これまで活用してきた広報媒体はもちろんのこと、多くのフォロワーを獲得してきたSNS（特にX（旧Twitter））を積極的に活用し、その効用を生かした情報発信に努めます。

【主な具体的内容】

テニスコートなどの当日空き状況、施設の混雑情報、イベント開催状況、教室やイベント募集など



八部公園 X(旧Twitter)

▶ キ 季刊誌の発行

- ・本財団では、スポーツ・青少年・芸術文化の各分野の記事を盛り込んだ季刊誌を年4回発行しています。
- ・これまで特定の分野を愛好していた市民が、異なる分野の記事に触れることで関心を持ち、各分野の新たな愛好者へつながることが期待されます。
- ・季刊誌は多くの方が目にすることができるよう、Web上に掲載するとともに、待ち時間などに手に取りやすい施設については、印刷物として約16,000部（年4回×4,000部）を配架しています。

【主な配架施設】

本財団管理施設、藤沢市役所、市内各市民センター・公民館、市内各図書館、市内小田急線各駅 など



財団季刊誌
「Fujisawa MIRAI.net」

③市内事業者などと協力した事業展開による利用者拡大

▶ ア 公園施設を活用したマルシェイベントの開催

公園施設を有効活用し、市内の生産者や個人店の事業者が農作物や加工品、工芸品などを持ち寄って販売する「アキバ★マルシェ」を開催します。2022年度から開催実績を積み上げてきましたが、今後も多くの市内事業者やキッチンカー事業者などと協力して展開し、利用者の拡大を図ります。

【実績】

- 2022年度 実施回数：1回 店舗数：19店舗
- 2023年度 実施回数：2回 店舗数：①34店舗 ②40店舗
- 2024年度 実施回数：1回 店舗数：17店舗 実施予定：1回 店舗数未定



アキバ★マルシェ

▶ イ キッチンカーによる飲食物の販売、スポーツ用品・グッズの臨時販売

- ・施設内にレストランや売店がないため、藤沢市キッチンカー連絡協議会の協力の下、利用者が多く見込まれるイベント開催日や土日祝日などにキッチンカーにより飲食物を販売します。
- ・大きな大会やイベントなどの開催の際には、小売店事業者などによる臨時販売を実施し、利用者のニーズに応えます。
- ・販売事業者について、市内事業者に出店を依頼するなどを心がけ、市内事業者の活用や市内経済の活性化にも配慮します。



市内事業者のキッチンカー



④ロビーを活用した居心地のよい施設づくり

▶ア 藤沢市「ひと涼み処」事業への協力

藤沢市が推進する、熱中症による健康被害を防ぐことを目的とした「ひと涼み処」事業に賛同し、市民の身近な公共施設のひとつとなるよう、秩父宮記念体育館・石名坂温水プール・八部公園の各ロビーを開放します。



藤沢市「ひと涼み処」事業協力

▶イ 四季の行事や国際大会・全国大会などにちなんだロビーの活用

施設ロビーに、四季の行事やスポーツの国際大会・全国大会などにちなんだ装飾を施し、利用者に限らず、市民の憩いの場所としてくつろげる場を提供します。

また、テーブルや椅子を設置し、タイムリーに話題となっているスポーツ大会の実況放送や、各競技の概要、注目選手を紹介する動画を上映するなど、パブリックビューイングとして観賞する場を提供します。

【装飾実績例】

春：ひな祭り、夏：七夕、秋：ハロウィン、冬：クリスマス
 その他：オリンピック、パラリンピック、サッカーワールドカップ、夏の高校野球など



七夕にちなんだ装飾

⑤市内小・中学校によるスポーツ施設の活用

▶ア 学校プール集約化に伴う校外水泳授業の実施

- 各プールの休館日を利用し、本財団職員による安全な監視体制の下で市内小・中学校における水泳授業を実施します。
- 水泳授業が円滑に進められるよう、水泳指導の補助的な役割を担います。
- 今後は子どもたちのレベルに応じたカリキュラムの作成や利用者の少ない平日の午前中の実施を検討し、実施校の拡大に向けた調整に努めます。

【実績】

2023年度 受け入れ校：1校 実施回数：16回 人数：1,392人
 2024年度 受け入れ校：3校 実施回数：98回予定（実施中）



水泳授業の風景

▶イ 中学校部活動の地域移行における活動場所の提供

中学校部活動の地域移行に伴い、これまでと同様に、学校、市、保護者・生徒との連携を図るコーディネート業務や外部指導者との意見交換・合同研修を継続するほか、新たに指定管理施設を活動の場として提供するなど、学校のニーズに合わせ支援します。

【実績：土・日曜日実施】

2023年度 地域移行モデル校：1校 実施回数：26回
 2024年度 地域移行モデル校：2校 実施回数：90回予定 / 地域連携モデル校：2校予定

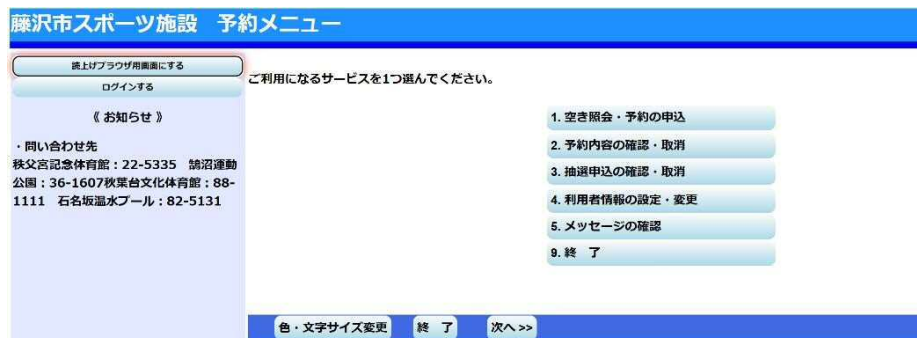


(2)サービスの向上

①利用手続きなどにおけるDX化による利便性向上

▶ア スポーツ施設予約手続きのオンライン化

スポーツ施設予約手続きのオンライン化により、利用者が24時間365日いつでもどこでも簡単に予約から支払いまでが可能となり、利用者の利便性が大きく向上します。また、申請書や許可書などの印刷も不要となり、紙の消費量を大幅に削減することができます。



藤沢市スポーツ施設予約(現行)

▶イ 自動券売機へのキャッシュレス決済の導入

- ・「藤沢市DX推進計画」の最重要取組項目のひとつである「キャッシュレス化の推進」に取り組み、**自動券売機にキャッシュレス決済を導入**します。
- ・キャッシュレス決済により、利用者の利便性のみならず、データ連携・デジタル化による**集計の効率化や決済データの分析・活用**をはじめ、**現金収納管理事務の軽減**など本財団にも高い利便性が期待できます。
- ・クレジットカード決済や二次元コード決済を中心に、現金決済では貯まらないポイントも獲得することができ、間接的なサービス提供も図られます。
- ・既に導入済みの「事業運営システム」に加え、スポーツ施設予約手続きのオンライン化、そして自動券売機のキャッシュレス決済導入により、**施設運営における効率化を推進**します。



▶ウ「事業運営システム」のサービスの充実

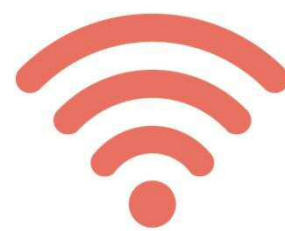
- ・運用開始から3年が経過し、利用者の利便性が図られている「事業運営システム」について、**新たなオンライン決済サービスを追加**するなど、さらなる利便性向上をめざします。
- ・当該システムの**メール配信サービスを積極的に活用**し、教室の休講情報や教室・イベントの募集案内などの配信に努め、適時、参加者に必要な情報を届けます。



事業運営システム

②Free Wi-Fiサービスによるスポーツ・レクリエーション活動の充実・拡大

- ・「藤沢市DX推進計画」の下、スマートシティの実現に向けた取組として、施設内に誰でも利用できる**無料Wi-Fiサービス**を提供します。
- ・Wi-Fi環境の整備により、YouTube動画で動きを確認した練習、大会や試合結果の即時更新、活動時の情報収集など**スポーツ・レクリエーション活動の充実と拡大**が図られます。
- ・無料Wi-Fiサービスの提供により、地震や台風などの**災害時における安否確認や情報収集**などの重要な手段となり、避難所開設などの際にとっても有用なものとなります。





③物品販売・レンタルサービスの充実による利用者サービスの向上

▶ア 物品販売やレンタルサービス、無料貸出サービスの実施

水泳用品や卓球用品などスポーツ用品の**物品販売やレンタルサービス、利用者ニーズに応えた体重計やドライヤーなどの無料貸出サービス**を継続して実施し、利用者の利便性向上を図ります。

物品販売・レンタルサービス品目の例

区分	物品販売	レンタル
体育館施設	卓球ボール、バドミントンシャトルなど	シューズ、各種ボール、デジタルイマーなど
プール施設	水泳帽、ゴーグル、水着など	アクアヌードル、アーム浮き輪、ヘルパーなど



物品販売

▶イ レンタルロッカーサービス、ランナーズステーションとしての施設利用

- ・3～6か月間でコインロッカーを自由に利用できるレンタルロッカーサービスの充実を図ります。
- ・近年のランニングブームに合わせ、秩父宮記念体育館において、レンタルロッカーでのシューズの保管やランニング後にシャワーを利用できるよう整備し、**ランナーズステーション**としての供用を新たに開始します。今後も、**湘南藤沢市民マラソン参加者などの市民ランナーを支援**していきます。

▶ウ キャッシュレス決済・災害バンダー対応の自動販売機の設置

- ・利用者の利便性向上を目的に、清涼飲料水やアイス、軽食などの自動販売機を設置します。
- ・**キャッシュレス決済**対応機種を導入し、「藤沢市DX推進計画」の最重要取組項目のひとつである「キャッシュレス化の推進」に取り組みます。
- ・**災害援助バンダー**対応機種を導入し、災害時の避難拠点となる公共施設の役割を果たします。
- ・藤沢市を拠点とするプロスポーツチーム「**湘南ユナイテッドBC**」**応援ラッピング自動販売機**も設置し、市民とともにプロスポーツチームを応援します。



「湘南ユナイテッドBC」
応援ラッピング自動販売機

④プラスαの情報提供と情報発信によるスポーツを楽しむ環境づくりの推進

今後もオリンピックやパラリンピック開催時における**藤沢ゆかりの選手**の紹介など、競技をより楽しめる**プラスαの情報提供**や様々な競技の国際大会などのスポーツ情報を適時発信し、市民がスポーツを楽しむ環境づくりを推進します。



パリオリンピック・パラリンピック
応援看板設置



(3) 平等な利用の確保

① 誰もが平等に利用できる施設運営

▶ ア 公共性・公平性保持に関する条例の理解

「地方自治法」をはじめ、「藤沢市秩父宮記念体育館条例」、「藤沢市石名坂温水プール条例」、「藤沢市都市公園条例」その他関係規則を正しく理解し、適正な利用許可や平等な利用調整を行う職場での実務研修（OJT）などを実施します。

▶ イ 人権尊重の取組

- ・ 全職員を対象とした人権問題に関する専門研修を年1回実施します。
- ・ 「障害者差別解消法」において、障がい者が感じる障壁の排除など合理的な配慮が事業者の義務になっています。本財団においても、全職員に対してめくもりある接遇を徹底し、全ての利用者を区別することがないサービスと情報提供を図ります。



専門研修(バリアフリー研修)

▶ ウ 公共サービス事業者としての職員研修

- ・ 指定管理者セミナーに参加するなど、サービスの公平性を保つ取組を積極的に行います。
- ・ 施設運営協力業者や外部講師に対しても、公共サービス事業者としての理解を促すための研修を実施します。
- ・ 職員が適切な対応ができるよう全職員を対象に接遇研修を定期的を実施します。
- ・ 藤沢市の職員研修にも積極的に参加し、市の方針・計画などについて藤沢市職員と共通認識を持った対応に努めます。
- ・ 近年カスタマーハラスメントによる職員の心理的負担の軽減が求められていることから、本財団においても「カスタマーハラスメント対応研修」を新たに実施し、利用者からの不当なクレーム等については、組織として毅然とした対応に努めます。



接遇研修

▶ エ 反社会的組織への対応

施設の平等・公平な利用確保のために神奈川県暴力追放センターの賛助会員となり、「暴力団追放ステッカー」の掲示や対策研修を実施し、反社会的組織の介入を抑止します。

▶ オ LGBTQ+(性的マイノリティ)への理解

- ・ 性別がわからない人、決めていない人、決まっていない人、探し中の人など、セクシュアリティの多様性を理解するため、正しい知識を入手し、職員で共有します。
- ・ 施設的环境整備として、多目的トイレや多目的更衣室の柔軟な活用、男性トイレへのサンタリーボックスの設置など、今後も多様な方々が利用できる施設運営に努めます。



正しい知識を入手、共有



②システムを活用した適正な申込受付・抽選

▶ ア 団体一般利用の受付

団体の一般利用については、「藤沢市スポーツ施設予約システム」による公正な抽選申込と空き枠の先着による随時申込により決定します。受付やホームページなどで初めての方にもわかりやすくご案内するとともに、当日の空き枠については個人使用に切り替えるなどの利用促進に取り組みます。

▶ イ 事業・教室の受付

- ・事業や教室に定員以上の応募があった場合は、事業運営システムでの一括抽選などにより参加者を決定し、参加機会の平等・公平性を確保します。
- ・事業や教室の申し込みは、インターネットでの受付が中心となりますが、インターネットに不慣れた利用者には、窓口でも受付します。

③優先使用制度の適正な運用

- ・優先使用は、原則「藤沢市スポーツ施設利用登録団体」が主催若しくは主管し、企画・準備等に相当日数を必要とし、予め日時・会場等の確定を要する場合とし、企画内容や収支予算などを確認の上、適正に対応します。
- ・国や神奈川県、藤沢市や市内スポーツ関係団体などが不特定多数の市民などを対象に開催する大会やイベントなどは、使用前年度に「藤沢市スポーツ施設優先使用基準」に則った「優先日程調整会議」を行い、公正に優先使用について決定します。
- ・優先使用の調整にあたっては、「藤沢市スポーツ施設優先使用基準」に基づき、藤沢市担当課とも協力の上、綿密な年間スケジュールで進めます。

④施設利用料減免の適正な取扱い

各条例・施行規則の減免に関する規定に則して、高齢者や障がい者が気軽にスポーツができる環境づくりのために、施設使用料を減じています。減免利用の可否については、基準に則り適正に取り扱うとともに、確認方法などを定めて正しく事務処理を行い、減免の適用について利用者にわかりやすく説明します。

⑤誰にでもやさしい施設を目指して

▶ ア ユニバーサルデザインの考え方を踏まえたサービス

利用者にとって公平で使いやすい施設となるよう、これまでにも**ユニバーサルデザインの更新**を行ってきました。今後も多様な利用者のご意見を新たなサービスとして取り入れる仕組みを強化し、サービスの向上を図ります。

ハード面	内容	対象
車いす	飲料の自動販売機は、車いすの利用者に使いやすいデザインの機種を設置しています。貸出用車いすを用意しています。車いすでも利用しやすいテーブルを設置しています。	障がい者 高齢者
入口・通路	素通しガラス扉に目印シールを貼り、衝突事故を防いでいます。階段や通路は、段差や場所がわかりやすいよう配色を工夫するとともに、軽微な段差や階段はスロープに更新します。	全員
トイレ	こども用便座を設置している他、トイレに温水洗浄便座を取りつけます。和式トイレを洋式トイレに更新します。	全員
遊具	2021年3月に設置されたインクルーシブ遊具の点検などを行い、適正に管理します。	全員



サービス面	内容	対象
送迎	さわやかな挨拶とあたたかい笑顔で、お迎え・お見送りします。職員による入退場ドアの開閉をお手伝いします。	全員
案内・誘導	利用者の不安がないよう案内・誘導します。車いすの方には、トイレや駐車スペースなどへ行く際のサポートを行います。	障がい者 高齢者
接客	接遇研修やノーマライゼーション研修を実施し、職員全員がホスピタリティーを持って接客します。小さな子どもには目線を合わせ、わかりやすい言葉で話します。	全員
受付	耳や言葉の不自由な利用者に筆談ボードを、高齢者や弱視の利用者には老眼鏡や拡大鏡を用意します。	障がい者 高齢者
印刷物	弱視や色弱などの障がいがある利用者でも見やすいUDフォントやポイント数、色などを用いた印刷物を作成します。	障がい者 高齢者
外国語	翻訳機を活用し、受付や利用を支援します。緊急時の館内放送は、外国語の放送原稿を用いてご案内します。	外国人
利用案内	初めての利用者、障がい者の利用者でもスムーズに利用できるよう、利用日前の打合せを行っています。また、施設バリアフリーマップを設置します。	全員

▶ **イ 障がい者にやさしい環境づくり**

- 障がい者のレクリエーション機会の拡大は、専門性のある団体との連携が欠かせません。本財団は、**藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会事務局を担っている**ことから、そのネットワークを活用し、障がい者のスポーツ実施の機会を提供します。
- 「藤沢市における障がいを理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に基づき、聴覚障がいのある方に対しては、合理的配慮として、電子メールやFAXによる対応なども引き続き実施します。
- 階段への手すりの設置や休憩用の椅子増設など、ハード面の対応も進めます。



パラスポーツ開放事業

▶ **ウ 子育て世代への支援**

- 子どもたちが温かく見守られて育てほしいという願いを込めて、子ども同伴型のスポーツ事業の展開や授乳室の設置、多目的トイレにベビーベッドの設置を推進します。
- ひとりでも多くの子どもたちに、スポーツ教室を通じてスポーツの楽しさを感じてもらうために、藤沢市教育委員会の就学援助制度を基準として**就学援助世帯を対象に参加費を減額**し、負担軽減を図ります。



授乳室の設置

⑥新たな利用者を迎えるためのPR活動

▶ **ア 継続的な広報活動**

- 市民に対して施設利用の平等性を確保するため、広報活動を継続的に行い、スポーツ施設を利用されない市民にも、施設の情報に触れる機会を絶やさないようにします。
- 写真研修やSNS研修などを実施し、わかりやすく視覚で伝わる広報を行います。本財団ホームページで、施設案内はもちろん、問合せメールや各種SNSの更新により、より多くの方にスポーツ施設の情報を周知します。



財団ホームページ
「スポーツコンシェルジュ」

▶ **イ メディアへの情報提供**

日頃から藤沢市広報シティプロモーション課と協力体制をとり、イベント情報などを提供しています。今後も積極的なプレスリリースにより新聞各紙やテレビ、ラジオ局などからの取材を受け、事業のPRに努めます。



▶ウ 情報のバリアフリー化

- ・インターネットによる情報提供が一般化し、インターネットに不慣れな利用者との情報格差が生じています。これまで通り「広報ふじさわ」や財団季刊誌「Fujisawa MIRAI.net」、地域情報誌などの紙媒体での情報発信を継続していきます。
- ・本財団のホームページでは日本工業規格「高齢者・障がい者等配慮設計指針」に配慮するとともに、「やさしい日本語」の活用により、どなたでもわかりやすいホームページとなるよう工夫しています。





(4)利用者意見等の把握

①利用者アンケート等の実施

▶ア 利用者の声と満足度の収集

利用者からの大切なご意見やご要望は、様々な手法を活用し、積極的に収集します。これらには、利用者の視点に立って丁寧に対応し、職員ミーティングで共有します。また、施設長自ら回答し、その内容を施設内掲示やホームページなど、市民の目に見えるところに公開します。

施設利用者アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ■団体代表者、個人利用の利用者を対象に年1回実施 ■施設サービスや管理状況などの満足度を調査 ■モニタリング結果をホームページと施設内に掲示
事業参加者アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ■各種スポーツ事業終了時に参加者を対象に実施 ■プログラム内容や指導法などの満足度を調査 ■今後の事業に反映
意見提案箱	<ul style="list-style-type: none"> ■気兼ねなく記載できるように受付窓口から離れた場所に意見提案箱を設置 ■10日以内に施設長が回答し、その内容を施設内に掲示
ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> ■電話やFAXだけでなく、問合せ受付メールを整備 ■施設内のみならず、本財団全体で意見を収集する環境を整備
藤沢市コンタクトセンター	<ul style="list-style-type: none"> ■藤沢市コンタクトセンターに設置されている意見ダイヤルを積極的に周知 ■施設内だけでなく、意見を自由に寄せることが可能

▶イ 生涯スポーツ推進委員会からの意見の反映

地域や市内関係団体などの代表者及び本財団理事・評議員で構成する「**生涯スポーツ推進委員会**」を設置し、委員会からの意見や提案などを反映した施設運営や事業の見直し、検討を行います。

委員母体	藤沢市体育協会 藤沢市レクリエーション協会 藤沢市スポーツ少年団本部 藤沢市地区社会体育振興協議会連合会 藤沢市スポーツ推進委員協議会 藤沢市中学校体育連盟 藤沢商工会議所	(公社) 藤沢市医師会 藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会 (公財) 藤沢市保健医療財団 学識経験者 藤沢市行政関係者 本財団理事 本財団評議員	合計18人
------	--	---	-------

生涯スポーツ推進委員会構成

▶ウ 施設運営委員会からの意見の反映

- ・秩父宮記念体育館及び八部公園に設置されている、地域関係者が参画した「**施設運営委員会**」からの意見や提案などを反映し、**地域に密着した施設運営**を実施します。
- ・秋葉台公園は興行場という特性を鑑み、藤沢北警察署警備課や近隣の学校と「**施設運営協力会**」を構成し、**地域の防犯と安全に配慮した施設運営**に努めます。

委員	地域協力者 鵜沼地区交通安全母の会 鵜沼石上町内会 会長	堀川郷友会 会長 鵜沼地区防犯協会 会長 鵜沼小学校 校長	合計7人
----	------------------------------------	-------------------------------------	------

秩父宮記念体育館・八部公園施設運営委員会構成

▶エ 施設利用者以外のニーズ調査の実施

定期的に利用者以外のニーズ調査を実施し、スポーツ施設に求められるニーズを把握し、施設運営に反映します。

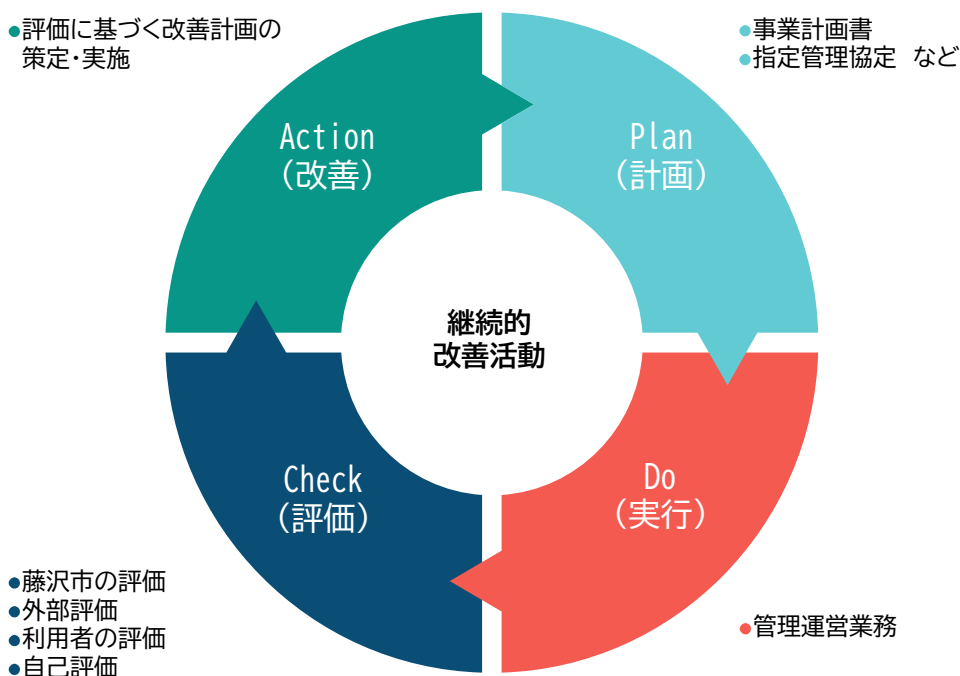


▶ オ クレームなどへの対応

- ・クレームは貴重なご意見と捉え、施設運営の改善に生かします。
- ・利用者対応については、本財団の「コンプライアンス行動指針」に基づき、相手の立場に立って適切に、そして利用者を待たせず、迅速に対応します。
- ・初期対応した職員が孤立しないよう、バックアップ体制を整え、職員への安全配慮にも努めます。
- ・カスタマーハラスメント対応研修を実施し、利用者に対し、適切な対応を図ります。

②PDCAサイクルによる組織的な改善活動

提案内容の達成と業務水準を継続的に改善するためにPDCAサイクルを実行します。各年度の事業計画書に基づいた計画的な業務履行と定期的な評価を徹底します。特に評価と改善に必要なモニタリングを強化し、多様な評価を受けることで効果的な改善を行います。



▶ ア 提案内容を確実に履行できる組織的な業務管理

- ・指定管理者として提案内容を確実に履行し、利用者や藤沢市からの要望に的確に対応していくことが最大の使命であると認識しています。藤沢市運動施設等の管理運営にあたっては、施設長が統括責任者として施設の運営状況を把握し、事業評価や職場での実務研修などを通じて、業務水準の向上を図ります。
- ・本財団管理職会議や施設長会議にて、年次計画や提案事項の進捗を管理します。



管理職会議

▶ イ「部門別定例会議」による施設運営状況の確認や課題の共有

各施設長や藤沢市担当課職員などで構成する「部門別定例会議」を毎月1回開催します。この会議では、利用者数や収入実績などの目標達成状況の確認、利用者からの意見や提案、施設運営上の課題などを共有し、改善策を協議します。



③指定管理者としての自己評価

▶ア 内部監査の実施

本財団監事による内部監査を毎年実施し、文書管理、労務管理、経理処理などに関する事務の執行と規定に沿った現金出納の適正化に努めます。藤沢市運動施設等においても、監査受審による業務点検と改善への提言を受け、業務の適正化を図ります。

▶イ 外部機関による覆面調査

利用者の声を傾聴するための心構えや姿勢、「おもてなしの心」あふれるサービスの実践方法を学ぶため、全職員が接客研修を受講しています。研修の効果は、外部機関により覆面調査でチェックし、利用者目線での評価を明らかにし、サービス向上につなげます。

覆面調査評価項目	
総合項目	窓口での接客対応／電話対応／施設機能／環境（美観） など
業務チェック	初回利用者対応／入館・退館時対応／トレーニングルーム・サウナ室等業務／施設内の雰囲気・清潔感 など
評価者の感想意見	自由意見（良かった点、改善を求める点など）／印象に残った職員（氏名、理由） など

▶ウ 第三者評価機関によるモニタリングで客観性を担保

- ・事業運営を客観的に評価するために、第三者評価機関による業務モニタリングを実施します。
- ・第三者評価機関による客観的な業務の履行の確認に加えて、サービス内容や管理運営における課題などを把握することで、施設運営の改善、利用者サービスの向上を図ります。



評価結果報告書イメージ

④藤沢市の第三者評価

藤沢市の指定管理者制度では、公正で客観的な第三者評価による藤沢市指定管理者評価委員会評価を実施しています。当該評価の受審により、サービスや業務の評価のみならず、施設管理上の「良い点」、「悪い点」が外部の視点で明らかになります。利用者サービス向上のための業務改善や管理運営を見つめ直す機会とし、より良い施設運営につなげていきます。



これからも利用者に安全で快適な施設を提供します。

- 管理実績に基づく中長期修繕計画を策定します。
- 利用者ニーズに合わせ、社会的劣化に対応します。
- 職員や再委託業者で情報を共有し、計画に基づく適切な修繕に努めます。

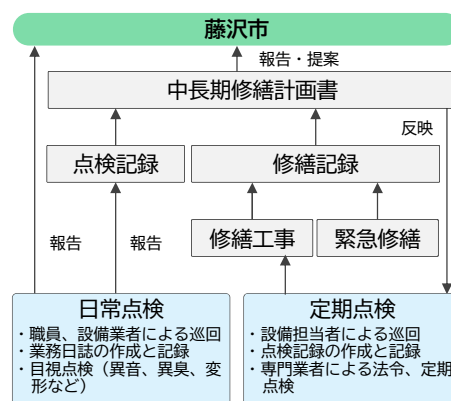
(1)施設・設備の維持管理

- ・「藤沢市公共施設等総合管理計画」における施設の安全確保や効果的な維持管理に基づき、施設管理者による「**日常点検**」、法令等に基づく「**定期点検**」、災害や事故発生等による「**緊急点検**」を行うことで、適切な維持管理を行います。
- ・近年、スポーツ施設の経年劣化は著しく進んでおり、建物及び設備の「物理的、機能的劣化」に対して**予防保全**を行うことで**大規模修繕の抑制**を図ります。
- ・物理的、機能的劣化に加えて「社会的劣化」が起こっている設備などに対して改修を行うことにより、施設環境を整備します。
- ・施設の維持管理は、指定管理者として事業運営の重要な基盤であると捉えており、**効率的な運営で捻出した剰余金の一部も活用**し、計画的に施設の改修等を実施します。

①中長期修繕計画を基にした物理的・機能的・社会的劣化への対応

▶ア これまでのノウハウを生かした物理的・機能的劣化への対応

- ・指定管理者として蓄積してきた「5期19年」の維持管理データなどを基に、日々の「**日常点検**」や「**定期点検**」の記録管理、「**中長期修繕計画**」の策定及び進捗管理といった一連の維持管理業務を行います。
- ・これまで蓄積した保守・点検データを活用し、「**予防保全**」を藤沢市と共同で進めます。また、休館日や予約のない時間帯に修繕を行うことで、施設利用者への影響を最小限にします。
- ・施設利用に大きく影響する「**大規模修繕**」が必要と考えられる案件は、速やかに報告するとともに、藤沢市担当課と協議する中で必要な提案を行います。
- ・藤沢市が実施する工事にあたっては、利用者周知をはじめ、必要な連絡調整などに協力します。



維持管理業務の一連の流れ

▶イ 利用者ニーズに合わせた社会的劣化への対応

- ・社会環境の変化により、利用者ニーズに合わない設備など（**社会的に劣化した設備**）について、積極的に改修を行うことで**施設の価値を維持**するとともに、利用者の利便性も向上させます。
- ・「藤沢市公共施設等総合管理計画」にある**ユニバーサルデザイン化の実施方針**に基づき、「**誰もが安全・安心に利用できる**」ように、藤沢市と協議する中で必要な提案及び改修を行います。



洋式・温水洗浄便座の設置

【指定管理期間における取組目標】

- ・ **全施設の和式トイレの洋式化及び温水洗浄便座の設置**
- ・ 更衣室、シャワールーム等の付帯施設の改修
- ・ 空調設備が完備されていない室内施設への空調機器の設置
- ・ 体のバランスが不安定になりやすい場所への手摺りの設置
- ・ 施設内の段差の改修



手摺りの設置



②施設管理に特化した専門会議

- 施設管理及び植栽管理の維持管理業務は、専門的な業務内容を把握することが重要であるため、**維持管理業務に特化した専門会議を毎月1回開催**することで、専門知識の共有と効率的な維持管理につなげます。
- 再委託業者との意見交換ができるよう施設担当者が集まる専門会議の発足を進めます。



施設管理専門会議

③公園・植栽の管理

▶ ア 彩りと親しみのある質の高い管理

- 自然環境の適切な保全を行うべく、専門的知見の活用として「**植栽アドバイザー**」と**業務委託契約**を結び、植栽業務の健全化を図ります。
- 「植栽アドバイザー」は、現場巡回時の病害虫の確認など「植栽検査業務」の補助業務を担います。
- 藤沢市運動公園として、園路内のランニングコースにかかる樹木の安全確保や公園利用に及ぼす弊害や危険性の除去などを行うだけでなく、「観る」観点からも自然に親しむ公園施設として、維持管理を計画的に行い、より質の高い管理に努めます。



秋葉台公園の藤棚

▶ イ 快適さ、憩いのある安定した管理

- 公園の植栽管理委託業務は、実績のある市内業者から選定し、公園内を快適に過ごせるよう管理し、緊急時にも迅速に対応します。
- 新たに「誰もが遊べる」インクルーシブな施設として生まれ変わった公園遊具は、障がい者、高齢者、こどもなど、様々な方が安全・安心に利用いただけるよう努めます。



インクルーシブ遊具

▶ ウ 誰もが安心できる安全の確保

- 「安全」を最優先し、利用者だけでなく従事者の安全も確保するため、作業前の安全点検や作業で使用する機器の整備、また公園内での作業車両の安全な走行など日常からの点検・整備、安全管理を徹底します。
- 再委託業者には安全講習を義務づけ、事故のない施設管理を目標に日々の業務を行います。



安全点検の徹底

▶ エ 自然災害への対策

突発的かつ局地的な豪雨や大型台風など、頻発化する自然災害（土砂災害・洪水・内水氾濫）への対策として、土のうを備蓄し、必要に応じて近隣に配布するほか、公園内で起こる様々な突発的な事象や問題に対しても、安全対策を講じます。



藤沢市土砂災害・洪水ハザードマップ



安全・安心な施設運営への防犯・防災対策に取り組みます。

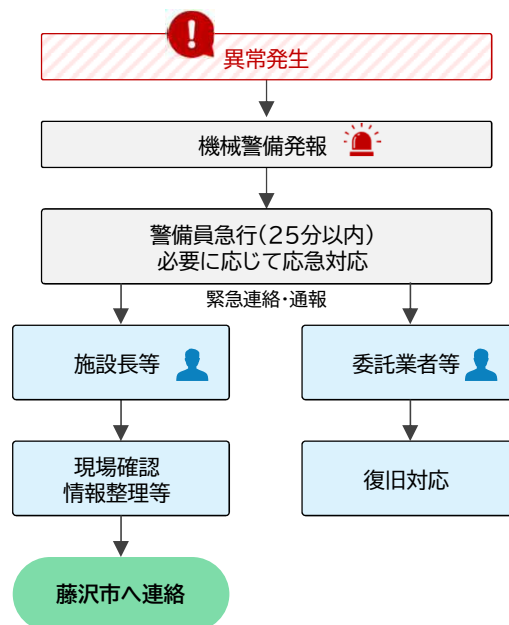
- 藤沢市の防犯ガイドラインと防災計画に準じた独自のマニュアルを策定しています。
- 警察や消防などと協働・連携した取組を継続して実施し、併せて市民へ啓発を行います。
- 緊急時を想定した訓練を継続的に実施し、万全を期した体制を維持します。

(1)防犯・防災対策

①防犯対策

▶ア 藤沢市のガイドラインに基づく防犯への取組

- ・「藤沢市公共施設等に関する防犯上のガイドライン」に準じ、犯罪の起こりにくい施設管理に取り組みます。
- ・施設内や公園内の照度確保、樹木の適切な剪定による見通しの確保に努め、部外者の進入を禁止する場所には立て札や看板を掲出します。
- ・施設入口に近く、ロビーを見渡せる受付スタッフなどには、日頃から不審者や不審物に気を配るように指導し、少しでも違和感などを感じた場合には、情報を共有し、早期に声かけや110番通報ができる体制を整えます。
- ・園路や駐輪場など敷地内の**ホットスポットパトロール**を実施し、防犯に努めます。
- ・全施設が「こども110番」に登録されており、地域の安全な場所としての役割を果たします。
- ・通常使用しない扉などは施錠し、鍵は事務所で一括管理し、持ち出しの際には貸出簿への記入を徹底します。
- ・夜間や閉館時については警備会社へ機械警備を委託し、事件発生時の対応や通報・連絡体制を整備することで犯罪防止の強化を図ります。



夜間、閉館時の連絡体制

▶イ 警察と連携した防犯への取組

- ・不審者目撃の情報提供や施設へのいたずら被害などがあった際には、施設職員の判断だけで処理せず、直ちに警察へ通報し、協力を要請します。
- ・警察に張り込み場所や訓練会場として施設を提供します。
- ・イベント開催時には、警察に依頼し、防犯意識の向上を目的としたPRブースを設置し、啓発活動を積極的に行います。
- ・施設窓口に「さすまた」や「防犯カラーボール」を設置し、日頃から防犯に対する意識を高めるとともに、警察に講師を依頼し、防犯に関する講習会（さすまた講習会など）を受講します。



イベント啓発活動

▶ウ 防犯マニュアルに則った行動、職員・警備員による施設巡回

- ・防犯マニュアルに則り、定期的な施設や設備の安全点検を重ねるとともに、不定期な施設巡回を行い、不審者や不審物を発見した場合にはお客様の安全を確保した上で、警察へ即時通報します。
- ・プール更衣室（コインロッカー）は、不定期かつ巡回の間隔が開かないように見回りを行います。
- ・施設利用者の少ない夜間については、再委託業者の警備員が施設内外を不定期に巡回し、施設の安全確保に努めます。



施設巡回



②防災への取組と対策

▶ア 消防・防災計画に基づいた訓練や点検の実施

- ・ 消防計画に基づき、各施設において年2回の部分及び総合消防訓練を実施します。消防の**普通救命講習への参加**や地震・火災発生を想定した**避難誘導訓練**などを実施します。
- ・ 災害発生時に、施設で迅速かつ適切な対応ができるよう、甲種防火管理の有資格者である施設長を防火・防災管理者（隊長）とし、自衛消防隊を編成します。
- ・ 財団防災計画に基づき、大規模災害を想定した**非常参集訓練**や**情報伝達訓練**を年1回実施します。
- ・ 法定点検のみならず、消防訓練時においても消火器や自動火災報知設備、誘導灯などの**消防設備を点検**し、機器・設備を適切に維持管理します。

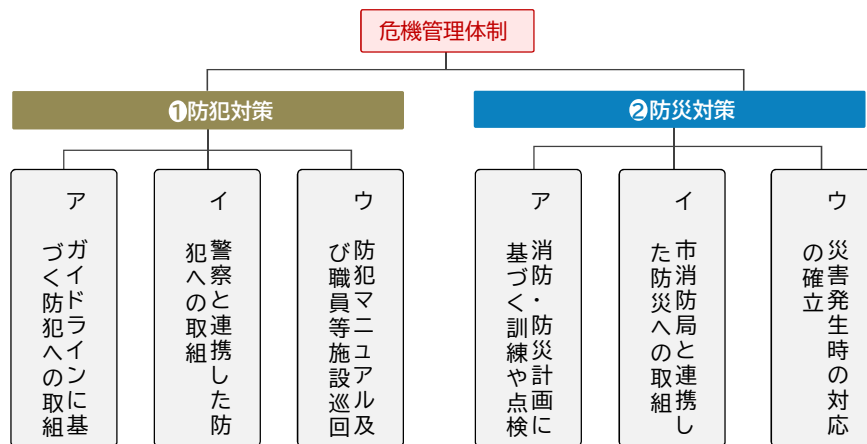


消防訓練(避難誘導)

※市内で震度5弱以上の地震又は津波警報が発令された場合は、本財団規程に則った「災害対策本部」を設置し、藤沢市と連携を図り、利用者・市民の安全確保に努める体制を整えています。

▶イ 藤沢市消防局と連携した防災への取組

- ・ イベント開催時には、消防と連携し、防災意識の向上を目的としたPRブース設置や消防署見学ツアーなどの啓発活動を実施します。
- ・ 消防訓練時の派遣や普通救命講習などを通して消防職員から直接防災に関するアドバイスをいただく機会を設けます。
- ・ 藤沢市消防局や地域の消防団の訓練の場として施設を提供し、連携を深めます。



(2) 緊急時の対応

①事故や急病などの緊急時の対応

- ・ 事故による負傷者や急病人が発生した際には、直ちに必要な応急手当を実施し、救急車の要請や避難誘導にあたるなど、マニュアルに基づき迅速な初期対応を行います。また、速やかに藤沢市へ事故報告するとともに、事故原因を分析し、事故の再発防止に努めます。
- ・ 応急手当については、AEDや救護用資器材を適切に使用し、最適な対応に努めます。
- ・ 緊急事態発生時には、二次事故の防止を意識し、応急手当などに努めます。

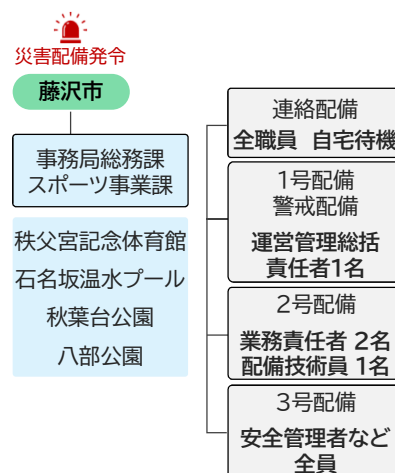


事故発生時の対応フロー



②災害発生時の対応

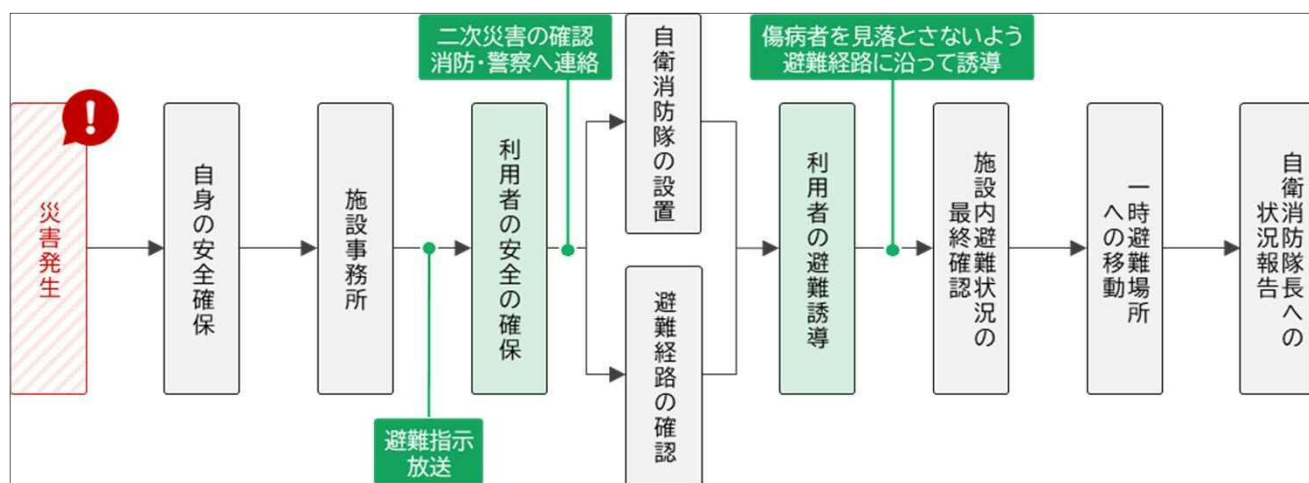
- 施設開館中に災害が発生した場合は、避難誘導マニュアルに従って行動し、利用者の安全を確保します。
- 各施設の状況を藤沢市へ報告するとともに、本財団でも情報収集にあたり、各施設と連携を図り、対策を講じます。
- 災害の状況により、本財団規程に則り、速やかに**災害対策本部を設置**します。
- 気象警報発令時やその他の災害の発生が予想される場合は、**藤沢市防災配備体制に準じ、本財団も配備体制**を敷き、利用者・市民の安全や施設の維持管理に努めます。
- 災害の状況により、藤沢市が避難施設などを開設する場合には、指定された施設の役割を適切に果たすため、市職員をサポートします。
- 雷警報や注意報発令時には、雷鳴や雷光を確認した時点で直ちに利用者に屋内施設への避難を促し、最後の雷鳴から最低20分経過するまでは利用を中断します。
- 台風などによる水害が想定される場合には、近隣住民の自動車の避難場所として**駐車場を開放**します。
- 防災、危機管理について策定している「消防計画」「避難誘導」「災害等配備体制」などのマニュアルに基づき、利用者・市民、職員の安全確保に努めます。



災害時職員配備体制図

秩父宮記念体育館：帰宅困難者一時滞在施設、津波避難ビル、南緊急物資輸送拠点
 石名坂温水プール：指定緊急避難場所(洪水・崖崩れ)
 秋葉台公園：指定緊急避難場所(大規模火災)/秋葉台公園球技場：ヘリコプター離着陸施設
 秋葉台文化体育館：指定緊急避難場所(洪水・崖崩れ)、遺体安置所
 八部公園：指定緊急避難場所(大規模火災)、災害派遣部隊宿営施設
 八部球場：ヘリコプター離着陸施設、津波避難ビル

指定管理施設の災害時の役割



災害発生時フロー

③補償体制

業務遂行又は管理上の不備などに起因する傷害事故や財物損壊が発生し、法律上の損害賠償責任が生じた場合に備え「**指定管理者賠償責任保険**」に加入します。



適正な人員配置と確度の高い予算で安全かつ効果的な運営をめざします。

- 多角的な業務に対応できる職員の育成を図り、適正な人員配置によって施設運営を行っています。
- キャリアに応じた職員をバランス良く配置し、安全・安心な施設づくりに努めています。
- 過去の実績に基づいた効率的な運営で、経費の縮減とサービス向上の両立をめざします。

(1)人員体制

①職員配置

- ・ 施設長、管理運営責任者、管理運営担当者は2交代制のローテーション勤務とし、**安全管理者を施設に1人以上配置**します。
- ・ 専門的知識、技術、資格を有した**トレーニング及びプール統括マネージャー・各専任職を配置**します。そのほか運営に関わる職員として、受付・事務員、プール監視員、トレーニングトレーナー（運動指導員）を非常勤職員や臨時職員として採用、配置します。藤沢市の雇用環境の改善や働く機会を提供するため、可能な限り藤沢市民の採用に努めます。



スポーツ事業課職員配置図

②有資格者の配置

- ・ **業務に応じて必要な資格を取得**し、市民が安全・安心して利用できるよう努めます。

資格の種別

公認スポーツ施設管理士、公認水泳指導管理士、公認トレーニング指導士、NSCA認定パーソナルトレーナー、JATI認定トレーニング指導者、甲種防火管理者、プール衛生管理者、普通救命講習、日本赤十字社水上安全法救助員、日本赤十字社救急法救急員、健康運動指導士 など

- ・ 資格取得については、本財団「職員の資格取得の支援に関する要綱」を定め、職員の資格取得を支援し、業務に必要な専門的知識を持った職員を各施設に配置します。



水上安全法講習

③研修計画

人材育成においては、**採用時から管理監督者まで経験年数や階層に応じた研修を体系化**し、基本研修・専門研修・マネジメント研修が効率的・効果的に受講できるように努めるとともに、業務に必要な専門的知識・技術を身につける機会を確保します。（次頁の財団研修一覧表を参照）



財団研修一覧表

研修名	実施回数	対象	研修名	実施回数	対象
財団新規採用職員研修(自主研修)	年1回	新採用職員	管理職・人事評価研修	年1回程度	課長補佐以上の管理職
藤沢市新採用職員前期研修(外部研修)	年5日程度	新採用職員	藤沢市一般職員二部研修(外部研修)	年3日程度	採用5年～6年目の事務職員
財団事業課研修(自主研修)	年3回程度	新採用職員及び採用2年～4年目の職員	eラーニング研修(外部オンデマンド視聴研修)	一定期間を定めて対象者が受講	主査以上の昇任者及び新採用職員
藤沢市監督者一部研修(外部研修)	年3日程度	主査昇任者職員	総括管理委員会フィジカルヘルス分科会主催研修(自主研修)	年1回程度	全職員
藤沢市監督者二部研修(外部研修)	年3日程度	上級主査昇任者職員	会計・財務研修(自主研修)	年1回程度	上級主査・主査職員
キャリアアップ研修(自主研修)	年1回程度	主任級事務職員	プール監視職員スキルアップ合同研修	年4回程度	プール監視職員
リーダーシップ、コーチング研修(自主研修)	年2回程度	主査級事務職員	運動指導担当職員スキルアップ合同研修	年2回程度	運動指導担当職員
接遇研修(職場(事業課)研修)	年1回程度	スポーツ事業課在籍職員	事業担当スキルアップ合同研修	年1回程度	プール・運動指導担当職員
藤沢市一般職員一部研修(外部研修)	年3日程度	採用3年目事務職員	衛生管理全体研修(自主研修)	年1回程度	全職員
リーダーシップ研修(自主研修)	年1回程度	上級主査級事務職員			

(2)収支予算書

①経験・実績を基にした適正で高確度な予算算定と計画的な予算執行管理

- ・市民がいつでも安全に施設を利用でき、スポーツを快適に楽しむことができる施設運営をめざすため、長年にわたる指定管理業務の経験と実績を基に、**適正で確度の高い収支予算**を算定しています。
- ・最低賃金改定による賃金上昇をはじめ、物価上昇やエネルギー価格高騰など、指定管理期間中の管理運営費の増加が見込まれますが、**過去の実績と今後の予測に基づいた無理と無駄のない予算**を算定し、可能な限りの経費節減を図ります。
- ・四半期及び半期など計画的に収支状況の把握に努め、予算が計画通りに執行されているかを確認します。また、安全性や緊急性、市民の利便性などを鑑みて、必要に応じて予算執行計画を変更し、安全で快適な利用し易い施設運営を図ります。

②施設・設備の整備、利便性向上への早期の予算措置、剰余金の還元による施設の改善・充実

- ・長年にわたる指定管理業務実績における施設や設備の点検及び修繕履歴、また利用者の意見等の情報を活用し、**指定管理期間中の前期**にその整備や利便性向上を図る予算措置を行います。これにより、早期に安全で快適に利用できる施設や設備の改善、充実を図ります。
- ・公益財団法人の財務基準（収支相償）や藤沢市の出資法人として公共サービスの担い手の役割の下、収支の適正化と無駄のない予算執行に努めた運営をめざし、これにより捻出した**剰余金の一部は施設や設備の整備などに還元**し、上述に加えた更なる改善、充実を図ります。

③財団の特定資産を活用したユニバサールスポーツゾーンの整備

市民からの寄付金を財源とした**本財団の特定資産**を活用し、秩父宮記念体育館と秋葉台公園にバタンクやボッチャ、モルックをいつでも誰でも気軽に楽しむことができる**ユニバサールスポーツゾーン**を整備し、市民が当該スポーツに親しむ機会を拡充させ、共生社会への実現に取り組みます。

④駐車場の利用時間拡大(24時間利用)による駐車場利用料金収入の増加

石名坂温水プール、秋葉台公園及び八部公園の駐車場について、**原則24時間利用に拡大**し、利用者の利便性向上を図るとともに、近隣住民をはじめ、近隣の企業・工場などの従業員といった**利用者以外の利用も促進**させ、**駐車場利用機会の拡大による収入の増加**を図ります。

II 事業計画書 4 人員体制・経費



藤沢市運動施設等指定管理 収支予算書

(単位:千円、税込)

4施設合計

1. 収入

科目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考
① 指定管理料収入	1,136,301	1,143,484	1,147,809	1,159,192	1,170,132	藤沢市からの指定管理料
② 利用料金収入	219,677	223,814	228,673	231,727	232,584	
施設利用料金収入	181,925	182,640	183,360	184,084	184,810	施設・附属設備利用料金
駐車場利用料金収入	37,752	41,174	45,313	47,643	47,774	駐車場利用料金
③ 自主事業収入	86,247	87,149	87,854	88,537	89,278	
教室・大会等事業収入	61,012	61,873	62,536	63,176	63,875	各種教室受講料、大会・イベント参加費
健康ライオン推進事業収入	3,198	3,198	3,198	3,198	3,198	トレーニング登録講座受講料等
指導者派遣事業収入	1,479	1,479	1,479	1,479	1,479	指導者派遣料
物品販売事業収入	15,707	15,746	15,785	15,825	15,864	物品販売・自動販売機手数料
広告料収入	560	560	560	560	560	季刊誌・ホームページ等広告掲載料
その他事業収入	4,291	4,293	4,296	4,299	4,302	レンタルロッカー、レンタル用品、予約事務手数料
④ 雑収入	2,158	2,158	2,158	2,158	2,158	自動販売機電気料実費分等
⑤ 財団特定資産取崩収入	0	0	1,000	0	0	エコパ・カスプ・ツツノ整備費用に充当
合計	1,444,383	1,456,605	1,467,494	1,481,614	1,494,152	

2. 支出

科目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考
① 施設管理運営費支出	1,094,470	1,102,511	1,113,911	1,123,575	1,135,263	
人件費支出	327,945	331,444	335,944	343,361	349,978	
常勤職員	141,262	139,743	140,640	143,774	145,627	給料他諸手当、法定福利費
非常勤・臨時職員	186,683	191,701	195,304	199,587	204,351	報酬・賃金、通勤手当、法定福利費
事務・消耗品費支出	14,807	14,089	12,843	12,857	12,871	通信費、消耗品・材料費、印刷費等
リース料・使用料支出	24,380	24,381	24,379	24,379	24,380	各種機器リース料、システム使用料等
保険料支出	1,837	1,816	1,837	1,816	1,837	施設賠償責任保険料、自動車保険料等
修繕費支出	43,550	38,295	30,260	32,575	29,575	施設・機器等修繕費
維持管理費支出	631,134	637,253	647,340	645,010	651,978	光熱水料費、施設管理業務委託費等
駐車場管理運営費支出	43,075	46,589	50,820	53,244	53,468	管理運営業務委託費、修繕費等
エコパ・カスプ・ツツノ整備支出	0	0	1,000	0	0	財団特定資産取崩収入を充当
その他管理運営費支出	7,742	8,644	9,488	10,333	11,176	職員研修費、振込・決済手数料等
② 自主事業費支出	255,794	259,790	258,897	262,988	266,525	
人件費支出	223,130	226,638	226,229	229,832	233,851	
常勤職員	162,221	164,642	163,110	165,503	168,276	給料他諸手当、法定福利費
非常勤・臨時職員	60,909	61,996	63,119	64,329	65,575	報酬・賃金、通勤手当、法定福利費
事務・消耗品費支出	5,582	5,887	5,586	5,891	5,592	通信費、事務消耗品、印刷費等
保険料支出	5,632	5,626	5,632	5,626	5,632	事業参加者等傷害保険料
諸謝金支出	17,613	17,613	17,613	17,613	17,613	教室講師・事業協力者謝礼等
委託費支出	520	775	520	775	520	事業委託費、HP保守管理委託費
その他事業費支出	3,317	3,251	3,317	3,251	3,317	職員旅費、事業協力者昼食代等
③ 租税公課支出	51,928	51,918	51,928	51,918	48,891	納付消費税・印紙税・自動車税等
④ 本部経費支出	42,191	42,386	42,758	43,133	43,473	給与労務、経理、契約他諸経費等
合計	1,444,383	1,456,605	1,467,494	1,481,614	1,494,152	

II 事業計画書 4 人員体制・経費



藤沢市運動施設等指定管理 収支予算書

(単位:千円、税込)

秩父宮記念体育館

1. 収入

科目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考
① 指定管理料収入	267,295	270,881	268,760	269,763	269,792	藤沢市からの指定管理料
② 利用料金収入	38,952	39,148	39,344	39,542	39,740	
施設利用料収入	38,952	39,148	39,344	39,542	39,740	施設・附属設備利用料金
③ 自主事業収入	17,753	17,811	17,869	17,928	17,987	
教室・大会等事業収入	12,081	12,139	12,197	12,256	12,315	各種教室受講料、大会・イベント参加費
健康マイン推進事業収入	434	434	434	434	434	トレーニング登録講座受講料等
指導者派遣事業収入	1,479	1,479	1,479	1,479	1,479	指導者派遣料
広告料収入	560	560	560	560	560	季刊誌「ホムアージュ」等広告掲載料
物品販売事業収入	2,176	2,176	2,176	2,176	2,176	物品販売・自動販売機手数料
その他事業収入	1,023	1,023	1,023	1,023	1,023	レンタルカー、レンタル用品、予約事務手数料
④ 雑収入	508	508	508	508	508	自動販売機電気実費分等
合計	324,508	328,348	326,481	327,741	328,027	

2. 支出

科目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考
① 施設管理運営費支出	166,566	168,416	166,795	166,026	165,554	
人件費支出	32,981	33,551	34,014	34,458	34,876	
常勤職員	25,727	26,050	26,328	26,584	26,811	給料他諸手当、法定福利費
非常勤・臨時職員	7,254	7,501	7,686	7,874	8,065	報酬・賃金、通勤手当、法定福利費
事務・消耗品費支出	4,264	4,114	3,764	3,764	3,764	通信費、消耗品・材料費、印刷費等
リース料・使用料支出	7,352	7,352	7,351	7,351	7,352	各種機器リース料、システム使用料等
保険料支出	446	446	446	446	446	施設賠償責任保険料、自動車保険料等
修繕費支出	10,874	10,605	7,929	7,014	7,014	施設・機器等修繕費
維持管理費支出	109,087	110,786	111,729	111,431	110,540	光熱水料費、施設管理業務委託費等
その他管理運営費支出	1,562	1,562	1,562	1,562	1,562	職員研修費、振込・決済手数料等
② 自主事業費支出	103,505	105,299	104,682	106,335	107,254	
人件費支出	88,641	89,860	89,818	90,896	92,390	
常勤職員	67,944	68,744	68,309	68,989	70,086	給料他諸手当、法定福利費
非常勤・臨時職員	20,697	21,116	21,509	21,907	22,304	報酬・賃金、通勤手当、法定福利費
事務・消耗品費支出	2,766	3,068	2,766	3,068	2,766	通信費、事務消耗品、印刷費等
保険料支出	1,597	1,611	1,597	1,611	1,597	事業参加者等傷害保険料
諸謝金支出	9,071	9,071	9,071	9,071	9,071	教室講師・事業協力者謝礼等
委託費支出	520	775	520	775	520	事業委託費、HP保守管理委託費
その他事業費支出	910	914	910	914	910	職員旅費、事業協力者昼食代等
③ 租税公課支出	12,246	12,247	12,246	12,247	11,746	納付消費税・印紙税・自動車税等
④ 本部経費支出	42,191	42,386	42,758	43,133	43,473	給与労務、経理、契約他諸経費等
合計	324,508	328,348	326,481	327,741	328,027	

II 事業計画書 4 人員体制・経費



藤沢市運動施設等指定管理 収支予算書

(単位:千円、税込)

石名坂温水プール

1. 収入

科目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考
① 指定管理料収入	165,169	165,159	170,829	175,200	175,195	藤沢市からの指定管理料
② 利用料金収入	13,745	14,722	14,786	14,855	14,915	
施設利用料収入	11,979	12,039	12,099	12,159	12,220	施設利用料金
駐車場利用料収入	1,766	2,683	2,687	2,696	2,695	駐車場利用料金
③ 自主事業収入	14,539	14,664	14,790	14,917	15,046	
教室・大会等事業収入	12,698	12,823	12,949	13,076	13,205	各種教室受講料、大会・イベント参加費
物品販売事業収入	1,615	1,615	1,615	1,615	1,615	物品販売・自動販売機手数料
その他事業収入	226	226	226	226	226	レタロッカー、レタロ用品、予約事務手数料
④ 雑収入	400	400	400	400	400	自動販売機電気料実費分等
合計	193,853	194,945	200,805	205,372	205,556	

2. 支出

科目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考
① 施設管理運営費支出	159,865	160,574	166,065	170,226	170,063	
人件費支出	67,865	69,339	70,543	71,877	73,131	
常勤職員	27,523	27,903	28,265	28,584	28,883	給料他諸手当、法定福利費
非常勤・臨時職員	40,342	41,436	42,278	43,293	44,248	報酬・賃金、通勤手当、法定福利費
事務・消耗品費支出	1,756	1,756	1,756	1,756	1,756	通信費、消耗品・材料費、印刷費等
リース料・使用料支出	2,994	2,994	2,994	2,994	2,994	各種機器リース料、システム使用料等
保険料支出	441	420	441	420	441	施設賠償責任保険料、自動車保険料等
修繕費支出	9,889	6,889	6,889	9,889	6,889	施設・機器等修繕費
維持管理費支出	71,448	72,578	76,687	76,373	77,784	光熱水料費、施設管理業務委託費等
駐車場管理運営費支出	4,377	5,298	5,307	5,321	5,325	管理運営業務委託費、修繕費等
その他管理運営費支出	1,095	1,300	1,448	1,596	1,743	職員研修費、振込・決済手数料等
② 自主事業費支出	24,832	25,215	25,584	25,990	26,337	
人件費支出	21,397	21,780	22,149	22,555	22,902	
常勤職員	19,883	20,229	20,560	20,928	21,238	給料他諸手当、法定福利費
非常勤・臨時職員	1,514	1,551	1,589	1,627	1,664	報酬・賃金、通勤手当、法定福利費
事務・消耗品費支出	270	270	270	270	270	通信費、事務消耗品、印刷費等
保険料支出	830	830	830	830	830	事業参加者等傷害保険料
諸謝金支出	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	教室講師・事業協力者謝礼等
その他事業費支出	635	635	635	635	635	職員旅費、事業協力者昼食代等
③ 租税公課支出	9,156	9,156	9,156	9,156	9,156	納付消費税・印紙税・自動車税等
合計	193,853	194,945	200,805	205,372	205,556	

II 事業計画書 4 人員体制・経費



藤沢市運動施設等指定管理 収支予算書

(単位:千円、税込)

秋葉台公園

1. 収入

科目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考
① 指定管理料収入	405,796	406,880	403,546	405,989	408,228	藤沢市からの指定管理料
② 利用料金収入	92,975	95,318	98,753	100,778	101,211	
施設利用料金収入	66,659	66,992	67,327	67,664	68,001	施設・附属設備利用料金
駐車場利用料金収入	26,316	28,326	31,426	33,114	33,210	駐車場利用料金
③ 自主事業収入	25,508	25,583	25,659	25,735	25,812	
教室・大会等事業収入	16,566	16,641	16,717	16,793	16,870	各種教室受講料、大会・イベント参加費
健康マイ推進事業収入	405	405	405	405	405	トレーニング登録講座受講料等
物品販売事業収入	6,963	6,963	6,963	6,963	6,963	物品販売・自動販売機手数料
その他事業収入	1,574	1,574	1,574	1,574	1,574	レンタルロッカー、レンタル用品、予約事務手数料
④ 雑収入	770	770	770	770	770	自動販売機電気料実費分等
⑤ 財団特定資産取崩収入	0	0	1,000	0	0	エニバ・カルスポ・ツツノ整備費用に充当
合計	525,049	528,551	529,728	533,272	536,021	

2. 支出

科目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考
① 施設管理運営費支出	440,492	442,853	442,303	444,690	446,954	
人件費支出	112,424	111,516	112,626	116,234	118,939	
常勤職員	43,954	41,255	40,854	43,000	44,001	給料他諸手当、法定福利費
非常勤・臨時職員	68,470	70,261	71,772	73,234	74,938	報酬・賃金、通勤手当、法定福利費
事務・消耗品費支出	5,380	4,798	3,888	3,888	3,888	通信費、消耗品・材料費、印刷費等
リース料・使用料支出	7,613	7,614	7,613	7,613	7,613	各種機器リース料、システム使用料等
保険料支出	660	660	660	660	660	施設賠償責任保険料、自動車保険料等
修繕費支出	15,122	13,913	9,392	9,622	9,622	施設・機器等修繕費
維持管理費支出	265,229	268,267	267,927	265,776	265,226	光熱水料費、施設管理業務委託費等
駐車場管理運営費支出	31,109	33,130	36,242	37,942	38,051	管理運営業務委託費、修繕費等
エニバ・カルスポ・ツツノ整備支出	0	0	1,000	0	0	財団特定資産取崩収入を充当
その他管理運営費支出	2,955	2,955	2,955	2,955	2,955	職員研修費、振込・決済手数料等
② 自主事業費支出	68,831	69,983	71,699	72,867	74,067	
人件費支出	58,054	59,296	60,922	62,180	63,290	
常勤職員	39,598	40,380	41,543	42,435	43,146	給料他諸手当、法定福利費
非常勤・臨時職員	18,456	18,916	19,379	19,745	20,144	報酬・賃金、通勤手当、法定福利費
事務・消耗品費支出	1,976	1,976	1,976	1,976	1,976	通信費、事務消耗品、印刷費等
保険料支出	1,582	1,562	1,582	1,562	1,582	事業参加者等傷害保険料
諸謝金支出	6,078	6,078	6,078	6,078	6,078	教室講師・事業協力者謝礼等
その他事業費支出	1,141	1,071	1,141	1,071	1,141	職員旅費、事業協力者昼食代等
③ 租税公課支出	15,726	15,715	15,726	15,715	15,000	納付消費税・印紙税・自動車税等
合計	525,049	528,551	529,728	533,272	536,021	

II 事業計画書 4 人員体制・経費



藤沢市運動施設等指定管理 収支予算書

(単位:千円、税込)

八部公園

1. 収入

科目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考
① 指定管理料収入	298,041	300,564	304,674	308,240	316,917	藤沢市からの指定管理料
② 利用料金収入	74,005	74,626	75,790	76,552	76,718	
施設利用料収入	64,335	64,461	64,590	64,719	64,849	施設・附属設備利用料金
駐車場利用料収入	9,670	10,165	11,200	11,833	11,869	駐車場利用料金
③ 自主事業収入	28,447	29,091	29,536	29,957	30,433	
教室・大会等事業収入	19,667	20,270	20,673	21,051	21,485	各種教室受講料、大会・イベント参加費
健康フェア推進事業収入	2,359	2,359	2,359	2,359	2,359	トレーニング登録講座受講料等
物品販売事業収入	4,953	4,992	5,031	5,071	5,110	物品販売・自動販売機手数料
その他事業収入	1,468	1,470	1,473	1,476	1,479	レンタルロッカー、レンタル用品、予約事務手数料
④ 雑収入	480	480	480	480	480	自動販売機電気料実費分等
合計	400,973	404,761	410,480	415,229	424,548	

2. 支出

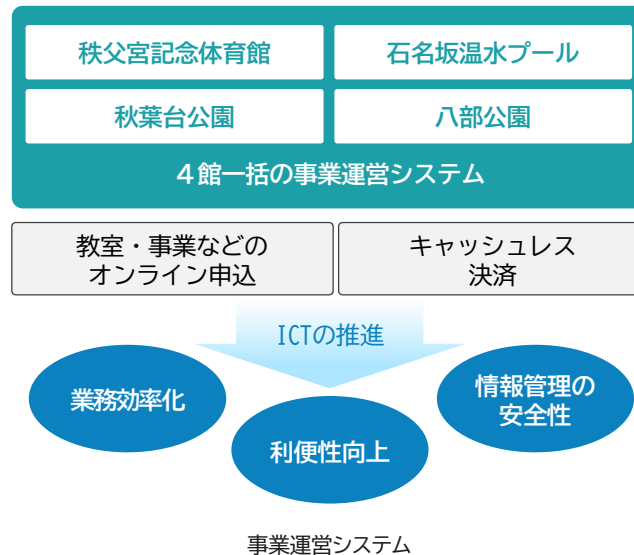
科目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考
① 施設管理運営費支出	327,547	330,668	338,748	342,633	352,692	
人件費支出	114,675	117,038	118,761	120,792	123,032	
常勤職員	44,058	44,535	45,193	45,606	45,932	給料他諸手当、法定福利費
非常勤・臨時職員	70,617	72,503	73,568	75,186	77,100	報酬・賃金、通勤手当、法定福利費
事務・消耗品費支出	3,407	3,421	3,435	3,449	3,463	通信費、消耗品・材料費、印刷費等
リース料・使用料支出	6,421	6,421	6,421	6,421	6,421	各種機器リース料、システム使用料等
保険料支出	290	290	290	290	290	施設賠償責任保険料、自動車保険料等
修繕費支出	7,665	6,888	6,050	6,050	6,050	施設・機器等修繕費
維持管理費支出	185,370	185,622	190,997	191,430	198,428	光熱水料費、施設管理業務委託費等
駐車場管理運営費支出	7,589	8,161	9,271	9,981	10,092	管理運営業務委託費、修繕費等
その他管理運営費支出	2,130	2,827	3,523	4,220	4,916	職員研修費、振込・決済手数料等
② 自主事業費支出	58,626	59,293	56,932	57,796	58,867	
人件費支出	55,038	55,702	53,340	54,201	55,269	
常勤職員	34,796	35,289	32,698	33,151	33,806	給料他諸手当、法定福利費
非常勤・臨時職員	20,242	20,413	20,642	21,050	21,463	報酬・賃金、通勤手当、法定福利費
事務・消耗品費支出	570	573	574	577	580	通信費、事務消耗品、印刷費等
保険料支出	1,623	1,623	1,623	1,623	1,623	事業参加者等傷害保険料
諸謝金支出	764	764	764	764	764	教室講師・事業協力者謝礼等
その他事業費支出	631	631	631	631	631	職員旅費、事業協力者昼食代等
③ 租税公課支出	14,800	14,800	14,800	14,800	12,989	納付消費税・印紙税・自動車税等
合計	400,973	404,761	410,480	415,229	424,548	



(3) 効率的な運営

① ICTの推進

4館一括の事業運営システム（教室・事業などのオンライン申込・決済）を導入することにより、利用者の利便性向上、個人情報管理の安全性確保に加え、申込受付や現金収納管理に係る業務を縮減し、その効率化を図ります。



② エネルギー・施設管理の取組

- ・ SDGsの目標7にある「すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する」の観点から、これまで指定管理者として取り組んできた節電・節水を継続して実施します。
- ・ 職員の創意工夫により、環境に配慮したECO活動に積極的に取り組みます。
- ・ これまでの節水コマの設置や照明設備の自動消灯システム（人感センサー）導入に加え、今後は施設照明のLED化を進め、エネルギー消費の削減に努めます。
- ・ 小規模の修繕については、業者に頼ることなく**職員自らで対応することにより経費の縮減**を図ります。
- ・ 機械警備委託や植栽業務委託などについては、**4施設一括や長期継続契約**を進め、また年間を通じて相当数の発注数が想定される物品については、**単価契約を締結**することで経費の節減を図ります。



全トイレに自動消灯システム導入（人感センサー）



職員による小規模修繕
駐車場修繕【八部公園】



市の施策を理解し、藤沢らしさを大切にしまちづくりに貢献します。

- 幅広い分野で藤沢市の計画を理解した取組を実施しています。
- SDGs 17の目標へ向けた取組を施設運営に反映しています。
- DXを推進し、利便性の向上と業務の効率化を図ります。

(1)情報の管理体制

①情報の管理体制

- ・ 職員を対象にした情報セキュリティ研修を実施し、情報管理の意識と行動を徹底するとともに、情報のデジタル化やシステム管理を進め、物理的対策により情報漏洩や紛失などを防止し、適切な情報管理を図ります。
- ・ 業務上の文書については、「藤沢市公文書等の管理に関する条例」に基づき、適正に作成、管理し、文書保存にあたっては藤沢市で運用する「ファイリングシステム」に準拠し、適切に保存します。



徹底した個人情報の管理

②情報公開

情報公開については、「藤沢市情報公開条例」や本財団「情報公開規程」を遵守し、保有する情報は公開を原則とし、非公開とする情報は適切かつ必要最小限にとどめ、情報公開請求の諾否決定などについては、これらの規定に基づき、適正に取扱います。

③個人情報保護

- ・ 個人情報管理者を配置し、適正かつ厳格に個人情報を取り扱い、紛失や改ざん、漏えいなどを防止します。
- ・ 業務上の文書やマイナンバーなどは適正に管理し、退職した職員に対しても守秘義務を課します。
- ・ 責任の所在を明確にし、組織としての体制を強化するため、全職員を対象とした研修（年1回以上）を実施します。
- ・ 事業運営システムを運用するにあたり、個人情報保護の内容などに対して藤沢市個人情報保護制度運営審議会の承認を得ており、今後も安全なシステムの管理運営に努めます。
- ・ 万が一の漏えいの際には「個人情報取扱事業者保険」により対応し、賠償責任や各種対応費用に備えます。



個人情報に関する研修を実施

④情報セキュリティ対策

- ・ PCアクセスはログオンパスワードを用い、個人情報を含むデータについてもパスワードを設定します。また、パスワードについては、各施設長が適切に管理します。
- ・ USBなどの記録媒体については使用制限をかけ、保存場所についても施錠管理を確実にを行います。
- ・ 事業などにおいて収集した個人情報書類を持ち運ぶ際には、管理者へ報告するとともに、屋外などで使用する際には、施錠できるカバンなどに保管します。

⑤防犯カメラ

- ・ 防犯カメラの映像の取扱いについては、これまでに藤沢市個人情報保護制度運営審議会上に諮問し、承認を得ています。引き続き、収集した個人情報については、第三者への提供など、法令に基づき適切に対応します。
- ・ 防犯カメラについては、死角が生じている箇所もあることから、職員巡回でこれを補うとともに、機材などの更新について、藤沢市と協議します。



防犯カメラ



(2)SDGsへの理解及び緑の基本計画や環境への配慮

①SDGsへの理解と取組

- 本財団は、2022年10月に藤沢市の施策である**ふじさわSDGs共創パートナー制度に登録**し、SDGsの推進と浸透を図り、「藤沢らしさ」を未来に引き継ぐことに貢献しています。



・ **ふじさわSDGs共創パートナーの具体的な取組内容**

笑顔あふれるみらいを応援します。

地域団体・関連団体や市民ボランティアとともに、こどもから高齢者、障がいのある方など誰もがスポーツを楽しむことのできる機会を提供します。また、事業参加費について、就学援助世帯の参加者への減額を行います。

全ての職員が安全安心に働くことのできる職場をつくります。

職員の健康づくりやメンタルヘルスについて、組織全体の労働安全衛生委員会において取組を推進します。

資源の節約など、地球環境に配慮した取組を進めます。

トイレの照明は人感センサーによる点灯・消灯、更衣室のシャワーに節水装置を設置するなどエネルギーの節減を図ります。

※電力については、再生可能エネルギー由来の電力を使用する事業者と契約します。

・ **管理運営において、SDGs17の目標に配慮して取り組みます。**

スポーツ事業については、特に「ふじさわSDGs共創パートナー」、「藤沢市市政運営の総合指針2024の長期的視点（基本目標2文化・スポーツを盛んにする）」「藤沢市スポーツ推進計画2029」に関連性のある目標にコミットした事業展開に努めます。



近隣小学校の校外水泳授業



誰でも参加できる「スポーツチャレンジフェスティバル」



夏休みのこども居場所事業「サマースクール」

②藤沢市緑の基本計画への理解と取組

- 「藤沢市緑の基本計画」の基本理念に配慮した業務を遂行します。また、公園の遊具点検を実施するなど緑の実施計画における都市公園での取組をはじめ、**ふじロードの充実**や施設緑化による環境への負荷軽減など積極的な取組を進めます。
- 植栽の専門アドバイザーが立ち合い、**見た目も美しい樹木**の適切な維持管理で「緑の質の維持向上」に努めます。
- グリーンカーテンの設置**など緑の特性を生かした施設づくりを行います。



グリーンカーテン

③環境への配慮

- 環境省の「ゼロカーボンアクション30」や「デコ活アクション」の取組として、各施設で**節水装置の導入**をはじめ、環境に配慮した施設管理を実施しています。
- 照明の間引きや段階的なLED化、クールビズ・ウォームビズを導入することにより**電力の削減**に努めます。
- 週に1度クリーンアップデーを設定し、**施設周辺の清掃活動**を行います。事業などを通じて市民への**エコ活動（ビーチクリーンなど）**の普及を推進します。



施設周辺清掃



(3)障がい者への配慮及び人権施策への理解

①障がい者への配慮

▶ア 障害者差別解消法及び藤沢市の対応要領の理解

- ・「障害者差別解消法」等に基づき、障がいがあることを理由にした「**不当な差別的取扱い**」を禁止し、障がい者が感じる**物理的・心理的な障壁について、合理的配慮**を行います。そして、障がいの「ある」「なし」にかかわらず、誰もがお互いを理解し合い、「共生社会」の実現を図っていきます。全職員に「合理的配慮は義務」であることを徹底します。



多様な利用者に合わせた
笑顔の接遇

▶イ 具体的な合理的配慮（社会的障壁の除去）

- ・駐車スペースは、継続して設置するとともに、歩行に困難がある方などには、ご要望に応じ、**職員が介助します**。
- ・聴覚障がいの方などが、窓口で受付や申込が必要な場合には、**筆談機器の活用や代筆**を行い、親切丁寧に手続きを補助します。また、連絡などのやり取りが必要な場合には、電子メールやFAXを用いて対応します。
- ・車椅子の方の目線を意識した位置に案内を掲示し、パンフレットを配架します。
- ・そのほか、社会的障壁の除去を必要としている意思表示があった場合には、**実施に伴う負担が過重とならない範囲で全て対応**いたします。負担が大きく、対応が困難な場合には、その理由を丁寧に分かりやすく説明します。



駐車場スペース

▶ウ インクルーシブ藤沢の観点による事業

- ・「誰ひとり取り残さないまち」の観点から、国籍、年齢、性別、障がいの有無にかかわらず誰でも参加できるスポーツを積極的に展開します。
- ・秩父宮記念体育館と秋葉台公園に**ユニバーサルスポーツゾーン**を整備し、「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」スポーツに触れることができる環境を整備します。
- ・車いすでも利用しやすいテーブルなど**インクルーシブ施設**としての整備に取り組みます。



ポッチャ

▶エ 平等利用の取組

- ・障がい者だけでなく、バリアフリー型自動販売機、授乳室の設置、多目的トイレの設置、翻訳機や筆談器による接客、バリアフリーマップ・外国語によるインフォメーションの案内、ユニバーサルデザインの取組などは、今後も持続発展的に努めていきます。
- ・「JOBチャレふじさわ」の活用やお弁当などの発注を障がい者福祉施設に依頼するなど他団体との「つながり」を強化していきます。



夏期売店の営業
(肢体・聴覚障がい者団体協力)

②人権施策の推進

- ・藤沢市の指針の基本理念である「人権を大切にし『人権文化』をはぐくむ施設運営」
- ・施設のバリアフリー化を図り、施設内に授乳室を設置するなど、こどもから高齢者まで、そして、障がいの有無にかかわらず誰もが利用しやすい優しい施設づくりを推進します。また、疾病や疾患について正しい知識を持つことや、ホームレスと思われる方などにも差別や偏見のない態度で接することで、ともに支えあい、ともに生きる社会の構築に寄与します。
- ・「ユースサポート・ユースワークふじさわ」と連携し、ニート・ひきこもりなど、社会生活に悩みを抱える若者に**事業を通じた社会体験の機会**を提供し、自立や就労に向けた支援を行います。



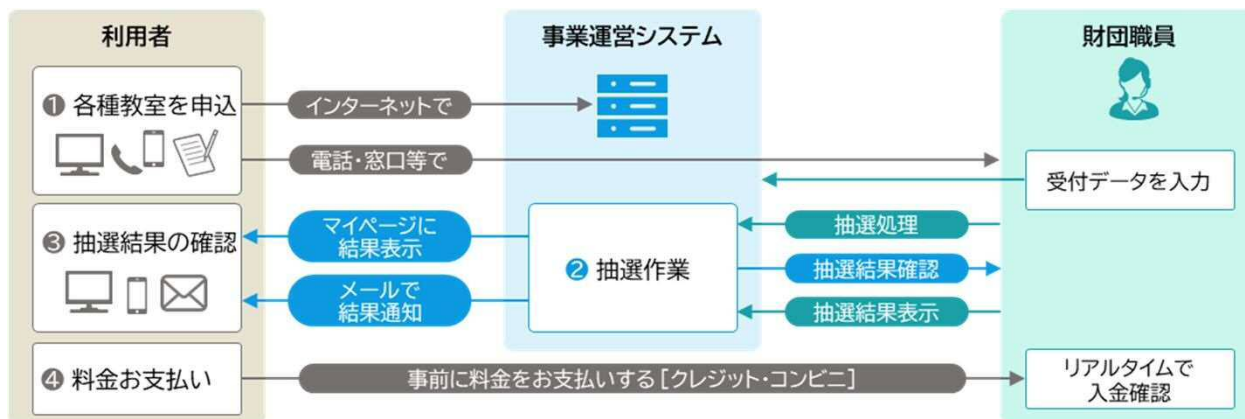
藤沢市人権施策推進指針改定版



(4)DXの推進

①事業運営システムによるオンライン申込・決済

- ・インターネットを活用した「事業の24時間申込からオンライン決済による支払いまで」が可能となる「**事業運営システム**」を継続して運用し、利用者の利便性向上に努めています。
- ・本財団主催の全事業（青少年事業、芸術文化事業の一部）を一括して申込できるシステムを構築しており、市民に**多種多様な教室事業の参加機会**を提供しています。
- ・定員を超える応募多数時は、「抽選システム」を使用し、公平・公正に抽選しています。
- ・気象状況などにより、急な教室中止についても、システムから一斉に「お知らせメール」を送信し、参加者が混乱することがないように円滑な運営に努めています。



②スポーツ施設予約手続きオンライン化への対応

- ・スポーツ施設予約手続きのオンライン化は、24時間365日「いつでも」「どこでも」「待たずに」に予約から支払いまでが可能となり、利用者の利便性向上につながります。
- ・新システムの運用にあたっては、経験豊富な職員が利用者へ適切に案内を行うほか、運用上の課題や対策について、藤沢市へ提案します。

③キャッシュレス決済の導入

- ・自動券売機のキャッシュレス決済については、藤沢市担当課と密に連携して円滑に運用し、不具合や改善点なども適切に情報共有します。
- ・駐車場精算機や飲料水の自動販売機についても、キャッシュレス決済を導入することで、施設全体としてDX計画の推進に努め、利用者の利便性向上を図ります。



(5)暴力団排除への対応

安全・安心な施設運営

- ・「藤沢市暴力団排除条例」を遵守し、各機関と連携し「暴力団を恐れず・協力せず・利用せず」といった暴力団排除の推進に積極的に取り組みます。
- ・組織体制、防止措置、対処方法等についての必要な事項を定めた「不当行為等対応マニュアル」に基づき、適正に対応します。
- ・「暴力団排除に関する規程」や「不当行為等の対策に関する要綱」における基本理念に基づき、組織で厳格に対応します。



各施設に不当要求責任者を配置



これまでに築いてきた地域との絆をもとに、市民のスポーツ活動を推進します。

- 地域住民・団体と連携し、地域とのコミュニケーションを大切に施設運営を行っています。
- これまでの取組により、藤沢市スポーツ推進計画の中で多くの効果・実績をあげています。
- スポーツと医療の連携、各世代に応じた教室事業などを通じて藤沢市スポーツ推進計画を実行します。

(1)地域住民との協働・連携

①協働・連携の実績を生かした地域の活動の支援

▶ ア 施設運営委員会や施設運営協力会の開催

- ・ 地域住民から構成される**施設運営委員会**を開催し、地域に密着した施設運営を行います。地域との意見交換の機会を生かすことで、地域と施設双方の様々な課題に対して効果的な事業の企画・実施が可能になります。

【秩父宮・八部 施設運営委員会】

運営委員の構成	鶴沼石上町内会、堀川郷友会、鶴沼地区交通安全母の会、鶴沼地区防犯協会、鶴南小学校、地域協力者
---------	--



施設運営委員会

- ・ 警察や小中学校などと協力し、施設を中心とした安全な地域づくりのために**施設運営協力会**を開催します。

【秋葉台 施設運営協力会】

運営委員の構成	藤沢北警察署、秋葉台小学校、秋葉台中学校
---------	----------------------



小・中学生の利用が多い多目的広場(秋葉台公園)

- ・ 地域の様々な情報を共有し、不特定多数の方が利用する施設での問題や課題に対処することで、利用者や地域住民の安心につなげます。



課題:スケートボード広場の防犯対策(秋葉台公園)

▶ イ 地域団体との協働事業を実施

- ・ **総合型地域スポーツクラブの活動場所として施設を提供**し、協働で事業を実施します。当該スポーツクラブの運営に協力することで、地域スポーツの推進を図ります。
- ・ **地域住民のサークル活動の支援**として、みらい子どもフェスタなどのイベントに出演いただき、日ごろの活動場所だけではなく、広く活動を普及するための機会を提供することで、地域コミュニティの活性化を図ります。
- ・ **中学校部活動の地域移行について地域団体と協働**し、ニーズに合わせた指導者を確保します。適切な指導が受けられる環境を整えることで運動部活動への参加選択の機会を提供します。

【主な協働・連携先】

地域団体活動 市民サークル活動 学校部活動 など	善行大越スポーツクラブ、H&Bフラオール、清老会、相州神童太鼓、草月流華道クラブ、藤沢AC など
--------------------------------	--



善行大越スポーツクラブ
(スポーツ吹き矢教室)



相州神童太鼓
(みらい子どもフェスタ)



II 事業計画書 6 特記項目

▶ ウ 地域の防災・防犯活動の支援

- ・台風などの災害時には、避難場所として地域住民や車両の避難を受け入れます。また、消防や警察の訓練場所としてプールや駐車場を提供し、安心して暮らせる地域づくりに貢献します。
- ・藤沢市の防災拠点施設として地域の防災意識を高めるために、**地域住民と協働した防災訓練**などを実施していきます。地域の課題や要望などを確認することで、災害時への備えを充実させます。

【主な協働・連携先】

防災・防犯訓練 地域避難施設 など	藤沢市消防局、藤沢警察署、藤沢北警察署、地域消防団、自治会、町内会 など
----------------------	--------------------------------------



藤沢市消防局の水難訓練



郵便局の安全運転講習会
(秋葉台公園 駐車場)

▶ エ 指導者の派遣

公民館、包括支援センター、藤沢駅周辺エリアマネジメントなど、地域の様々な活動に**経験豊富な指導員を派遣**します。市内全域へ指導者を派遣することで、スポーツを通じた活力ある地域づくりをサポートします。

【主な協働・連携先】

運動指導 イベント協力 専門講習 など	小学校、公民館、包括支援センター、藤沢市スポーツ推進委員協議会、藤沢駅周辺エリアマネジメント、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス、日本体育大学 など
---------------------------	--



小学校での救命講習

▶ オ 地域感謝祭の開催

スポーツに限らず誰もが楽しめるイベントを実施します。**地域の施設**としてより多くの地域住民の方々に親しんでいただくことで、施設の利用価値を高めながら賑わいのある施設を提供します。

【主な協働・連携先】

イベント運営	市民ボランティア、ふじさわ野菜をつくる仲間たち、おやじの会、神奈川ワークショップ、藤沢市肢体障害者協会 など
--------	--



アキバ☆マルシェ&元気まつり

▶ カ 地域の子どもたちの声を大切に

- ・将来の地域の主役を担う子どもや若者の声を大切にすることで、藤沢市の「こどもまんなか」への取組を推進し、**地域の遊び場や運動の場**として施設の役割を果たしていきます。
- ・みらい子どもフェスタなどのイベントの機会にアンケートを実施し、子どもや若者から様々な声をいただきながら、**地域の子どもたちにとって魅力ある施設運営**に努め、地域とともに子どもたちの健やかな成長を応援します。



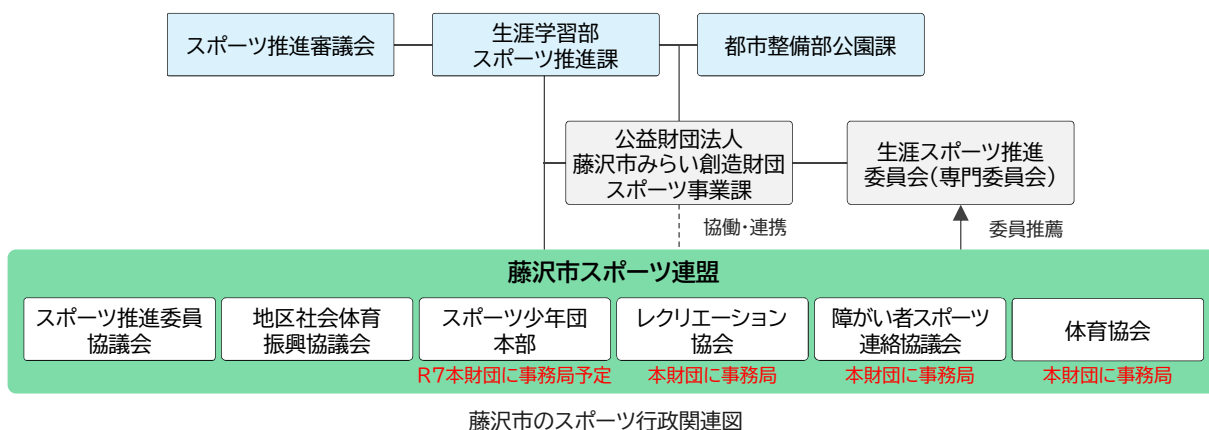
イベントを楽しむ子どもたち



(2)関係団体との協働・連携

①市内スポーツ関係団体との協働・連携への取組

- ・これまでの指定管理期間において、藤沢市スポーツ連盟加盟団体をはじめとするスポーツ関係団体との強い信頼関係を構築するとともに、様々な事業に協働・連携して取り組んでいます。
- ・各指定管理施設においては、運動を始めるきっかけづくりとなる各種スポーツ教室を中心に計画する中で、さらにステップアップをめざす方々には、各種目団体主催の技術レベル向上を目的とした教室を紹介するなど、継続したスポーツ活動を支援します。
- ・藤沢市体育協会、藤沢市レクリエーション協会、藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会の**事務局運営を担う**とともに、令和7年度からは藤沢市スポーツ少年団本部の事務局運営も受託する予定です。この事務局運営により、**本財団と団体間の連携を強化**し、さらに事務局である本財団を調整機関として**団体間の連携**も推進し、**オール藤沢で市民のスポーツ活動を支援**します。
- ・これらスポーツ関係団体との信頼関係と協働・連携により、スポーツの持つ多面的な力（健康の維持増進、体力向上の機能のみならず、心身のリフレッシュや仲間との連帯感、世代を超えた交流・コミュニケーションの促進など）を効率よく発揮し、市民の生涯スポーツの推進を図ります。



②市出資法人、大学、民間企業、その他団体との協働・連携

▶ア 藤沢市保健医療財団との連携

- ・本財団と藤沢市保健医療財団は、「協働事業における財団間の協力に関する覚書」を取り交わし、協働・連携して、より安全で効果的なスポーツライフの推進に努めています。
- ・藤沢市保健医療財団との連携により、厚生労働省の認定する**運動型健康増進施設や指定運動療法施設としての指定**を受け、医師の指導に基づく市民の継続した運動を支援します。
- ・職員の資質向上を目的に、藤沢市保健医療財団及び慶應義塾大学との3者連携による研修会などを開催し、運動指導に関わる専門知識を高め、市民の多様なニーズに応えられるよう取り組みます。



3者連携による合同研修会の様子

▶イ 大学や研究機関との連携

- ・大学などの研究機関は、調査研究のためのデータを収集するフィールドを確保することに苦慮しています。本財団では、**慶應義塾大学**スポーツ医学研究センター・大学院健康マネジメント研究科と「**身体活動・運動の促進に係る事業への協力に関する協定書**」を締結し、新たに運動を始める方へのリスク調査やスクリーニングについて、調査協力しています。
- ・県内にキャンパスを有するスポーツ分野専門の大学である**日本体育大学**と「**包括連携協定**」を締結し、学生へ指導実践の場を提供する一方、本財団職員が大学主催の講座を受講するなど、相互に運動指導のスキルアップを図ることのできる環境を整えています。
- ・これらの連携を生かし、市民に**最新のエビデンス**に沿った、より**安全で効果的な運動機会**を提供し、健康寿命の延伸と健康格差の縮小に向けて寄与します。



包括連携協定調印式の様子



II 事業計画書 6 特記項目

▶ウ 民間企業やその他団体との協働・連携

- ・本財団は、スポーツ関係団体にとどまらず、非営利法人や民間企業の皆様とも様々な事業において協働・連携しています。
- ・藤沢市医師会の協力により、本財団季刊誌「Fujisawa MIRAI.net」のコンテンツとして、医学的見地にに基づく安全なスポーツ活動に関する記事を「ドクターズボイス」として連載し、市民向けにわかりやすく解説しています。
- ・少年期に起こしやすいスポーツ障害予防のための講座と簡易診断を合わせた事業を、藤沢市医師会整形外科医会と共に開催しています。
- ・市内障がい者福祉施設と協働し、ユニバーサルスポーツ(ローリングバレーボール&ボッチャ)のイベントを開催します。
- ・各施設で開催されるイベントにおいては、参加賞の提供や体験ブースとして出店協力による参加など、市内及び近隣市町の民間企業・団体に協力いただき、付加価値のある魅力的な事業として開催します。
- ・特に、地域密着をコンセプトに運営を行う湘南藤沢市民マラソンにおいては、市民ボランティアをはじめ、藤沢商工会議所、藤沢市商店会連合会、藤沢青年会議所など、多くの地域貢献団体や民間企業にも協力いただいています。
- ・今後も引き続き、様々な企業・団体との垣根を越えた協働により、スポーツを通じた公益事業を市民の皆様へ提供します。



市内企業からの協賛協力



企業による協賛ブース出店

※競技スポーツ団体との協働・連携はP55を参照。

Doctor's Voice! ドクターズボイス

今、整形外科では超音波検査（エコー）が盛んに使用されるようになってきました。それまでは、例えば足首を捻ってしまっただけで整形外科を受診すると、診察の後にレントゲン検査に行くと思います。そして、骨折がなければ「捻挫」という診断になり、サポーターを付けたり腫れや痛みが強いとギプス固定を行って治療していきます。ここでエコーが加わると、レントゲン検査で見えない靭帯やその周囲の組織が可視化されて損傷がある程度評価できます。またエコーの特徴でもある、関節を動かしながらの観察や不安定性の評価の手助けにもなります。もちろんエコーでの評価以上に触診での診察が重要な事は変わりませんが、可視化するという事で、患者さんにも分かりやすく説明することが出来るようになってきました。

かみいし 整形外科 クリニック 院長 上石貴之 先生

スポーツにおける障害でもエコーは非常に有用です。先に述べた捻挫や靭帯損傷、肉離れなどの外傷はもちろん、ジャンパーズニー（膝蓋腱炎）、アキレス腱炎などのレントゲンでは写らない靭帯・筋・腱鞘炎はエコーがとくに有用です。（MRI検査が必要な場合がありますが、検査までに時間がかることと費用もかかります）。また、エコーはレントゲン撮影装置やMRIと異なり、検査する機器が小さく持ち運び可能なポータブルタイプのもあります。これらを実際のスポーツ現場に持ち込んで、その場で補助的に使用したりすることも可能です。痛みのある部位を確認しながら、その場所にエコーを当てて評価します。何度か繰り返し評価することもできます。エコーは、今後もスポーツ障害だけでなく、様々な医療現場で使用されていくことになるでしょう。

アキレス腱

アキレス腱付着部：アキレス腱の踵骨付着部で（右占線部分）炎症が起きていることが分かる。

本財団季刊誌「Fujisawa MIRAI.net」連載「ドクターズボイス」

湘南藤沢市民マラソン

多数の企業からの協力

BACK image

協賛企業: Coca-Cola, J:COM, PRESS KOCYO, asics, phiten, 大東建託, かなしん, Shonan Fujisawa City Marathon, Terrace Mall, NSK, FILL, Mercian, ZBMST, FORLIFE, ENOSHIMAFRC, Stp, 株式会社 金澤結城, Emospa, 株式会社 STK, SHOJAN, SHONAN LABEL, Japan Creative, WITOLD, SHAN, 株式会社 藤沢市商店会連合会, 湘南アーネンクラブ

湘南藤沢市民マラソン多数の企業からの協力



(3) スポーツ推進の提案

①健康寿命日本一の推進

▶ア 医療分野との協働・連携の推進

藤沢市保健医療財団や藤沢市医師会との連携による指定運動療法施設制度の活用

- ・ 社会問題である「介護予防対策」や「生活習慣病対策」に対して、**医療分野との連携**を深めます。
- ・ 藤沢市保健医療財団との提携により、指定管理者として管理運営するスポーツ施設について「**運動型健康増進施設**」「**指定運動療法施設**」（厚生労働省）の認定を取得します。
- ・ これらのスポーツ施設において、医師の運動療法処方にもとづく運動・トレーニングの利用料金について、**医療費控除が適用できるシステム**を構築します。
- ・ 保健医療センター及びスポーツ3施設（藤沢市の南部・中部・北部）でこのシステムの適用を可能とすることで、市内全域で市民の施設利用機会の拡大を図り、市民のさらなる健康増進を推進します。

かかりつけ医師や病院から



運動をお勧めします

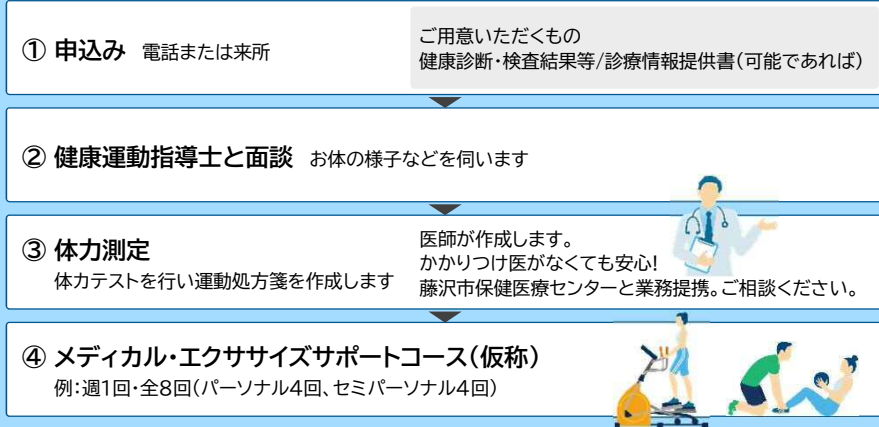
と言われたら

藤沢市トレーニングルームの「**メディカル・エクササイズサポート**（仮称）」をご利用ください
運動処方箋をもとに健康運動指導士等があなたの運動を個別にサポートします！



指定運動療法施設制度の流れ

週1回以上の頻度で8週間以上行くと、運動実施にかかる費用が医療費控除の対象になります



指定運動療法施設制度の流れ

※メディカル・エクササイズサポートコース（仮称）は、医療費控除のシステムとは別に、単独でのトレーニングメニューとしてもご利用いただけます。

健康寿命日本一を目指したラジオ体操の普及

- ・ 「健康寿命日本一」をめざし、市民に広く浸透させるイベントとして「おはよう！キュンとするまち。藤沢 ラジオ体操～めぞう健康寿命日本一～」の取組を拡大し、市内全域での開催を進めます。
- ・ **毎朝**スポーツ施設のロビーやプール場内に職員が立ち、**ラジオ体操を利用者と実施**するとともに、自治会や子ども会など地域に職員を派遣し、日常においても普及・啓発活動に努めます。



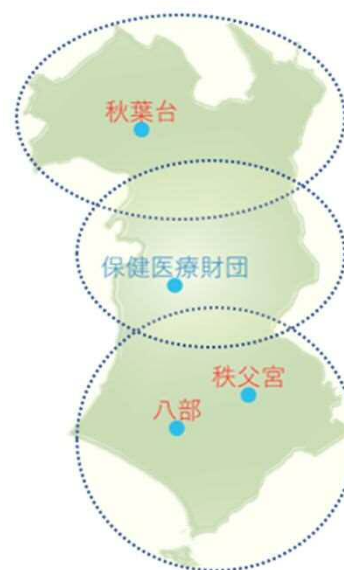
ラジオ体操イベント

健康づくり課等と協働した体力測定の実施

- ・ 親子で参加できるイベント時に「カラダ健康フェスタ」を藤沢市健康づくり課・藤沢市保健医療財団等の協力のもと開催し、各世代の体力向上の啓発に寄与します。
- ・ トレーニングルーム等で日頃から運動をしている方が、効果測定として目安にできるよう、「**新体力測定**」に基づく**体力測定会**を実施します。



カラダ健康フェスタ



システム適用地域



▶イ こどもの体力向上の推進

- ・こどもたちに運動の楽しさを実感してもらい、こどもたち自らが主体的にスポーツに関われるよう、今後も運動能力向上を図る事業を展開します。

※令和7年度：計154本実施予定（表内は主な教室名）

器具・用具を活用した総合的な運動プログラム	年長たいそう教室など
種目別の運動プログラムに特化したプログラム	小学生かけっこ教室 スキルアップ！ベースボール教室など
様々なスポーツ種目に遊びの要素を取り入れたプログラム	小学生うんどう教室など



小学生かけっこ教室



泳力認定を受けたこどもたち

- ・水泳種目については、本財団が独自に構築した「泳力認定進級制度」により「泳力級」が取得できる機会を提供し、水泳への意欲向上を図ります。
- ・「こどもまんなか」に配慮した取組
こども家庭庁の示す「こどもまんなか」の取組に、本財団として「こどもまんなか応援サポーター」を宣言し、こどもの体力向上を図るとともに、こども一人ひとりが健やかで幸せに成長できる社会の実現をめざした事業展開に努めます。
- ・「就学援助世帯減額」の実施
経済的に困難な家庭環境の児童については、藤沢市教育委員会の就学援助制度を基準としてスポーツ教室の参加費を減額し、負担軽減を図ります。
- ・青少年部門と連携したイベントの実施
本財団が運営する児童クラブ（54児童クラブ）と連携し、児童クラブ交流会においてポッチャやモルックなど様々なスポーツを体験できる機会を提供します。また、児童館と共同したカヌー体験や、藤沢市の募集するサマースクールにおいても、こどもたちが様々なスポーツを体験する機会を提供します。



本財団・オリジナルマーク
「こども家庭庁」へ申請済み



モルック体験

▶ウ 勤労者や子育て世代の体力向上の取組（成人の体力向上の推進）

- ・「ライフステージに応じた成人の体力向上」を目的とし、多様化する就業形態に対応できるよう、勤労者、子育て世帯など、それぞれのライフステージにあった事業を展開します。

※令和7年度：計100 本実施予定（表内は主な教室名）

勤労者が休日に参加できるプログラム	プレス工業陸上競技部ランニング教室 など
勤労者が仕事終わりに参加できるプログラム	ナイトアクア教室 リフレッシュナイトヨガなど
こども同伴で参加できるプログラム	お母さんのためのヨガ及びピラティス マタニティ・産後ヨガ体操
親子で参加できるプログラム	親子たいそう教室、親子かけっこ教室 など



プレス工業陸上競技部
ランニング教室



親子たいそう教室

- ・指定運動療法施設制度による運動やトレーニングの指導（再掲）
- ・体力測定フェスタなどの体力測定（再掲）



▶ **エ 介護予防やフレイル予防の取組（高齢者の体力向上の推進）**

高齢者に配慮した取組

- ・ 団塊の世代が75歳以上を迎える2025年問題などに直面しており、**高齢者の健康・体力の維持増進**は、介護予防や医療費の縮減、そして「健康寿命日本一」につながる重要な取組であるため、高齢者が参加しやすい**介護予防**などを支援する事業を実施します。

※令和7年度：計24本実施予定（表内は主な教室名）



シニアのためのエンジョイ運動

ロコモティブシンドローム予防のプログラム	高齢者たいそう講座など
フレイル予防のプログラム	水中ウォーキング教室、シニアのためのエンジョイ運動教室、ノルディックウォーキング教室など
認知症予防のプログラム	JIZAI体エクササイズなど

- ・ 敬老の日の施設無料開放（プール・トレーニングルーム・個人開放）
- ・ 指定運動療法施設制度による運動やトレーニングの指導（再掲）
- ・ 体力測定フェスタなどの体力測定（再掲）

▶ **オ 出産・育児期にかかわる方や施設に来ることが難しい方への取組**

女性のライフステージに応じた取組

- ・ 働く女性の増加や結婚・妊娠・出産・子育て期などライフステージの変化が、時間の制約に大きく影響していると思われます。いずれのライフステージにおいても女性が気軽に楽しくスポーツができるプログラムを提供します。

勤労者向け

- ・ 夜のリフレッシュヨガ、夜のリラックスヨガ、ゆったりフィットネスフラ
- ・ アクティブボディメイクエクササイズ

妊娠・出産・子育て期の支援

- ・ 産前産後の方を対象とした「マタニティ・産後ヨガ体操」
- ・ こども同伴で参加できる「お母さんのためのヨガ及びピラティス」
- ・ 親子で参加できる「ベビーヨガ、親子たいそう、親子リトミック」など

時間や場所に制約がある方への支援

- ・ 財団YouTubeチャンネルでの各種エクササイズ動画の配信
- ・ ZOOMを活用した双方向のやり取りが可能なオンライン教室の実施



マタニティ・産後ヨガ体操



②スポーツ活動の充実 スポーツを楽しみ気持ちよく体を動かします

▶ア 気軽にスポーツを楽しめる多様なスポーツ事業の提供

- 各施設の事業を企画する際には、普段体験できないスポーツに触れていただく機会を提供するとともに、無料で体験できるスポーツ教室の実施、また、誰でも楽しめるお祭りの催し物を開催し、これまでスポーツ事業に参加する機会がなかった市民への「きっかけづくり」に取り組みます。

【主な事業】

みらい子どもフェスタ、地域感謝祭（各施設）、ふじさわパラスポーツフェスタなど

- スポーツ教室の企画においては、より多くの市民に、気軽にスポーツ活動に親しんでいただけるよう、こどもから高齢者まで、個人レッスンやグループでのレッスン、複数回継続する教室や1回で完結する申込不要のオープン教室など、多様なニーズに対応し、**バラエティ豊かな教室**を実施します。

【主な事業】

ピラティス、シニアヨガ、個人スイムレッスン、小学生体操教室など**約300教室**予定



ピラティス



シニアヨガ



個人スイムレッスン



小学生体操教室

▶イ 地域スポーツを支えるスポーツ推進委員との協働

- 本財団は様々なスポーツイベントを実施しておりますが、それらのイベントは市民・地域住民が主役となるものでなければならぬと考えます。そのため、地域スポーツを支えるスポーツ推進委員にも助言や参画をいただき、地域に根差したスポーツイベントとして運営することが重要な要素と考えます。
- 今後も積極的に**スポーツ推進委員の協力**を得ることで、地域に密着したスポーツ事業として展開します。
- 様々な事業でスポーツ推進委員の協力をいただく一方で、**スポーツ推進委員を対象としたプールの安全管理講習の講師として職員を派遣**するなど、相互の協力体制により、市民を対象とした事業の質の充実を図ります。



スポーツ推進委員との協働
（みらい子どもフェスタ）

【協力いただいている主な事業】

みらい子どもフェスタ（各施設）、ふじさわパラスポーツフェスタ、おはよう！キュンとするまち。藤沢ラジオ体操、藤沢市駅伝競走大会、湘南藤沢市民マラソン など



▶ ウ スポーツ関係団体の組織育成と活動支援

・藤沢市体育協会、藤沢市レクリエーション協会、藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会の**事務局運営**を担い、今後はスポーツ少年団本部事務局の運営も担う予定です。また、総合型地域スポーツクラブである善行・大越スポーツクラブへ本財団職員を相談役として派遣するなど、市内スポーツ関係団体の事業が円滑に遂行されるよう団体運営を支援しています。

- ・本財団が事務局を担うことにより、土日・夜間も事務連絡や物品受け渡しなどに対応可能となり、団体に所属する方々の利便向上が図られます。
- ・各団体の事務局運営を通じて、それぞれの団体の情報を共有し、協力することで、**相互補完的な連携を推進**し、より魅力的な事業展開ができるよう支援します。

【団体間連携の例】

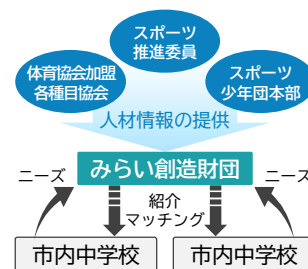
ふじさわパラスポーツフェスタへの卓球協会指導員の派遣協力
 スポーツ少年団登録チームを対象とした車いすバスケットボール体験



オリパラ応援看板の協力作成

▶ エ 地域スポーツ団体などとの協働・連携を生かした中学校部活動の支援

- ・学校教職員の働き方改革など、中学校部活動の抱える課題解決に向け、そのニーズを把握するとともに、**本財団の有するネットワーク**を生かし、藤沢市体育協会などに所属する**指導者の発掘**を進め、希望する**中学校とのマッチング**を行います。
- ・中学校部活動への指導者派遣にあたっては、指導者の資質として欠くことのできない**コンプライアンスや安全管理のための基本研修**について、職員が講師となり、施設を活用して開催します。



▶ オ 競技スポーツ団体との協働・連携

- ・本財団が実施するスポーツ事業において、藤沢市体育協会に加盟する各種目競技団体にその事業の主管や役員派遣を行っていただくなど、**相互の連携・協力体制を構築**しています。
- ・スポーツの競技力向上のためには、興味を持った初心者が楽しみながらプレイできる環境や**底辺層の拡大**が必要不可欠であり、そのきっかけづくりこそ本財団の大きな役割と捉えて取り組んでいます。



藤沢市駅伝競走大会

【主な競技団体協力事業】

事業名	協力団体名
みらい子どもフェスタ	藤沢市アーチェリー協会、藤沢市ラグビーフットボール協会、藤沢市カヌー協会、藤沢市トランポリン協会
スポーツチャレンジフェスティバル	藤沢市スポーツウェルネス吹矢協会
カヌー教室	藤沢市カヌー協会
水泳教室、市民水泳大会、冬季記録会	藤沢市水泳協会
体育館個人使用	藤沢市バドミントン協会、藤沢市バスケットボール協会、藤沢市卓球協会、藤沢市弓道協会、藤沢市太極拳連盟、藤沢市バウンドテニス協会、藤沢ソフトテニス協会、藤沢市剣道連盟など
中学生ビーチバレー大会	藤沢市バレーボール協会、神奈川県バレーボール協会、神奈川県ビーチバレー連盟
藤沢市駅伝競走大会、湘南藤沢市民マラソン	藤沢市陸上競技協会ほか
ふじさわボッチャ競技大会	横浜ボッチャ協会



▶ **カ ジュニア期からのスポーツ活動支援**

- ・ジュニア期からの正しい運動指導は、将来の運動能力を養う上でとても重要な要素です。
- ・藤沢市体育協会や藤沢市スポーツ少年団本部、藤沢市医師会など様々な団体と協働・連携し、指導者向けには運動能力向上のトレーニング講習会や心のメンタルコーチング講習会などを開催し、保護者へは栄養や睡眠など、**家庭から子どもを支えるサポート講習**を実施します。
- ・藤沢発のトップアスリートの育成に向けて、**心・技・体を家庭内外からサポートできる機会**を提供します。

【主な事業】

- ジュニアのためのスポーツ栄養講座
- 藤沢市スポーツ少年団指導者養成講習会への講師派遣



ジュニアアスリートのための
栄養講座

▶ **キ プロスポーツチームやトップアスリートとの連携による魅力の発信**

- ・こどもの頃に**トップアスリートから直接指導**を受けられることは、こどもたちにとってとても貴重な体験となります。
- ・できる限り多くのこどもたちに、**トップアスリートとふれあえる機会**を提供し、将来を担うこどもたちが、夢や希望を抱けるようなきっかけづくりに努めます。

【主な事業】

- 湘南ユナイテッドバスケットボールクラブのホームゲーム開催やバスケットボールスクール
- 神奈川フューチャードリームスとの協働事業
- 湘南ベルマーレフットサルクラブによるFリーグスペシャルマッチ&フットサルクリニック
- プレス工業陸上競技部によるランニング教室
- オリンピックによるビーチバレークリニック など



湘南ユナイテッドBC
バスケットボールクリニック



③共生社会の推進(スポーツにふれあい支えあう輪を広げる取組)

▶ア 障がい者スポーツ(パラスポーツ)の機会拡大とインクルーシブスポーツの推進

パラスポーツの体験機会拡大と普及・推進

- 障がい者が自主的かつ積極的にスポーツ活動を実践できる環境(場所、支援者、プログラムなど)を整え、障がい特性に応じた合理的配慮の下で、パラスポーツに親しむ機会の拡大を推進します。

【主な事業】

<p>パラスポーツ開放事業</p> <p>(個人で気軽に参加できる機会を毎月提供します)</p>	<ul style="list-style-type: none"> パラスポーツ開放(ローリングバレー、ボッチャ、パラバトミントン、卓球等) ふれあいテニス開放 障がい者プール開放
<p>パラスポーツ体験イベント</p> <p>(様々な種目が複数体験できる機会を提供します)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ふじさわパラスポーツフェスタ(ビームライフル射撃、アーチェリー、ボッチャ等) 車いすバスケットボール体験 FUJISAWA SPORTS PARK~パラスポーツ編~
<p>パラスポーツ競技大会</p> <p>(パラスポーツで競い合い、楽しむ機会を提供します)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ふじさわボッチャ競技大会 湘南藤沢市民マラソン(チャレンジラン) ローリングバレー交流大会



パラスポーツ開放



ふじさわパラスポーツフェスタ



車いすバスケットボール体験

インクルーシブスポーツの推進

- こどもから高齢者まで、また障がい者や健常者などの垣根がなく、誰もがともに同じフィールドでスポーツを楽しむインクルーシブスポーツ事業の企画・実施を関係団体と協力しながら推進します。多くの市民が様々なスポーツに親しむ機会の拡大を図るとともに、障がい者への理解をさらに広げられるよう積極的に取り組みます。

<p>交流事業</p> <p>(団体戦形式を導入し、気軽なコミュニケーションの促進を図ります)</p>	<p>ふれあいスポーツ交流会 (ローリングバレー、ボッチャ、卓球)</p>
--	---



ふれあいスポーツ交流会(ボッチャ)



ふれあいスポーツ交流会(卓球)

- 少子高齢化が進む中、地域における**多世代の交流事業**においても**インクルーシブスポーツ**が持つメリットを最大限に生かして、推進を図ります。

パラリンピアンやパラアスリートを招聘した講演会・スポーツ教室

- 北京2008パラリンピック競技大会 自転車競技の金メダリスト 石井雅史(本財団職員)の経験を生かし、「サイクルチャレンジ藤沢in秋葉台」を開催するとともに、自転車教室・講演会に市内・市外を問わず幅広く派遣します。そして、未来あるこどもたちに『自転車の楽しさ、ルール・マナー』をはじめ、『あきらめない心』や『命を守るヘルメットの重要性』を発信します。
- その他、パラリンピアンやパラアスリートを招聘し、体験会や講演会を実施し、インクルーシブスポーツの推進を図るとともに共生社会の実現に向けた取組に努めます。



石井雅史パラアスリート講演会



車いすラグビー体験会



▶ **イ スポーツボランティアの養成とインクルーシブスポーツの活動をささえる人材の育成**

スポーツイベントやスポーツ大会を開催する際にスポーツボランティアやリーダーのサポートは必要不可欠で大きな力となります。その場集った人々の特性に応じて既存のルールや道具に捉われず、適切な工夫やアレンジがコーディネートでき、多くの人々が公平に楽しく活動に参加できるよう、**インクルーシブスポーツを支えるサポーターの育成**に努めます。

【主な事業】

スポーツボランティア養成事業、インクルーシブスポーツ体験講習
ユニバーサルスポーツ指導者派遣事業

スポーツボランティア養成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツボランティア研修 ・スポーツボランティアリーダー研修
インクルーシブスポーツ体験講習	<ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャ・モルック体験 ・※ボルック体験 ・車いす介助・ブラインドウォーク体験
インクルーシブスポーツ指導者派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> ・慶應義塾大学SFC体育（非常勤講師） ・各公民館事業（高齢者学級） ・地区社会福祉協議会（高齢者交流事業）

※**ボルック**・・・室内で床に傷をつけずにコンパクトな省スペースでもモルックができるようボッチャボールと紙コップを活用した変形モルックです。本財団が独自に考案し、創作した室内種目です。



オリジナル種目『ボルック』体験



ボッチャ体験



FUJISAWA SPORTS PARK
ブラインドウォーク体験

▶ **ウ いつでも誰でも気軽に体験できるユニバーサルスポーツゾーンの整備**

- ・秩父宮記念体育館の軽体育室にボッチャコート常設し、気軽に体験できる機会を提供します。
- ・秩父宮記念体育館と秋葉台公園にボッチャやモルックなどができる**ユニバーサルスポーツゾーン**を整備し、いつでも誰でも気軽に体験できる機会を提供します。整備にあたっては、市民の方からの寄付金を財源とする**本財団の特定資産の一部を活用**します。



ボッチャ常設コート設置

▶ **エ 藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会事務局としての取組と発信**

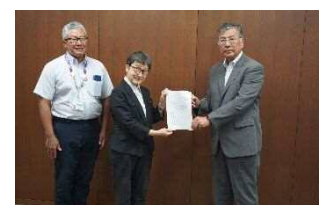
公益法人運営のノウハウを生かして藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会の事務局を担い、加盟団体の相互連携と多様なニーズを踏まえたスポーツの環境整備を推進し、**本市における障がい者のスポーツ実施率を高め**ます。同時に、自主財源を確保するための事業運営と広報活動に努めます。

【主な事業】

- ふじさわパラスポーツフェスタ
- 機関誌『やってみ』発行（年1回）
- スポーツまつりふじさわ・FUJISAWA SPORTS PARK（協力事業）
- パラスポーツ指導者派遣事業（公民館事業・公益団体イベント等）
- 総会、運営委員会の開催と加盟団体の情報共有、行政への要望書提出



ボッチャ体験教室への指導者派遣
（六会公民館）



藤沢市長へ要望書提出



▶オ パラスポーツ開放事業を軸としたサークル活動への発展と活動機会の提供

本財団で実施している**パラスポーツ開放（無料）**をきっかけに、参加者が**自主的な活動としてボッチャサークルを創立**するなど、市民活動へと広がっています。また、その他の種目においても、既存のサークルのメンバーなどが個人的に開放事業を活用しています。定期的な開放を行い練習の場を提供することで、仲間と研鑽し、大会などにも参加するなど、競技を楽しむ理想的なスポーツ活動につながっています。今後も参加者の目線に立ち、自主的な活動の促進を支援し、活動と新規メンバー加入の機会を提供します。

【主な活動団体】

パラ卓球…湘南神奈川卓球クラブ

ローリングバレーボール…RVCハッスルかわせみ、江の島バナナボーイズ

パラバドミントン…藤沢TTバド

ボッチャ…カワセミクラブ



パラスポーツ開放(バドミントン)



ふじさわパラスポーツフェスタ
(車いすバスケットボール体験)

▶カ 神奈川県障がい者スポーツ協会との相互連携と事業協力

一般社団法人神奈川県障がい者スポーツ協会の社員として、藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会会長を選出し、**県協会の運営と事業協力**について相互連携を図ります。競技スポーツとしての側面も強化しつつ、選手の育成や若年層のパラアスリート発掘にも寄与します。



ボッチャ大会



④まちのにぎわい創出

▶ア マリン・ビーチスポーツ等の地域特性を生かしたスポーツ活動の推進

東京2020オリンピックセーリング競技会場「江の島」を代表とする湘南海岸や、緑豊かな自然を有する藤沢の地域特性を生かしたスポーツ事業を展開し、市民のスポーツ活動推進を図ります。

ふじさわセーリングフェスタ

- 東京2020オリンピックセーリング競技会場「江の島」で、障がい者やこどもも安心して操船できるユニバーサル艇を使用し、多くの市民に安全なセーリング体験機会を提供することで、マリンスポーツの普及とともにオリンピックレガシーの継承に努めます。



ふじさわセーリングフェスタ

ふじさわ・えのしま観光ロゲイニング

- 市内のチェックポイントを巡り、時間内で獲得したポイントを競うスポーツイベントです。観光の要素も含むことから地域活性化の一助ともなり、楽しくウォーキングやランニングを実践できるイベントとして開催します。

ノルディックウォーキングイベント

- ノルディックポールを使い膝への負担を減らすことで、高齢者も気軽に行えるノルディックウォーキングイベントを実施します。藤沢の自然や歴史に触れ、街並みを楽しみながら市内各地を巡り、藤沢の魅力を掘り起こします。



ノルディックウォーキング教室

ビーチバレー大会

- 本財団の管理する鵠沼海岸ビーチレクリエーションゾーンで、藤沢市バレーボール協会との共催により、誰もが気軽に参加できるビーチバレー大会を開催し、ビーチスポーツ愛好者の拡大を図ります。

常設コートオープン記念大会(5月) 海の日記念大会(7月)

ビーチバレー湘南(8月)

▶イ「スポーツツーリズムの推進」全国レベルの大会開催による藤沢の魅力発信

日本有数の観光地「江の島」をスタート・フィニッシュとする湘南藤沢市民マラソンや中学生ビーチバレーボールの全国大会等の開催により、参加者だけでなくスタッフや観戦者など、多数の方が藤沢を訪れることで、スポーツツーリズムの推進を図り、藤沢の「にぎわい」へつなげます。

湘南藤沢市民マラソン

- 江の島から富士山を一望し、湘南海岸（国道134号）を走るスポーツイベントとして、10マイルマラソンから公認ハーフマラソンへと種目を変更しました。本財団はこの大会の事務局として、運営の中心的役割を担い、これまでのノウハウを生かすことで、1万人規模の市民マラソンを引き続き安全に開催します。

湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会

- 日本のビーチバレー発祥の地として、次世代を担う中学生へのビーチバレー普及・拡大をめざした全国大会を開催します。日本全国から訪れる多くの方々に藤沢の魅力を感じていただき、藤沢の「まちのにぎわい」を創出します。



湘南藤沢市民マラソンスタート



全国中学生ビーチバレー大会全参加チーム



全国中学生ビーチバレー大会



▶ ウ 多様化するスポーツ活動の推進 「アーバンスポーツの推進」

スポーツの多様化が進み、東京2020オリンピックを機に正式種目となったスケートボードをはじめ、スポーツクライミングやBMXなどの「アーバンスポーツ」の競技人口が増加しています。本財団では、これら**アーバンスポーツの体験会や講習会**などによる普及・推進を図るとともに、新たなスポーツの力を活用し、藤沢のスポーツの活性化に努めます。

スポーツクライミング体験

- ・秋葉台文化体育館に常設された垂直壁を活用したクライミングの体験会や種目協会などの関係団体と協働した大会を実施します。種目の普及推進とともに次世代を担う競技者の育成や発掘に努めます。



スポーツクライミング体験

プロスケーターによるスケートボード講習会・大会

- ・秋葉台公園のスケートボード広場や駐車場を活用した体験会・大会、地元出身のプロスケーターを招いた講習会などを開催します。種目の普及推進とともに、近年課題となっている利用者のマナー向上にも努めます。



スケートボード大会

プロスポーツチーム・アスリートとの交流

- ・藤沢駅前広場を活用し、藤沢ゆかりのプロチームやトップアスリートとのスポーツ交流イベント、パラスポーツ、健康等をテーマとした多種多様なスポーツ体験プログラムを提供する「FUJISAWA SPORTS PARK（藤沢スポーツパーク）」の運営に参画します。地元発信によるスポーツの力で、藤沢のスポーツ活動の充実に貢献します。



パラスポーツ体験プログラム

ビーチバレー・スケートボードを中心とした、スポーツの聖地化

- ・「鵜沼海浜公園HUG-RIDE PARK」の整備を起点とし、神奈川県・藤沢市と連携して、ビーチバレー発祥の地と横乗りスポーツの聖地化を検討し、スポーツ文化の発展に努めます。



日本ビーチバレー発祥の地碑

⑤スポーツ推進の取組の検証と報告

▶ ア 「藤沢市スポーツ推進計画2029」の実施事業報告

「藤沢市スポーツ推進計画2029・実施事業集」に基づいて実施した各種事業については、次回に向けた課題や改善策について検証し、事業の参加人数の実績と併せて藤沢市に報告します。



(4)スポーツ推進の実績

①健康寿命日本一の推進

▶ア 健康・体力づくり関係団体との協働・連携の推進

関係団体との協働・連携によるイベント事業を実績

藤沢市スポーツ推進課や健康づくり課、藤沢市スポーツ推進委員協議会、藤沢市保健医療財団などと連携し、市民の健康維持・増進を図るための事業を実施しています。多くの市民の参加を集め、心身の健康づくりに役立っています。

主な事業	令和4年度	令和5年度
おはよう！キュンとするまち 藤沢ラジオ体操会	303人	330人
スポーツまつりふじさわ	1,618人	1,052人
カラダ健康フェスタ ～体力年齢を知ろう～	242人	491人



スポーツまつりふじさわ
(スポーツ推進委員)

▶イ こどもの体力向上の推進

こどもを対象に教室事業を実施

将来を担うこどもたちの体力向上を目的に、さまざまな教室事業を年間を通じて数多く実施しています。運動能力に加えて協調性や社会性も養えるようにプログラムを工夫しています。

こども対象教室	令和4年度	令和5年度	主な教室事業
実施数	155教室	152教室	小学生かけっこ教室 夏休み小学生トランポリン体験 年中・年長たいそう教室 エンジョイベースボール
延べ受講者数	18,508人	20,602人	こどもスイム カヌー教室



夏休み小学生トランポリン体験



こどもスイム

▶ウ 成人の体力向上の推進

成人を対象に教室事業を実施

気軽に参加できる運動機会として、健康づくりや体力づくりを目的に、各種スポーツ教室を実施しています。個人のライフスタイルに合わせて参加しやすいオープン教室を中心に多彩なプログラムを提供しています。

成人対象教室	令和4年度	令和5年度	主な教室事業
実施数	102教室	107教室	各種オープン教室 (ヨガ、ピラティス、等) バドミントン教室
延べ受講者数	28,793人	32,192人	姿勢改善エクササイズ 初級水泳教室 ナイター水泳教室



オープン教室
(エンジョイエアロ)



水中運動・水中ウォーキング

※高齢者対象教室、女性対象教室（一部）を除く



▶ **工 高齢者の体力向上の推進**

高齢者を対象に教室事業を実施

高齢者の健康増進や体力の維持を目的に、さまざまなスポーツ教室を実施しています。多くの高齢者に運動や交流の機会を提供することで、介護予防につなげます。

高齢者対象教室	令和4年度	令和5年度	主な教室事業
実施数	14教室	15教室	ゆったりシニアヨガ シニアのためのエンジョイ運動 高齢者体操講座
延べ受講者数	829人	875人	高齢者運動初心者向け 簡単エクササイズ

※成人対象の各種オープン教室等にも多数の受講あり



シニアのためのエンジョイ運動



シニアヨガ

▶ **オ 女性の体力向上の推進**

女性を対象に教室事業を実施

仕事や育児など時間や場所に制約が多い女性特有のニーズに合わせた教室を実施しています。エクササイズ動画の配信など、さまざまな運動機会を提供し、女性のスポーツ実施率の向上を図っています。

女性対象教室	令和4年度	令和5年度	主な教室事業
実施数	5教室	7教室	ママのためのピラティス マタニティ・産後ヨガ体操
延べ受講者数	221人	346人	お母さんのためのヨガ

※成人対象の各種オープン教室等にも多数の受講あり



骨盤エクササイズ



親子体操

動画配信	令和4年度	令和5年度	主な教室事業
再生回数	6,874回	10,108回	おうちでピラティス ストレス解消ヨガ リズムに合わせて有酸素運動 親子で楽しく！トレーニング 肩こり解消ストレッチ&体操 全身じゃんけん



おうちでピラティス

▶ **カ 世代を超えて参加できるスポーツイベントの実施**

家族や仲間と気軽に楽しく参加できるイベントを実施し、世代を超えた多くの方に運動する機会を提供しています。

イベント事業	令和4年度	令和5年度	主なイベント事業
実施数	4事業	4事業	みらい子どもフェスタ スポーツチャレンジフェスティバル
延べ参加者数	7,580人	27,549人	サイクルチャレンジ藤沢in秋葉台 ふじさわ観光ロゲイニング

※そのほか、各施設において地域感謝祭などのイベントを実施しています。



スポーツチャレンジフェスティバル



②トップアスリートを活用したスポーツの魅力発信(スポーツ活動の充実)

▶ア オリンピアン・パラリンピアンによるスポーツの魅力発信

- ・藤沢市と連携して、これまでに計36事業のオリンピック・パラリンピック関連事業を企画・実施し、スポーツの魅力を発信しました。

【表内は主な関連内容】

アスリート名 (種目)	主な大会出場	実施内容 (場所)
小俣夏乃 (アーティスティック クスイミング)	リオオリンピックなど	演技披露 (秋葉台公園プール)
水鳥寿思 (体操)	アテネオリンピックなど	トークショー・教室 (秩父宮記念体育館)
海堀あゆみ (女子サッカー)	リオオリンピック・FIFA女子 ワールドカップなど	トークショー・教室 (秩父宮記念体育館)
棟朝銀河 (トランポリン)	リオオリンピックなど	演技披露・教室 (秩父宮記念体育館)
塩浦慎理 (水泳)	リオオリンピックなど	トークショー・実演・教室 (八部公園プール)
若山英史 (車いすラグビー)	東京オリンピック・パラリン ピックなど	トークショー・教室 (秩父宮記念体育館)



水鳥寿思・体操指導



海堀あゆみ・トークショー



塩浦慎理・水泳指導

プロスポーツチームとの連携した教室

- ・藤沢市に活動拠点を置くプロスポーツチームからスポーツ教室の指導者を派遣いただき、トップアスリートから直接指導を受けられる機会を提供しました。

【表内は主な関連内容】

主な教室・クリニック	令和4年度	令和5年度
神奈川フューチャードリームス (小学生対象の野球教室)	全6教室 85人	全6教室 103人
湘南ユナイテッドBC (小学生対象のバスケットボール教室)	全12教室 179人	全12教室 222人
湘南ベルマーレ (小学生対象のフットサルクリニック)	全1教室 60人	全1教室 49人



神奈川フューチャーズドリームス
「野球教室」



湘南ベルマーレ
「フットサルクリニック」

見るスポーツの推進

- ・藤沢市に活動拠点を置くプロスポーツチームの試合開催をサポートし、プロのスピード・パワー・技術を間近で楽しめる機会を提供しました。



湘南ユナイテッドBC
「バスケットボール教室」



③スポーツに触れ合う輪の拡大(共生社会の推進)

▶ ア パラスポーツ体験等を通じたインクルーシブスポーツの推進

パラスポーツの体験イベント・大会の開催と、これらも含む誰でもともにスポーツを楽しむことができるインクルーシブスポーツを積極的に実施し、共生社会の推進を図りました。

【表内は主なイベント】

イベント名	令和4年度	令和5年度
ふじさわパラスポーツフェスタ (車いすバスケットボールなど)	860人	2,684人
ふじさわポッチャ競技会	36チーム 124人	51チーム 173人
ふれあいスポーツ交流会 (ポッチャ&ローリングバレー)	32人	39人
ふれあいスポーツ交流会(卓球)	33人	47人



車いすバスケットボール



ポッチャ競技大会

▶ イ スポーツボランティアの養成と活動の推進

- ・スポーツ事業の運営には欠かせないスポーツボランティアの養成講習会などを実施し、人材育成・確保に努め、スポーツを「ささえる」活動の充実に努めました。

【表内は主な講習会】

イベント名	令和4年度	令和5年度
スポーツボランティア養成講習会	3回 計43人	1回 22人
スポーツボランティア・リーダー養成講習会		1回 24人
インクルーシブスポーツ体験講習会	3回 計20人	2回 16人



スポーツボランティア養成講習会



インクルーシブスポーツ体験講習会

スポーツサポーターバンク制度の活用

- ・本財団の前身である藤沢市スポーツ振興財団時(平成18年度)に「スポーツサポーターバンク制度」を設立し、現在も引き続き、本財団が実施するイベントや大会に従事いただくことで、市民と一体となった事業運営に努めています。

	令和4年度末	令和5年度末
サポーターバンク登録者数	147人	150人



サポーターバンク
(スポーツチャレンジフェスティバル)

※令和5年度は13事業に79人のボランティアが従事しました。
(みらい子どもフェスタ・ふれあいスポーツ交流会など)



④まちのにぎわい創出

▶ ア 地域特性を生かしたスポーツ活動の推進とスポーツツーリズム

・湘南地域の海岸の自然を生かしながら、特徴的なスポーツイベントを実施しています。全国規模のビーチバレー大会など、広く藤沢市の魅力を発信する機会になっています。

【表内は主なイベント】

イベント名	令和4年度	令和5年度
セーリングフェスタ	計94人	計89人
ビーチバレージャパン	56チーム 112人	56チーム 112人
神奈川県中学生ビーチバレー大会	68チーム 450人	79チーム 432人
全国中学生ビーチバレー大会	69チーム 369人	80チーム 430人



セーリングフェスタ(江の島)



湘南藤沢カップ
全国中学生ビーチバレー大会
(鵠沼海岸)

・八部公園の教室では、引地川を活用した「カヌー体験」を実施しています。

※事業実施の際には救護体制を万全に整え、天候の状況などに応じて適切に中止や中断を判断し、参加者の安全を十分に考慮した運営に努めています。

湘南藤沢市民マラソンの実施

- ・第4回大会（2014年）から本財団が**実行委員会の事務局**を担い、運営の主体となって安全に円滑に実施してきました。
- ・湘南藤沢市民マラソンは、江の島をスタート・フィニッシュとした、湘南海岸（国道134号線）を走る**1万人規模の一大スポーツイベント**で、スポーツツーリズムを図るとともに藤沢市の魅力を発信してきました。
- ・10マイルの部、親子ランの部、そして、障がい者が伴走者と一緒にゴールをめざすチャレンジランの部を行い、誰も取り残さない**インクルーシブな取組**を推進してきました。

※令和6年度の**第15回大会**（1/26）開催から、これまでの10マイルの部に代わり、「**公認ハーフマラソン（約21キロ）**」と「**クォーターマラソン（約11キロ）**」を実施します。

【表内はカテゴリー別の申込人数】

湘南藤沢市民マラソン	令和4年度	令和5年度
10マイルの部	7,790人	8,303人
親子ランの部	868組 (1,736人)	881組 (1,762人)
チャレンジランの部	28組 (56人)	31組 (62人)



湘南藤沢市民マラソン(江の島)

※定員 10マイルの部：8,000人、親子ランの部：850組、チャレンジランの部：50組

藤沢市駅伝競走大会の実施

- ・藤沢市北部の自然豊かな田園風景のなかで、地域や関係団体の協力により、歴史のある駅伝大会を実施しています。スタート・フィニッシュの会場となる慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスには、中学生をはじめ多くの人たちが集います。

藤沢市駅伝競走大会	令和4年度	令和5年度
参加者数	35チーム 175人	42チーム 210人



第69回藤沢市駅伝競走大会



⑤スポーツ施設の利用促進のための取組

▶ア 体育館個人使用の促進

体育館では、個人でも気軽に各種スポーツを楽しめるよう、様々な種目について個人使用日を設けています。施設の利用を促進するとともに市民のスポーツ活動をサポートしています。

実施種目	令和4年度	令和5年度
バドミントン、ソフトテニス バスケットボール、バウンドテニス 卓球、弓道、太極拳、剣道 アーチェリー、その他	6,174人	7,804人
ローリングバレーボール ポッチャ、パラバドミントン パラ卓球	435人	551人



卓球



ポッチャ

▶イトレーニングルームの利用促進

トレーニングルームでは、利用者の健康づくりや体力向上のために、安全で正しいトレーニングのための環境を整えています。

【利用促進のための主な取組】

- ・トレーニングルーム管理システムのネットワーク化による情報共有
- ・トレーニングルーム登録カードの共通利用
- ・筋肉量や体脂肪のバランスをセルフチェックできる体成分測定を実施
- ・パーソナルトレーニングやスタジオプログラムなどを実施

	令和4年度	令和5年度
トレーニングルーム利用者数	94,985人	128,685人



トレーニングルーム



登録カード共通利用

▶ウ プールの利用促進

プールでは水中特有の効果により、身体への負担を軽減しながら安全に運動することができます。市民のレジャーと健康増進のために利用促進に努めています。

【利用促進のための主な取組】

- ・毎月第2日曜日（7・8月除く）を「小中学生・無料開放日」
- ・夏休みプール早朝利用
- ・年末（12/28～12/30）プール開館日拡大（石名坂温水プール）
- ・遊泳時間拡大（午後5時から30分間の休憩時間を廃止）
- ・繁忙期の祝日の翌日を開館
- ・ベビースイムDayや障がい者プール開放を実施

	令和4年度	令和5年度
プール利用者数	255,340人	288,243人



夏期プール利用



ベビースイムDay



笑顔あふれるみらいへ向けて

- スポーツ施設の運営においても、本財団らしさ・特徴を生かした事業を展開します。
- これまでの他団体との連携実績を生かし、健康づくりのための新たな仕組みづくりに挑戦します。
- インクルーシブスポーツ推進のため、継続した事業展開と施設整備を進めます。

(1)特色ある提案

①未来を担う子どもたちのために

「こどもまんなか」に配慮した取組 【再掲】

- ・ こども家庭庁の示す「こどもまんなか」の取組に、本財団として「**こどもまんなか応援サポーター**」を宣言し、こどもの体力向上を図るとともに、こども一人ひとりが健やかで幸せに成長できる社会の実現をめざした事業展開に努めます。

就学援助世帯減額の実施 【再掲】

- ・ 経済的に困難な家庭環境の児童については、藤沢市教育委員会の就学援助制度を基準にスポーツ教室の**参加費を減額**し、負担の軽減を図ります。

児童クラブと連携したイベントの実施 【再掲】

- ・ 本財団が運営する**児童クラブ（54児童クラブ）と連携**し、入所児童を対象にボッチャやモルックなど様々なスポーツを体験できる機会を提供します。（児童クラブ交流会における体験ブースなど）

事業部門を横断した事業の実施 【再掲】

- ・ 本財団のスケールメリットを最大限に生かし、青少年部門・芸術文化部門・スポーツ部門の各事業における様々なイベントを対象とする「**みらい横断ウルトラスタンプラリー**」を実施します。また、興味の異なる分野の利用者に、他分野の事業を知る機会の提供と参加しやすい環境に努め、**小・中学生や親子世代の利用・参加を促進**し、新規利用者獲得につなげます。

こどもの可能性を引き出す体験の場の提供

- ・ 本財団は、令和5年度から藤沢市が実施する**サマースクール**事業者募集にエントリーし、実施事業者として選定されています。秩父宮記念体育館を活動拠点として、カヌー体験・ウクレレ体験・書道・キャンプでの野外調理など、青少年部門・芸術文化部門と連携し、**こどもたちの可能性を引き出す**多くのプログラムを用意し実施しています。

令和7年度以降も、引き続きサマースクール事業を企画していきます。

こどものサポート体制づくり 【再掲】

- ・ ジュニア期からの正しい運動指導は、将来の運動能力を養う上でとても重要な要素です。
- ・ 藤沢市体育協会や藤沢市スポーツ少年団本部、藤沢市医師会など様々な団体と協働・連携し、指導者向けには運動能力向上のトレーニング講習会や心のメンタルコーチング講習会などを開催し、保護者へは**栄養や睡眠など、家庭からこどもを支えるサポート講習**を実施します。
- ・ 藤沢発のトップアスリートを育成に向けて、**心・技・体を家庭内外からサポート**できる機会を提供します。

（ジュニアのためのスポーツ栄養講座、藤沢市スポーツ少年団指導者養成講習会への講師派遣など）



本財団・オリジナルマーク
「こども家庭庁」へ申請済み



サマースクール
ウクレレ体験



ジュニアアスリートのための
栄養講座



②いつまでも笑顔で健やかに生活いただくために

▶ア 藤沢市保健医療財団との連携を生かした新たな仕組みづくり 【再掲】

藤沢市保健医療財団や藤沢市医師会との連携による指定運動療法施設制度の活用

- ・ 社会問題である「介護予防対策」や「生活習慣病対策」に対して、**医療分野との連携**を深めます。
- ・ 藤沢市保健医療財団との提携により、指定管理者として管理運営するスポーツ施設において「**運動型健康増進施設**」「**指定運動療法施設**」（厚生労働省）の認定を取得します。
- ・ 医師の運動療法処方に基づく運動・トレーニングを、保健医療センター及びスポーツ3施設（藤沢市の南部・中部・北部）で可能とすることで、市民の施設の利用機会の拡大を図るとともに、市民の健康増進に努めます。

かかりつけ医師や病院から



運動をお勧めします

と言われたら

藤沢市トレーニングルームの「メディカル・エクササイズサポート(仮称)」をご利用ください
運動処方箋をもとに健康運動指導士などがあなたの運動を個別にサポートします！



システム適用地域

▶イ インクルーシブスポーツの推進 【再掲】

- ・ 本財団スポーツ事業課では、前身の藤沢市スポーツ振興財団当時からバリアフリースポーツ普及のための事業に取り組んでおり、現在では**藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会の事務局運営**を担う中で、ふじさわパラスポーツフェスタも当該団体とともに開催しています。
- ・ 事業実施に加えて、これまでの間、**市内の湘南工科大学や慶応義塾大学**において、**職員が講師**となり、**ユニバーサルスポーツの授業**を行うなど、これらの取組や実績は、県内でも一歩進んだものと自負しています。
- ・ 現指定管理期間においては、秩父宮記念体育館に常設ポッチャコートを設置しましたが、次期指定管理期間においては、市民からの寄付金を財源とした**本財団の特定資産を活用**し、秩父宮記念体育館と秋葉台公園にペタンクやポッチャ、モルックをいつでも誰でも気軽に楽しむことができる**ユニバーサルスポーツゾーン**を整備します。
- ・ 今後も引き続き、市民がユニバーサルスポーツに親しむ機会を拡充し、スポーツを通じた共生社会への実現に取り組めます。



ふじさわパラスポーツフェスタの様子



市内業者への優先発注と連携を図り、地元経済を活性化します。

- 地元経済の活性化などの観点から市内業者への優先発注に努めています。
- 地域経済団体との協働・連携した事業も積極的に取り組んでいます。

(1)市内業者の活用

①地元経済への貢献

▶ア 規模の大きな入札案件は市内業者を優先

本財団では、藤沢市の経済活性化及び地元業者の振興・育成の観点から「公益財団法人藤沢市みらい創造財団契約に関する規程」において、指名競争入札参加者の指名や修繕・物品の購入などについては、藤沢市内本支店を展開する地元業者の育成を考慮するよう規定しています。

【入札による業者の選定】

施設維持管理業務委託

秩父宮記念体育館総合管理業務

石名坂温水プール総合管理業務

秋葉台公園総合管理業務

八部公園総合管理業務

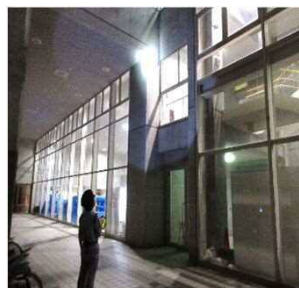
植栽管理業務委託

秩父宮記念体育館植栽管理業務

石名坂温水プール植栽管理業務

秋葉台公園植栽管理業務

八部公園植栽管理業務



秩父宮記念体育館 夜間警備
(株式会社オーチュー)



秋葉台公園 植栽検査
(普川造園株式会社)

▶イ 高齢者及び障がい者雇用への配慮

- ・ 高齢者に対する就業機会の確保及び提供として、市内唯一の神奈川県知事の指定を受けて設置された機関である「公益財団法人藤沢市まちづくり協会シルバー人材センター」を選定しています。

【秋葉台公園・八部公園内屋外便所入口鍵開閉業務】

- ・ 障がい者に対する就業機会の確保及び提供として、就労移行支援事業において障がい者の業務指導監督を含めた施設外就労を行うことができ、他団体とも調整を行える唯一の市内機関である「社会福祉法人ひばり」を選定しています。

【八部公園内除草等清掃業務】



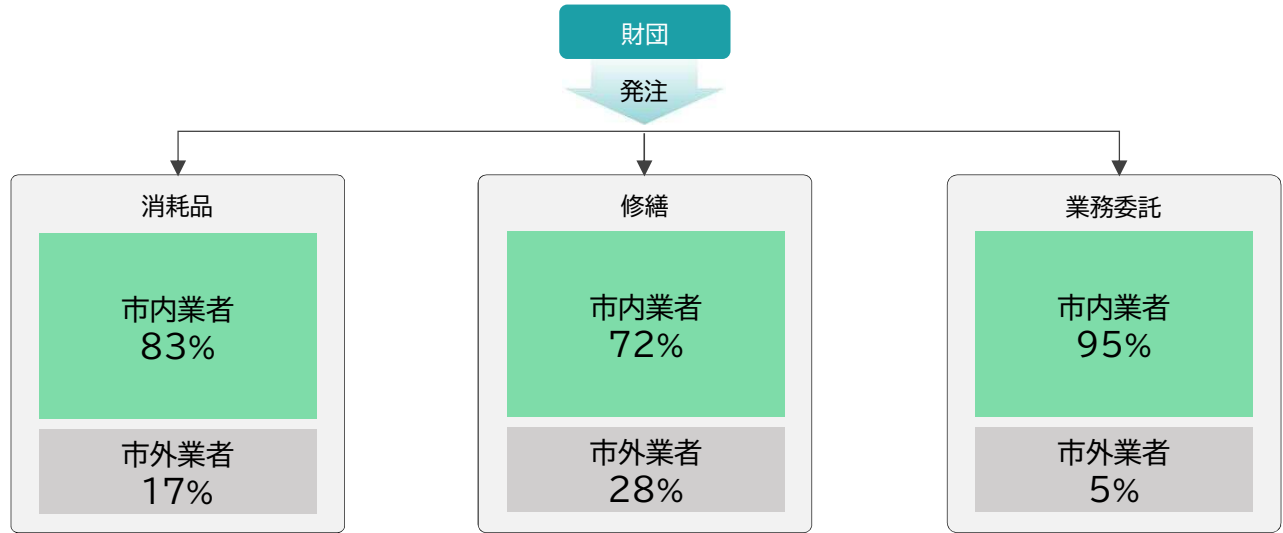
八部公園 除草作業
(社会福祉法人ひばり)



②市内業者への受注機会の増大による市内経済の活性化

▶ア 市内業者への効率的な発注を実施

消耗品や修繕、業務委託などについて、適正な予算執行に留意しながら、市内業者を優先して発注・契約しています。



市内業者への発注

消耗品発注実績業者	修繕発注実績業者
合資会社関水スポーツ	藤和サッシ株式会社
日欧事務機器株式会社	市川屋株式会社
有限会社ユザワ文具	相和設備工業株式会社
有限会社アート稲元	大野設備株式会社
株式会社ティエムスポーツ湘南	株式会社道北ケミカル
株式会社大島薬局	増子電気工事株式会社
ロイヤルホームセンター藤沢	志賀産業株式会社
株式会社ワコー商事	鎌田工業株式会社
有限会社豊元書店	株式会社親和塗装工業
合資会社佐々木材木店	株式会社今井水道設備
株式会社紺野企業	株式会社藤興自動車
信光実業株式会社	株式会社フクシマキカク
協同組合藤沢薬業協会	業務委託契約実績業者
株式会社エノモト	株式会社東幸
株式会社有隣堂	株式会社サンエーサンクス
株式会社さんこうどう	株式会社オーチャー
株式会社小山弓具	セコム株式会社
株式会社福田屋	株式会社橋本造園土木
有限会社キタジマススポーツ	普川造園株式会社
株式会社渡辺印刷	株式会社嵯峨造園土木
株式会社渡辺武商店	有限会社シーランド造園
有限会社池田商店	社会福祉法人ひばり
相日防災株式会社 ほか	公益財団法人藤沢市まちづくり協会



▶Ⅰ 再委託業務の概要

・専門性が高い業務は、適切かつ安全な業務遂行を図るため、再委託しています。その際は、再委託の適正が損なわれないよう情報漏洩などの対策を講じています。

秩父宮記念体育館

(単位：千円)

再委託業務	会社名	本支店等 種別	令和7年度 予算案	令和8年度 予算案	令和9年度 予算案	令和10年度 予算案	令和11年度 予算案
施設総合管理業務	株式会社オーチャー	市内支店	64,000	64,000	64,000	64,000	64,000
機械警備業務	セコム株式会社	市内営業所	684	960	960	960	960
トレーニング機器及び体育器具保守点検業務	セノー株式会社東京支店	県内本店又は支店	908	908	908	908	908
トレーニングルーム入退場管理保守業務	クロスウェイ株式会社	県外本支店	154	154	154	154	154
複写機保守点検業務	富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社	県内本店又は支店	1626	1626	1626	1626	1626
自動券売機保守点検業務	株式会社エルコム	県内本店又は支店	154	154	154	154	154
労務情報システムソフトウェア保守業務	アマノ株式会社	県内本店又は支店	67	67	67	67	67
植栽管理業務	有限会社シーランド造園	市内業者	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200

石名坂温水プール

(単位：千円)

再委託業務	会社名	本支店等 種別	令和7年度 予算案	令和8年度 予算案	令和9年度 予算案	令和10年度 予算案	令和11年度 予算案
施設総合管理業務	株式会社東幸	市内支店	31,016	31,016	34,271	31,546	32,163
機械警備業務	セコム株式会社	市内営業所	638	638	638	638	638
植栽管理業務	株式会社嵯峨造園土木	市内業者	3,471	3,597	3,724	3,850	3,982
自動券売機等保守点検業務委託	株式会社エルコム	県内本店又は支店	467	467	467	467	467
コインロッカー保守点検業務	株式会社アルファロッカーシステム	県内本店又は支店	73	73	73	73	73
複写機保守点検業務	富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社	県内本店又は支店	105	105	105	105	105
自家用電気工作物保安管理業務	石井電気管理事務所	市内業者	497	497	497	497	497
昇降機保守点検業務	株式会社マイクロエレベーター	県外本支店	60	60	60	60	60
水質検査業務	株式会社江東微生物研究所神奈川営業所	県内本店又は支店	97	97	97	97	97



秋葉台公園

(単位：千円)

再委託業務	会社名	本支店等 種別	令和7年度 予算案	令和8年度 予算案	令和9年度 予算案	令和10年度 予算案	令和11年度 予算案
施設総合管理業務	株式会社オーチュー	市内支店	128,670	129,000	127,000	127,000	128,000
機械警備業務	セコム株式会社	市内営業所	1,635	1,635	1,635	1,635	1,635
コインロッカー保守点検業務	株式会社フジサービス	県内本店又は支店	340	340	340	340	340
トレーニング器具保守点検業務委託	TMS・SASAKI	県内本店又は支店	442	442	442	442	442
体育器具保守点検業務	セノー株式会社東京支店	県内本店又は支店	231	231	231	231	231
自動券売機保守点検業務	株式会社エルコム	県内本店又は支店	753	753	753	753	753
複写機保守点検業務	株式会社大塚商会	市内営業所	319	319	319	319	319
トレーニングルーム入退場管理保守業務	クロスウェイ株式会社	県外本支店	154	154	154	154	154
秋葉台公園駐車場管理業務	公益財団法人藤沢市まちづくり協会	藤沢市出資法人	21,570	23,580	26,680	28,368	28,464
公園内トイレドア開閉業務	公益財団法人藤沢市まちづくり協会	藤沢市出資法人	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750
秋葉台公園内植栽管理業務	普川造園株式会社	市内業者	38,680	38,680	38,680	38,680	38,680
水質検査業務	株式会社江東微生物研究所神奈川営業所	県内本店又は支店	217	217	217	217	217
トイレ消臭機器保守点検業務	日本カルミック株式会社横浜オフィス	県内本店又は支店	71	71	71	71	71

八部公園

(単位：千円)

再委託業務	会社名	本支店等 種別	令和7年度 予算案	令和8年度 予算案	令和9年度 予算案	令和10年度 予算案	令和11年度 予算案
施設総合管理業務	株式会社サンエーサンクス	市内支店	81,423	79,062	86,048	87,676	94,457
機械警備業務	セコム株式会社	市内営業所	1,161	1,161	1,161	1,161	1,161
自家用電気工作物保安管理業務	沼田電気管理事務所	市内業者	501	501	501	501	501
八部公園プール入退場管理システム保守点検業務	株式会社エルコム	県内本店又は支店	709	709	709	709	709
コインロッカー保守点検業務	株式会社フジサービス	県内本店又は支店	167	167	167	167	167
トレーニング器具保守点検業務	TMS・SASAKI	県内本店又は支店	429	429	429	429	429
トレーニングルーム入退場管理保守業務	クロスウェイ株式会社	県外本支店	154	154	154	154	154
公園内トイレドア開閉業務	公益財団法人藤沢市まちづくり協会	藤沢市出資法人	91	91	91	91	91
八部公園内除草等清掃業務	社会福祉法人ひばり	市内社会福祉法人	5,143	5,143	5,143	5,143	5,143
複写機保守点検業務	富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社	県内本店又は支店	495	495	495	495	495
植栽管理業務	株式会社橋本造園土木	市内業者	21,725	22,289	22,869	23,463	24,074
水質検査業務	株式会社江東微生物研究所神奈川営業所	県内本店又は支店	207	207	207	207	207



③市内経済団体との連携事業

各事業の目的や内容などに応じて、スポーツ関係団体や民間企業などと協働で事業を実施することにより、それぞれの特色や得意分野を生かした魅力ある企画とサービスを提供しています。

事業名など	団体名・企業名など
湘南藤沢市民マラソン	藤沢市観光協会、藤沢商工会議所など
市内経済団体への講師派遣	藤沢商工会議所、藤沢市商店会連合会
ランニングクリニック	プレス工業株式会社
スポーツチャレンジフェスティバル	宝製菓株式会社藤沢工場など
八部公園フェスティバルSLまつり	合資会社関水スポーツ
バスケットボールスクール	株式会社湘南ユナイテッド藤沢
イベント時の移動販売車協賛	藤沢市キッチンカー連絡協議会加盟店
自動販売機	市内に営業所のある自動販売機業者



バスケットボールB3リーグとアキバ☆マルシェ同時開催
(キッチンカー販売)



ランニングクリニック
(プレス工業)



スポーツチャレンジフェスティバル
(協賛 宝製菓株式会社)



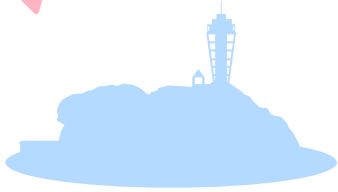
バスケットボールクリニック
(湘南ユナイテッドBC)



第15回湘南藤沢市民マラソン2023
(協賛事業者・飲食店ブース・市内業者の出店)



ふじさわスポーツパークへの講師派遣
(藤沢駅周辺地区エリアマネジメント)



公益財団法人
藤沢市みらい創造財団

